

富里市子育て支援に関する

ニーズ調査報告書

—平成 25 年 12 月実施—

平成 26 年 3 月

富里市



# 目 次

I. 調査概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の設計.....	1
3. 調査項目.....	1
4. 報告書を読む際の注意事項.....	2
II. 調査結果の分析－1 就学前児童のニーズ調査.....	3
1. 回答者のプロフィール.....	3
2. 親の就労状況.....	11
3. 教育・保育事業の利用.....	19
4. 地域子育て支援拠点事業.....	29
5. 子育て支援サービスや事業.....	32
6. 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望.....	34
7. お子さんの病気等の際の対応.....	37
8. 一時預かり.....	40
9. 宿泊を伴う一時預かり.....	44
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方.....	46
11. 育児休業制度.....	52
12. 行政サービス.....	58
13. 認定こども園について.....	60
14. 小学校の学級規模について.....	62
15. 次世代育成支援行動計画重点施策の満足度と重要度.....	64
III. 調査結果の分析－2 小学生児童のニーズ調査.....	67
1. 回答者のプロフィール.....	67
2. 親の就労状況.....	75
3. 放課後の過ごし方.....	83
4. 学童クラブの利用状況.....	91
5. 地域子育て支援事業.....	94
6. 子育て支援サービスや事業.....	97
7. 次世代育成支援行動計画重点施策の満足度と重要度.....	99
8. 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望.....	102
9. お子さんの病気等の際の対応.....	105
10. 一時預かり.....	108
11. 宿泊を伴う一時預かり.....	112
12. 行政サービス.....	114
IV. 調査結果の分析－3 市民ニーズ調査.....	117
1. 回答者のプロフィール.....	117
2. 結婚観（独身の方のみ回答）.....	122
3. 理想のライフコース.....	125
4. 仕事と生活の両立.....	129
5. 行政サービス.....	130



# I. 調査概要

## 1. 調査の目的

この調査は、新たな子ども・子育て支援制度の下で、幼児期の教育・保育・子育て支援の充実を図るため、平成27年度から5年間を計画期間とした『富里市子ども・子育て支援事業計画』の策定に向けて、市民の子育て支援に関する生活実態や要望・意見を把握するために行った。

## 2. 調査の設計

	富里市子育て支援に関する ニーズ調査（就学前児童）	富里市子育て支援に関する ニーズ調査（小学生児童）
調査対象	富里市内に居住する 就学前児童を持つ保護者	富里市内に居住する 小学生児童を持つ保護者
標本数	1,978人	633人
抽出方法	住民基本台帳から就学前児童を持つ 全世帯を抽出	住民基本台帳から小学校1～3年生の 児童を持つ全世帯でかつ就学前児童が いない世帯を抽出
回収数(率)	1,135人(57.4%)	258人(40.8%)
調査方法	郵送配布、郵送回収	
調査期間	平成25年12月13日～25年12月27日	

	富里市子育て支援に関する ニーズ調査（市民）
調査対象	富里市内に居住する25～35歳の男女
標本数	500人
抽出方法	住民基本台帳からの無作為抽出（ただし 就学前児童調査および小学生児童調査 の対象先を除く）
回収数(率)	99人(19.8%)
調査方法	郵送配布、郵送回収
調査期間	平成25年12月13日～25年12月27日

## 3. 調査項目

### (1) 就学前児童保護者

設問数 39問

調査項目

1. 回答者のプロフィール
2. 親の就労状況
3. 教育・保育事業の利用
4. 地域子育て支援拠点事業
5. 子育て支援サービスや事業
6. 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

7. お子さんの病気等の際の対応
8. 一時預かり
9. 宿泊を伴う一時預かり
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方
11. 育児休業制度
12. 行政サービス
13. 認定こども園について
14. 小学校の学級規模について
15. 次世代育成支援行動計画重点施策の満足度と重要度

## (2) 小学生児童保護者

設問数 35 問

調査項目

1. 回答者のプロフィール
2. 親の就労状況
3. 放課後の過ごし方
4. 学童クラブの利用状況
5. 地域子育て支援事業
6. 子育て支援サービスや事業
7. 次世代育成支援行動計画重点施策の満足度と重要度
8. 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望
9. お子さんの病気等の際の対応
10. 一時預かり
11. 宿泊を伴う一時預かり
12. 行政サービス

## (3) 市民（25歳～35歳）

設問数 21 問

調査項目

1. 回答者のプロフィール
2. 結婚観（独身の方のみ回答）
3. 理想のライフコース
4. 仕事と生活の両立
5. 行政サービス

## 4. 報告書を読む際の注意事項

- ・ 集計については単純集計、必要なクロス集計を行った。
- ・ 調査結果の数値は原則として回答率（％）を表記しており、小数点第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。このため、単数回答の合計が100.0%とならない場合（例：99.9%、100.1%）がある。また、一人の回答者が2つ以上の回答をしてもよい質問（複数回答）では、回答率が100.0%を上回ることもある。
- ・ 本文やグラフ・数表上の選択肢の表記は、場合により語句を簡略化してある。
- ・ 本文やグラフ・数表上で次の略称を使用する。n：回答者の数

## II. 調査結果の分析－1 就学前児童のニーズ調査

### 1. 回答者のプロフィール

#### (1) 居住地区

(単位：%)

問1. お住まいはどちらになりますか。(○は1つ)【n=1135】



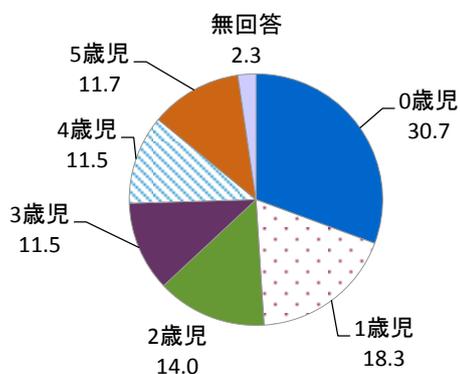
No.	カテゴリ	件数	全体%	(除不)%
1	富里小学校区	306	27.0	27.7
2	富里第一小学校区	65	5.7	5.9
3	富里南小学校区	222	19.6	20.1
4	浩養小学校区	24	2.1	2.2
5	洗心小学校区	18	1.6	1.6
6	日吉台小学校区	207	18.2	18.7
7	根木名小学校区	80	7.0	7.2
8	七栄小学校区	184	16.2	16.6
	無回答	29	2.6	
	N (% <sup>^</sup> -入)	1135	100.0	1106

○居住地区は、「富里小学校区」が 27.0%と最も高く、次いで「富里南小学校区」が 19.6%、「日吉台小学校区」が 18.2%などとなった。

#### (2) 子どもの生年月日

(単位：%)

問2. あて名のお子さんの生年月日は次のうちどちらに該当しますか。(○は1つ)【n=1135】



No.	カテゴリ	件数	全体%	(除不)%
1	0歳児	348	30.7	31.4
2	1歳児	208	18.3	18.8
3	2歳児	159	14.0	14.3
4	3歳児	131	11.5	11.8
5	4歳児	130	11.5	11.7
6	5歳児	133	11.7	12.0
	無回答	26	2.3	
	N (% <sup>^</sup> -入)	1135	100	1109

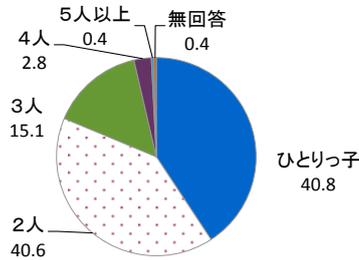
○子どもの生年月日は、「0歳児」が 30.7%と最も高く、次いで「1歳児」が 18.3%、「2歳児」が 14.0%などとなった。

### (3) 子どもの人数と末子の年齢

(単位：%)

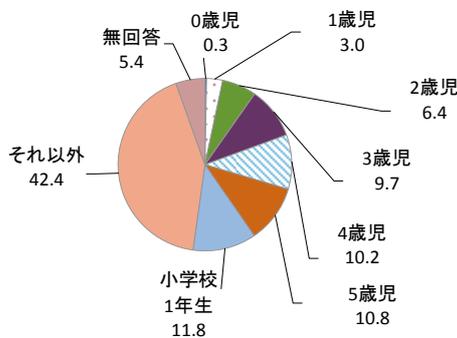
問3. あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、第一子の方の生年月日はどちらになりますか。(〇は1つ)

【子どもの人数】【n=1135】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ひとりっ子	463	40.8	40.9
2	2人	461	40.6	40.8
3	3人	171	15.1	15.1
4	4人	32	2.8	2.8
5	5人以上	4	0.4	0.4
	無回答	4	0.4	
	N (%ベース)	1135	100	1131

【第一子の年齢】【n=668】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	0歳児	2	0.3	0.3
2	1歳児	20	3.0	3.2
3	2歳児	43	6.4	6.8
4	3歳児	65	9.7	10.3
5	4歳児	68	10.2	10.8
6	5歳児	72	10.8	11.4
7	小学校1年生	79	11.8	12.5
8	それ以外	283	42.4	44.8
	無回答	36	5.4	
	N (%ベース)	668	100	632

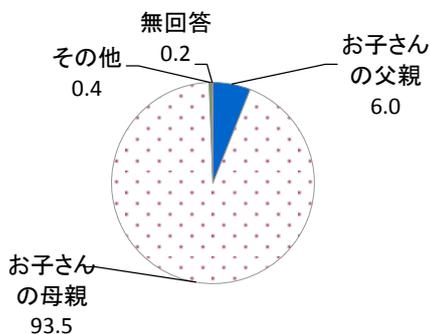
○子どもの人数は、「ひとりっ子」が40.8%と最も高く、次いで「2人」が40.6%などとなった。

○子どもが2人以上いる場合の第一子の年齢は、小学校低学年と回答している比率が高くなった。

### (4) 回答者

(単位：%)

問4. この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(あて名のお子さんから見た関係でお答えください。)(〇は1つ)【n=1135】



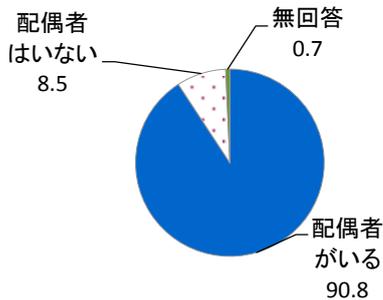
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	お子さんの父親	68	6.0	6.0
2	お子さんの母親	1061	93.5	93.6
3	その他	4	0.4	0.4
	無回答	2	0.2	
	N (%ベース)	1135	100	1133

○回答者は、「お子さんの母親」が93.5%と9割強を占めた。

(5) 配偶関係

(単位：%)

問5. この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(〇は1つ)【n=1135】



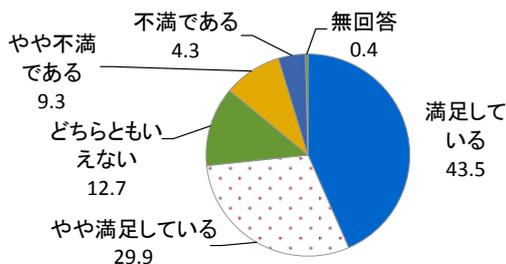
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	配偶者がいる	1031	90.8	91.5
2	配偶者がいない	96	8.5	8.5
	無回答	8	0.7	
	N (%ベース)	1135	100	1127

○配偶関係は、「配偶者がいる」が90.8%と9割強を占めた。

(6) 配偶者の育児参加

(単位：%)

問5-1 (問5で「1.配偶者がいる」をお選びの方へ) 配偶者の育児参加に満足していますか。(〇は1つ)【n=1031】



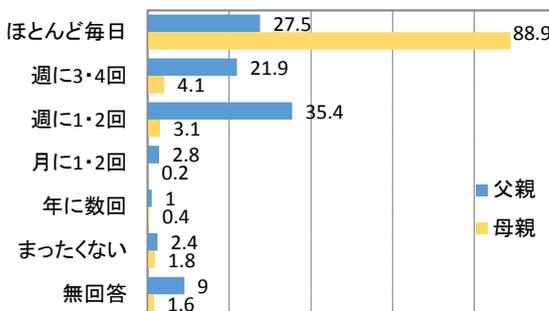
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	満足している	448	43.5	43.6
2	やや満足している	308	29.9	30.0
3	どちらともいえない	131	12.7	12.8
4	やや不満である	96	9.3	9.3
5	不満である	44	4.3	4.3
	無回答	4	0.4	
	N (%ベース)	1031	100	1027

○配偶者の育児参加の状況を見ると、「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足している』は73.4%と7割強を占めた。

(7) 子どもと一緒に夕飯を食べる頻度

(単位：%)

問6. あて名のお子さんと、一緒に夕飯を食べる頻度はどのくらいですか。(〇は1つ)【n=1135】



No.	カテゴリ	件数(父親)	件数(母親)
1	ほとんど毎日	312	1009
2	週に3・4回	249	46
3	週に1・2回	402	35
4	月に1・2回	32	2
5	年に数回	11	5
6	まったくない	27	20
	無回答	102	18
	N (%ベース)	1135	1135

○子どもと一緒に夕飯を食べる頻度をみると、父親は「週に1・2回」(35.4%)、母親は「ほとんど毎日」(88.9%)が最も高くなった。

## (8) 家族の同居・近居の状況

(単位: %)

問7. あて名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度で行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。（あてはまるものすべてに○）【n=1135】

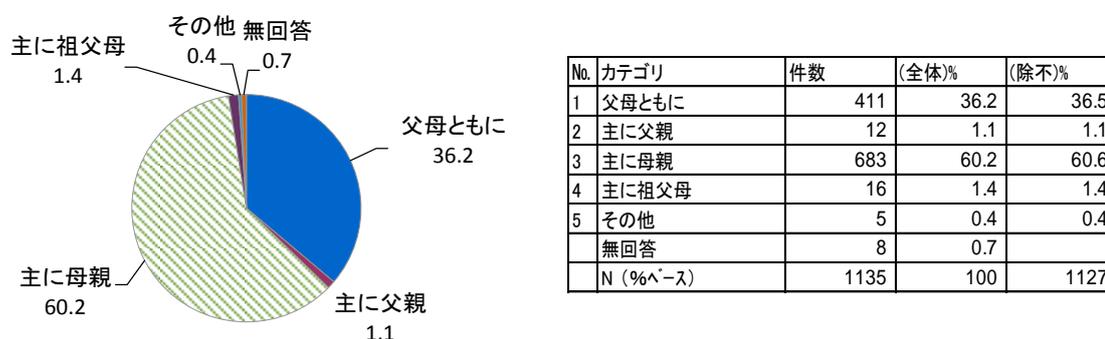


○家族の同居の状況は、「父母同居」（77.5%）が8割弱を占めた。祖父母については、「祖父同居」が14.9%、「祖母同居」が20.1%と2割前後となった。近居の状況は、「祖父近居」が32.8%、「祖母近居」が37.0%と4割弱を占めた。

## (9) 子育てを主に行っている方

(単位: %)

問8. あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方はどなたですか。（あて名のお子さんから見た関係でお答えください。）（○は1つ）【n=1135】



○子育てを主に行っている方は、「主に母親」が60.2%と最も高く、「父母ともに」は36.2%と4割弱となった。

(10) 日常的に子育てに関わっている方

(単位：%)

問9. あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（どこ）ですか。（あて名のお子さんから見た関係でお答えください。）（あてはまるものすべてに○）【n=1135】



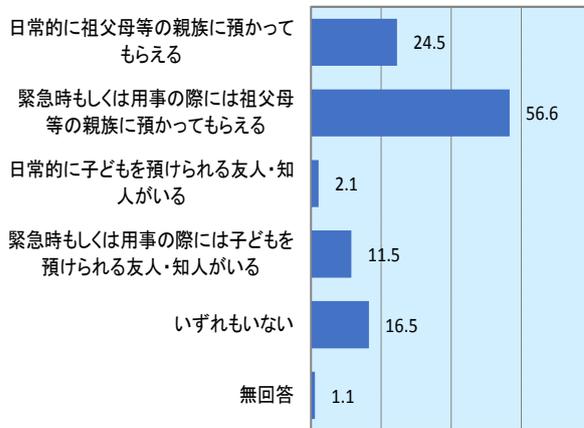
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	父母ともに	526	46.3	46.5
2	父親	51	4.5	4.5
3	母親	545	48.0	48.1
4	祖父母	281	24.8	24.8
5	幼稚園	161	14.2	14.2
6	保育所	226	19.9	20.0
7	認定こども園	5	0.4	0.4
8	その他	40	3.5	3.5
	無回答	3	0.3	
	N (%へ-ス)	1135	100	1132

○日常的に子育てに関わっている方は、「母親」が48.0%と最も高く、次いで「父母ともに」が46.3%などとなった。教育・保育事業では、「保育所」が19.9%「幼稚園」が14.2%と2割弱を占めた。

(11) 日頃のサポートの状況

(単位：%)

問10. 日頃、あて名のお子さんを預かってもらえる人はいますか。（あてはまるものすべてに○）【n=1135】



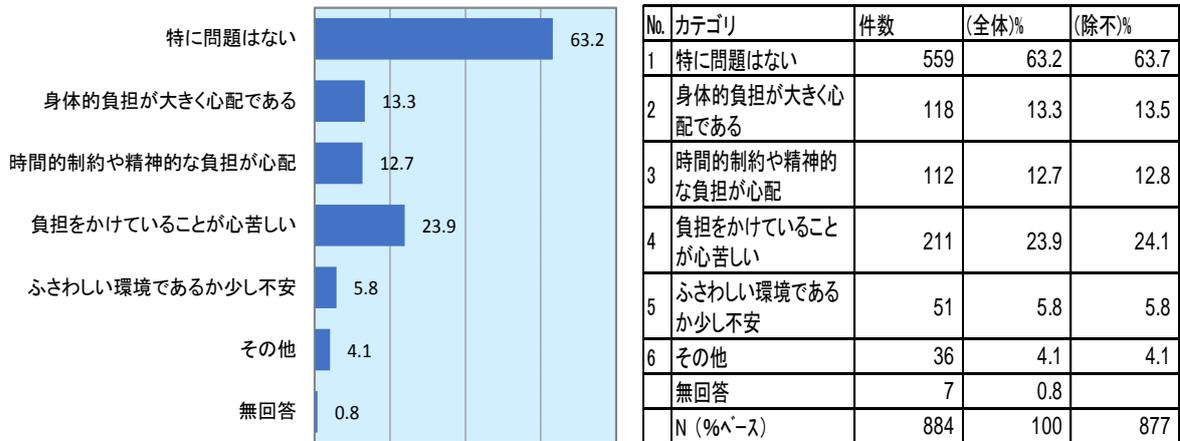
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる	278	24.5	24.8
2	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる	642	56.6	57.2
3	日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる	24	2.1	2.1
4	緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる	131	11.5	11.7
5	いずれもない	187	16.5	16.7
	無回答	12	1.1	
	N (%へ-ス)	1135	100	1123

○日頃のサポートの状況は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が56.6%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」が24.5%となった。日常的に「友人・知人に預かってもらえる家庭」は少数である。「いずれもない」は16.5%と2割弱を占めた。

## (12) 祖父母等からのサポート状況

(単位：%)

問 10-1 (問 10 で「1」または「2」をお選びの方へ) 祖父母等の親族に預かってもらっている状況についてお伺いします。(あてはまるものすべてに○)【n=884】

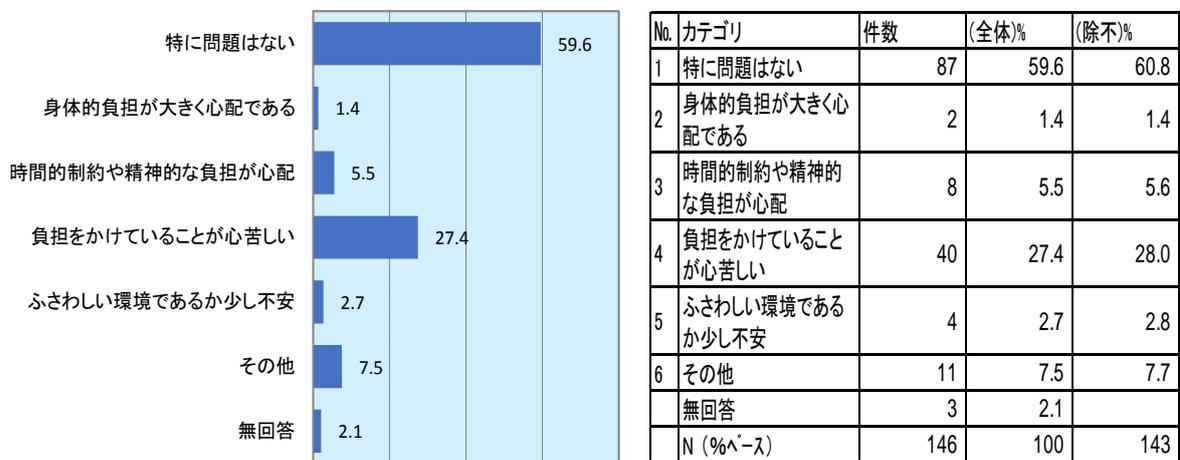


○「祖父母等に預かってもらえる」と回答した保護者において、祖父母等からのサポートの状況をたずねたところ、「特に問題はない」が 63.2%と 6 割強を占めた。次いで「負担をかけていることが心苦しい」が 23.9%となった。

## (13) 友人・知人からのサポート状況

(単位：%)

問 10-2 (問 10 で「3」または「4」をお選びの方へ) 友人や知人に預かってもらっている状況についてお伺いします。(あてはまるものすべてに○)【n=146】



○「友人・知人等に預かってもらえる」と回答した保護者において、友人・知人からのサポートの状況は、「特に問題はない」が 59.6%と 6 割弱を占めた。「負担をかけていることが心苦しい」は、祖父母 (23.9%) に比べて 27.4%とやや高くなっている。

(14) 子育てをするなかで悩んだり不安に感じたりすること

(単位：%)

問11. あて名のお子さんを育てている間に、どんなことで悩んだり不安に感じたり、困ったりしましたか。(〇は3つまで)【n=1135】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	子どものしつけ・生活習慣	564	49.7	51.9
3	子どもの病気・健康	413	36.4	38.0
2	子どもの発育・発達	226	19.9	20.8
16	子育てに関するストレス	158	13.9	14.5
8	近所に遊ばせる場所がない	152	13.4	14.0
5	子どもの友人関係	121	10.7	11.1
11	病気や出産時の子どもの世話	91	8.0	8.4
9	治安など子育て環境への影響	75	6.6	6.9
6	子どもを通じての近所づきあい	71	6.3	6.5
13	親同士の輪に入りづらい	68	6.0	6.3
15	子育てに関して自信がもてない	66	5.8	6.1
7	十分な住居スペースがない	50	4.4	4.6
10	自分の体力や健康に自信がない	47	4.1	4.3
12	家庭内での協力が得られない	37	3.3	3.4
4	子どもの成績や勉強	31	2.7	2.9
14	子育てに関する情報が不足している	31	2.7	2.9
17	特にない	134	11.8	12.3
18	その他	43	3.8	4.0
	無回答	48	4.2	
	N (%ベース)	1135	100.0	1087

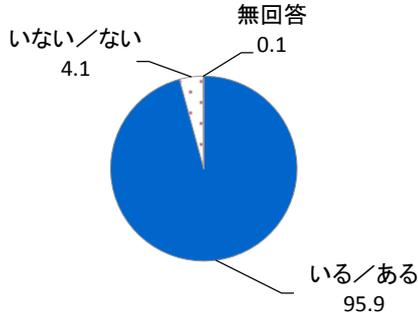
○子育てをするなかで悩んだり不安に感じたりすることは、「子どものしつけ・生活習慣」が49.7%と最も高く、次いで「子どもの病気・健康」が36.4%、「子どもの発育・発達」が19.9%などとなった。生活習慣や健康に関することが上位を占めている。

(15) 子育てをするうえでの相談者

(単位：%)

問12. あて名のお子さんの子育て(教育)をするうえで、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(〇は1つ)

【気軽に相談できる人】【n=1135】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	いる/ある	1088	95.9	95.9
2	いない/ない	46	4.1	4.1
	無回答	1	0.1	
	N (%ベース)	1135	100	1134

【相談できる先】【n=1088】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	配偶者	855	78.6	78.7
2	祖父母等の親族	801	73.6	73.8
3	友人や知人	779	71.6	71.7
4	保育士	195	17.9	18.0
5	地域子育て支援センター、児童館等	159	14.6	14.6
6	保健所・保健センター	151	13.9	13.9
7	近所の人	145	13.3	13.4
8	幼稚園教諭	99	9.1	9.1
9	かかりつけの医師	92	8.5	8.5
10	自治体の子育て関連担当窓口	9	0.8	0.8
11	民生委員・児童委員	1	0.1	0.1
12	その他	25	2.3	2.3
	無回答	2	0.2	
	N (%ベース)	1088	100	1086

○子育てをするうえで「気軽に相談できる人がいる/ある」と回答した保護者は、95.9%と9割強を占めた。

○「気軽に相談できる人がいる/ある」と回答した保護者に「相談できる先」をたずねたところ、「配偶者」が78.6%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」が73.6%、「友人や知人」が71.6%などとなった。

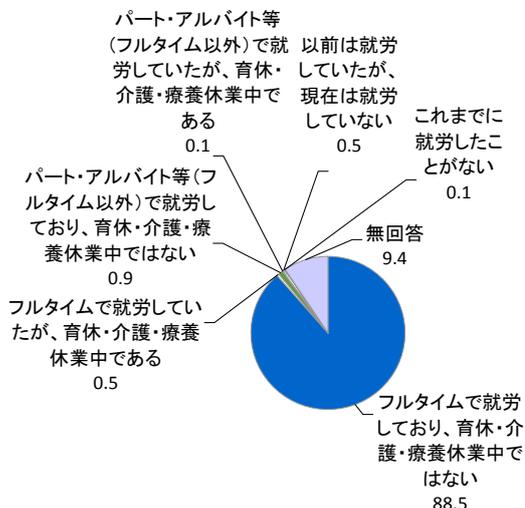
## 2. 親の就労状況

### (1) 父親の就労状況

(単位：%)

問13. あて名のお子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお伺いします。（○は1つ） ※フルタイムとは、週5日程度・1日8時間程度の就労を指します。

【n=1135】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	フルタイムで就労しており、育休・介護休・療養休業中ではない	1004	88.5	97.7
2	フルタイムで就労していたが、育休・介護・療養休業中である	6	0.5	0.6
3	パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、育休・介護・療養休業中ではない	10	0.9	1.0
4	パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労していたが、育休・介護・療養休業中である	1	0.1	0.1
5	以前は就労していたが、現在は就労していない	6	0.5	0.6
6	これまでに就労したことがない	1	0.1	0.1
	無回答	107	9.4	
	N (%ベース)	1135	100.0	1028

○父親の就労状況は、「就労している（フルタイムで休業中ではない）」88.5%と9割弱を占めた。「パート、アルバイト等」、「就労していない」はわずかである。

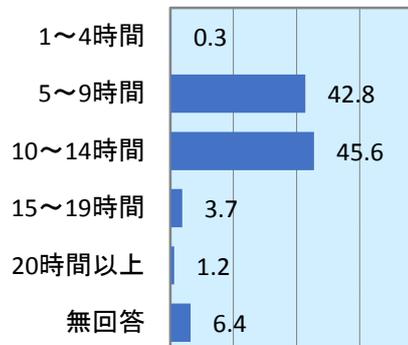
(単位：%)

#### ①フルタイム、パート・アルバイト等： 1週間あたりの就労日数【n=1021】



(単位：%)

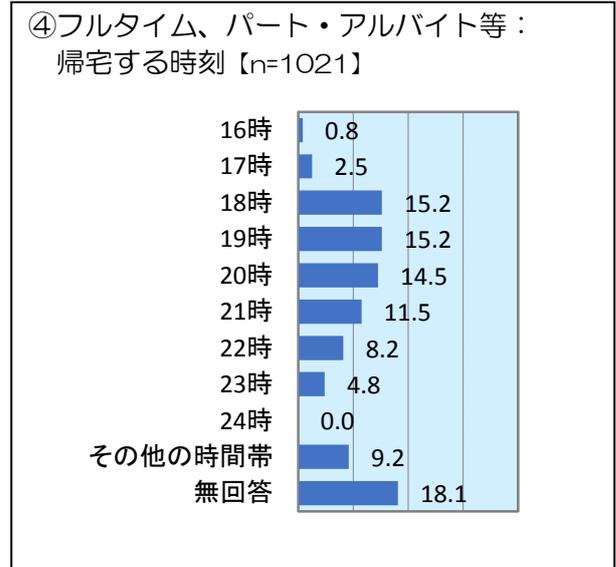
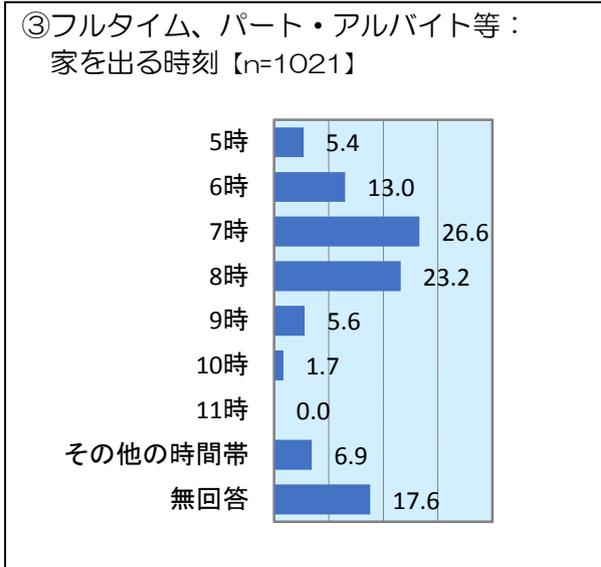
#### ②フルタイム、パート・アルバイト等： 1日あたり就労時間【n=1021】



○フルタイム、パート・アルバイト等で働く父親の1週間あたりの就労日数は、「5日」が51.5%と最も高く、次いで「6日」が34.0%となった。1日あたりの就労時間は「10～14時間」が45.6%と最も高く、次いで「5～9時間」が42.8%などとなった。

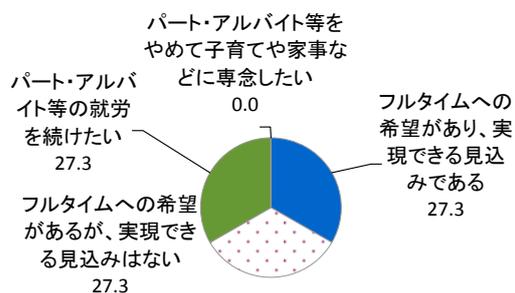
(単位：%)

(単位：%)



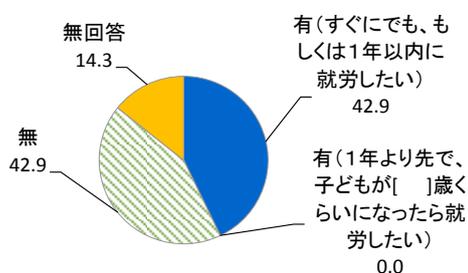
○フルタイム、パート・アルバイト等で働く父親の家を出る時刻は、「7時」が26.6%と最も高く、次いで「8時」が23.2%などとなった。帰宅時間は「18時」と「19時」がそれぞれ15.2%と最も高くなった。

⑤パート・アルバイト等：フルタイムへの転換希望 【n=11】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	フルタイムへの希望があり、実現できる見込みである	3	27.3	33.3
2	フルタイムへの希望があるが、実現できる見込みはない	3	27.3	33.3
3	パート・アルバイト等の就労を続けたい	3	27.3	33.3
4	パート・アルバイト等をやめて子育てや家事などに専念したい	0	0.0	0.0
	無回答	2	18.2	
	N (%ベース)	11	100	9

⑥就労していない、就労したことがない：就労希望 【n=7】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	有(すぐにも、もしくは1年以内に就労したい)	3	42.9	50.0
2	有(1年より先で、子どもが[ ]歳くらいになったら就労したい)	0	0.0	0.0
3	無	3	42.9	50.0
	無回答	1	14.3	
	N (%ベース)	7	100	6

⑦就労していない、就労したことがない：希望する就労形態

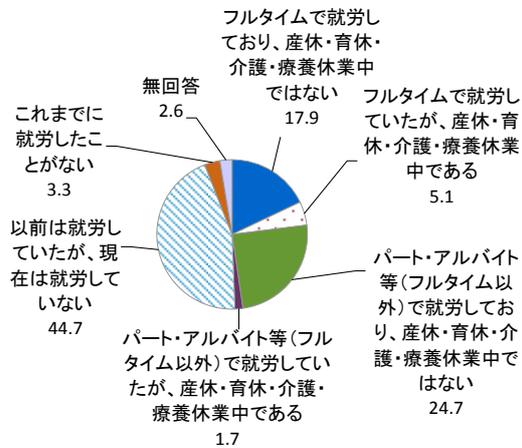
【1年以内に就労したい】【n=3】

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	フルタイム	1	33.3	50.0
2	パート・アルバイト等	1	33.3	50.0
	無回答	1	33.3	
	N (%ベース)	3	100	2

(2) 母親の就労状況

(単位：%)

問 13. あて名のお子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお伺いします。（○は1つ）※フルタイムとは、週5日程度・1日8時間程度の就労を指します。  
【n=1135】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護・療養休業中ではない	203	17.9	18.4
2	フルタイムで就労していたが、産休・育休・介護・療養休業中である	58	5.1	5.2
3	パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、産休・育休・介護・療養休業中ではない	280	24.7	25.3
4	パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労していたが、産休・育休・介護・療養休業中である	19	1.7	1.7
5	以前は就労していたが、現在は就労していない	507	44.7	45.9
6	これまでに就労したことがない	38	3.3	3.4
	無回答	30	2.6	
	N (%ベース)	1135	100.0	1105

○母親の就労状況は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が44.7%と最も高く、次いで「就労している（パート・アルバイト等）」が24.7%、「就労している（フルタイム）」が17.9%などとなった。

【フルタイム】

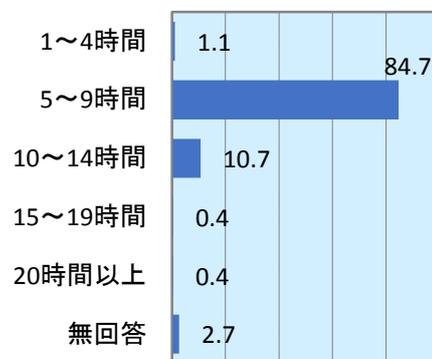
(単位：%)

(単位：%)

①フルタイム：  
1週間あたりの就労日数【n=261】



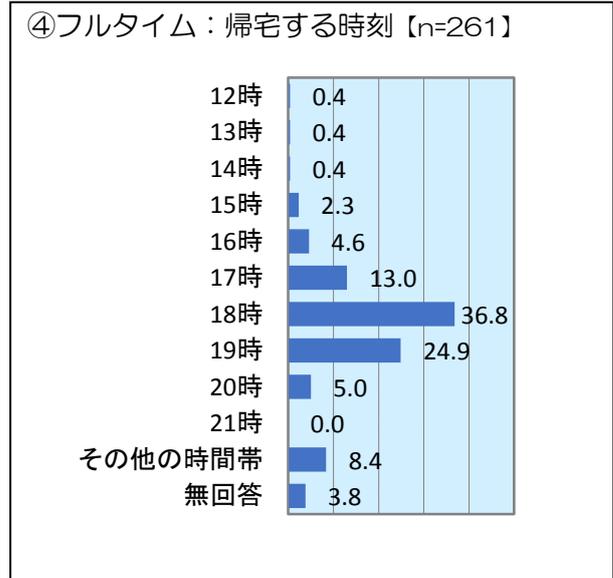
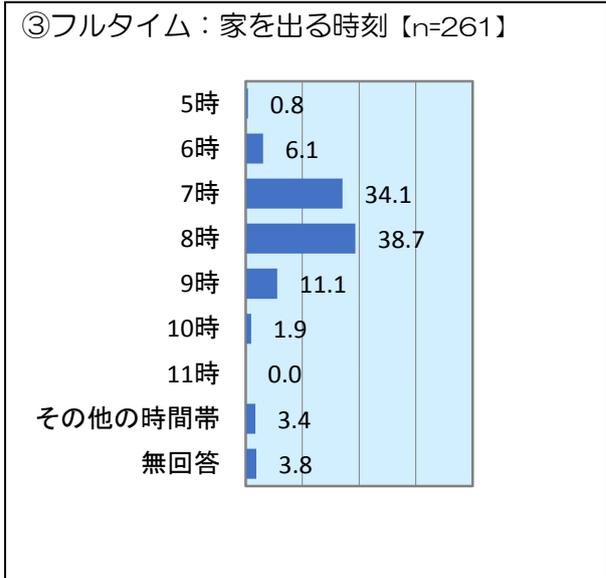
②フルタイム：  
1日あたりの就労時間【n=261】



○フルタイムで働く母親の1週間あたりの就労日数は、「5日」が75.5%と最も高く、次いで「6日」が12.3%などとなった。1日あたりの就労時間は、「5~9時間」が84.7%と最も高く、次いで「10~14時間」が10.7%などとなった。

(単位：%)

(単位：%)

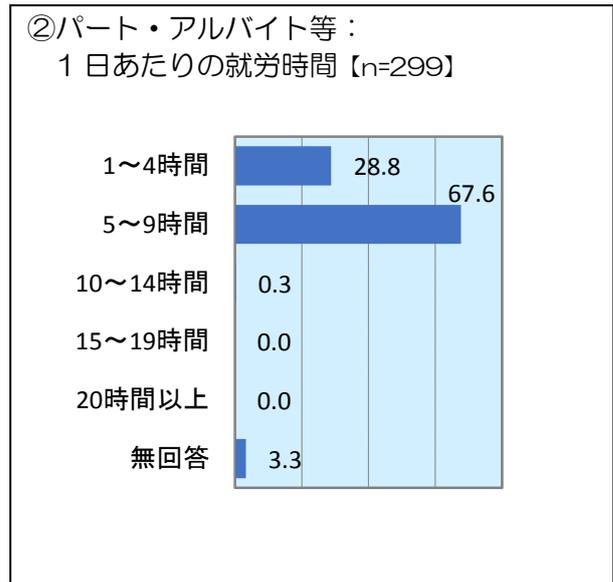
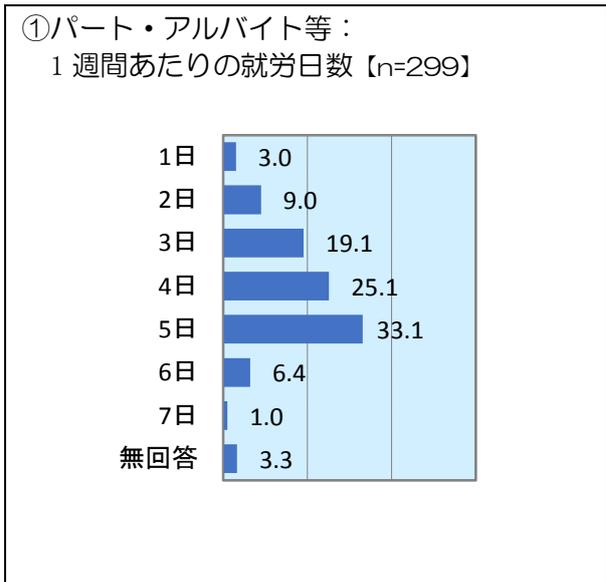


○フルタイムで働く母親の家を出る時刻は、「8時」が38.7%と最も高く、次いで「7時」が34.1%などとなった。帰宅時間は「18時」が36.8%と最も高く、次いで「19時」が24.9%などとなった。

【パート・アルバイト等】

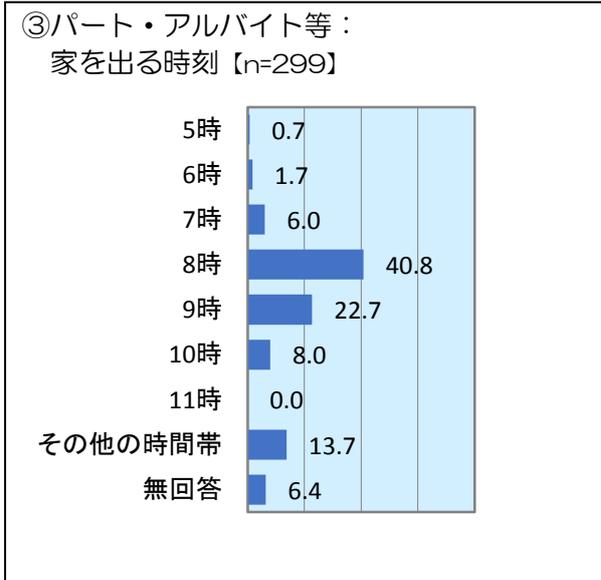
(単位：%)

(単位：%)

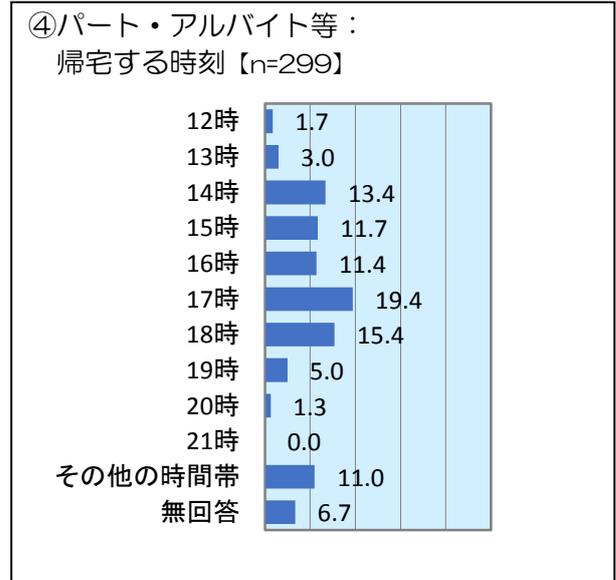


○パート・アルバイト等で働く母親の1週間あたりの就労日数は、「5日」が33.1%と最も高く、次いで「4日」が25.1%などとなった。1日あたりの就労時間は、「5～9時間」が67.6%と最も高く、次いで「1～4時間」が28.8%などとなった。

(単位：%)

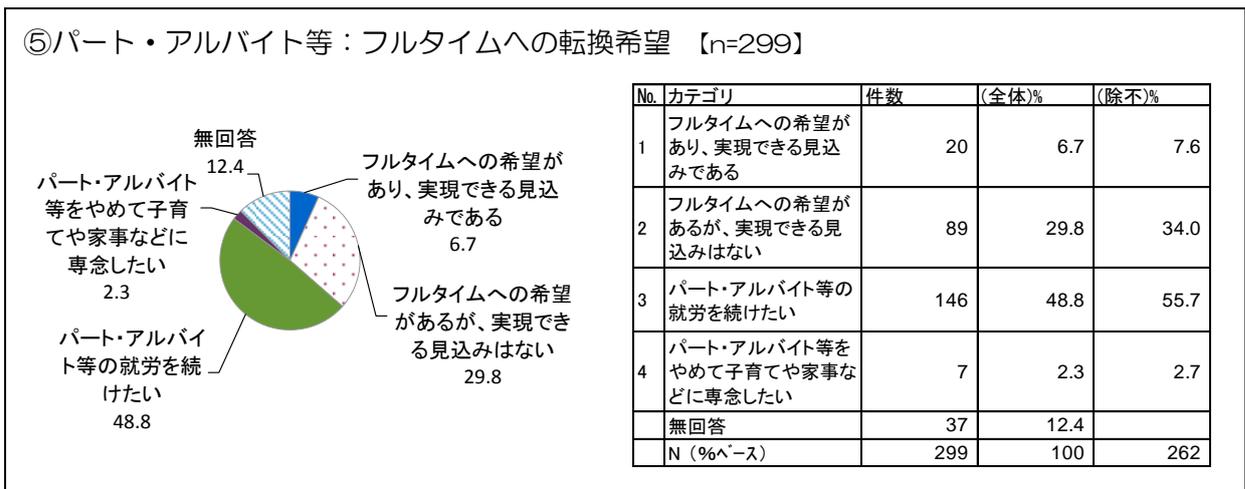


(単位：%)



○パート・アルバイト等で働く母親の家を出る時刻は、「8時」が40.8%と最も高く、次いで「9時」が22.7%などとなった。帰宅時間は「17時」が19.4%と最も高く、次いで「18時」が15.4%などとなった。フルタイムで働く母親と比べて帰宅する時間はばらつきがみられる。

(単位：%)

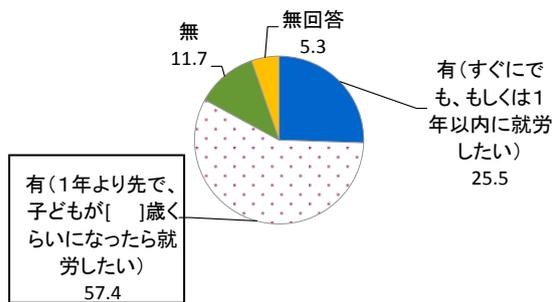


○パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望は、「希望はない(パート・アルバイト等の就労を続けたい)」が48.8%と最も高く、次いで「希望があるが、実現できる見込みはない」は29.8%となった。「希望があり、実現できる見込みである」は6.7%にとどまった。

## 【就労していない・就労したことがない】

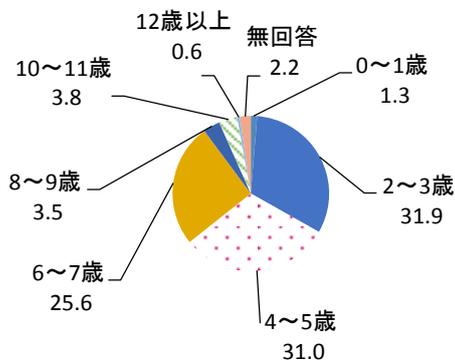
(単位：%)

### ①就労していない・就労したことがない：就労希望 【n=545】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	有(すぐにも、もしくは1年以内に就労したい)	139	25.5	26.9
2	有(1年より先で、子どもが[ ]歳くらいになったら就労したい)	313	57.4	60.7
3	無	64	11.7	12.4
	無回答	29	5.3	
	N (%ベース)	545	100	516

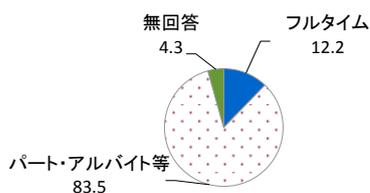
### (子どもの年齢) 【n=313】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	0~1歳	4	1.3	1.3
2	2~3歳	100	31.9	32.7
3	4~5歳	97	31.0	31.7
4	6~7歳	80	25.6	26.1
5	8~9歳	11	3.5	3.6
6	10~11歳	12	3.8	3.9
7	12歳以上	2	0.6	0.7
	無回答	7	2.2	
	N (%ベース)	313	100	306

- 現在就労していない母親において、今後の就労希望をうかがったところ、「有(1年より先で、子どもが大きくなってから)」が57.4%と最も高く、次いで「有(すぐもしくは1年以内)」が25.5%となった。就労希望のある母親が82.9%と8割を超え、高い割合を示している。
- 「有(1年より先で、子どもが大きくなってから)」と回答した母親の就労時期は、子どもが「4~5歳」が31.0%と最も高く、小学校入学前頃で検討していることがうかがえる。

## ②就労していない・就労したことがない:希望する就労形態(1年以内に就労したい)【n=139】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	フルタイム	17	12.2	12.8
2	パート・アルバイト等	116	83.5	87.2
	無回答	6	4.3	
	N (%ベース)	139	100	133

## 【パート・アルバイト(希望)】

## (1週あたりの就労日数)

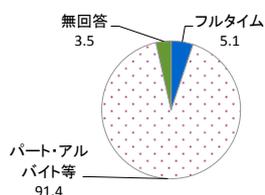


## (1日あたりの就労時間)



- 就労希望(1年以内)のある母親において、希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等による就労」が83.5%と最も高く、「フルタイムによる就労」は12.2%にとどまった。
- パート・アルバイト等による就労希望のある母親において、希望する1週あたりの就労日数は、「3日」が40.5%と最も高く、次いで「4日」が36.2%となった。希望する1日あたりの就労時間は、「5時間」が37.1%と最も高くなった。

## ③就労していない・就労したことがない:希望する就労形態(1年より先)【n=313】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	フルタイム	16	5.1	5.3
2	パート・アルバイト等	286	91.4	94.7
	無回答	11	3.5	
	N (%ベース)	313	100	302

## 【パート・アルバイト(希望)】

## (1週あたりの就労日数)



## (1日あたりの就労時間)



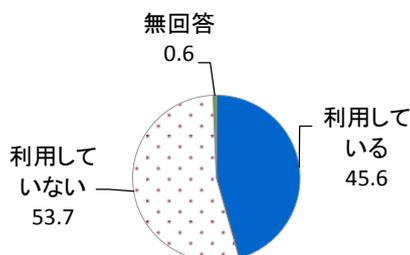
- 就労希望(1年より先)のある母親において、希望する就労形態は、「パート・アルバイト等」が91.4%と最も高く、「フルタイム」は5.1%にとどまった。
- パート・アルバイト等による就労希望のある母親において、希望する1週あたりの就労日数は、「4日」が37.4%と最も高く、次いで「3日」が36.7%となった。希望する1日あたりの就労時間は、「5時間」が43.4%と最も高くなった。

### 3. 教育・保育事業の利用

#### (1) 利用状況

(単位：%)

問14. あて名のお子さんは、現在幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。(〇は1つ【n=1135】)



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	利用している	518	45.6	45.9
2	利用していない	610	53.7	54.1
	無回答	7	0.6	
	N (%ベース)	1135	100	1128

○教育・保育事業の利用状況は、「利用している」が45.6%、「利用していない」が53.7%と、半数を上回った。

(単位：%)

#### 問14-1 (問14で「1. 利用している」をお選びの方へ)

あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまる番号すべてに〇)【n=518】



○現在、教育・保育事業を利用している保護者において、利用している教育・保育事業は、「認可保育所・保育園」が49.0%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間）」が41.7%、「幼稚園の預かり保育」が11.0%などとなった。

「現在利用している教育・保育事業」【小学校区・年齢・母親の就労形態別】（単位：％）

		件数	幼稚園	幼稚園の 預かり 保育	認可保育 所・保育園	認定 こども園	家庭的保 育	事業所内 保育施設	自治体の 認証・認定 保育施設	その他の 認可外の 保育施設	居宅訪問 型保育	ファミリー・ サポート・ センター
全体		518	41.7	11.0	49.0	1.2	0.2	3.1	1.9	2.7	0.0	0.6
小学校区	富里小学校区	157	42.7	14.0	46.5	1.3	0.6	3.2	1.3	3.8	0.0	1.3
	富里第一小学校区	23	30.4	8.7	52.2	8.7	0.0	0.0	8.7	0.0	0.0	0.0
	富里南小学校区	100	35.0	6.0	59.0	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0
	浩養小学校区	11	27.3	0.0	63.6	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0
	洗心小学校区	5	20.0	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	日吉台小学校区	103	59.2	14.6	32.0	1.0	0.0	4.9	1.0	4.9	0.0	0.0
	根木名小学校区	41	36.6	4.9	56.1	2.4	0.0	7.3	2.4	0.0	0.0	0.0
	七栄小学校区	71	36.6	11.3	57.7	0.0	0.0	2.8	2.8	0.0	0.0	1.4
年齢	0歳児	41	9.8	2.4	73.2	0.0	0.0	9.8	2.4	4.9	0.0	0.0
	1歳児	59	1.7	0.0	71.2	1.7	0.0	10.2	5.1	6.8	0.0	0.0
	2歳児	62	1.6	0.0	82.3	1.6	0.0	4.8	4.8	3.2	0.0	1.6
	3歳児	100	46.0	11.0	49.0	0.0	0.0	0.0	1.0	2.0	0.0	1.0
	4歳児	126	64.3	13.5	30.2	2.4	0.0	1.6	0.8	2.4	0.0	0.0
	5歳児	129	64.3	21.7	33.3	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0	0.8
（母 就 労 形 態 ）	フルタイム	176	13.1	2.3	77.3	2.8	0.0	4.5	1.7	1.7	0.0	0.6
	パート・アルバイト等	219	41.1	13.2	48.9	0.5	0.0	3.2	2.3	3.7	0.0	0.5
	就労していない	113	85.8	19.5	6.2	0.0	0.9	0.9	1.8	2.7	0.0	0.9

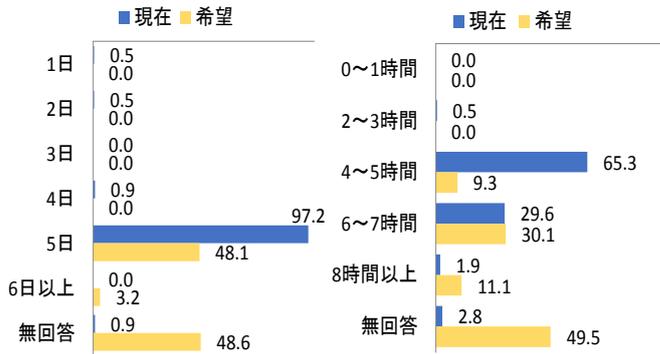
（注）シャドー部分：全体平均よりも高いもの（ただし、「洗心小学校区」と「浩養小学校区」は母数が少ないため、誤差率が高くなる可能性が考えられる。）

- 地区別の教育・保育事業の利用状況をみると、日吉台小学校区や富里小学校区で「幼稚園」と回答した比率が高くなっている。「認可保育所・保育園」では富里小学校区と日吉台小学校区を除いた小学校区で全体平均よりも比率が高くなっている。
- 年齢別の教育・保育事業の利用状況をみると、「3～5歳児」では、「保育所または保育園」より「幼稚園（通常の就園時間）」の方が高くなっているが、フルタイムで働く母親が「幼稚園」を希望している比率はわずかである。「幼稚園の預かり保育」はパート・アルバイト等で働く母親のニーズが高くなっている。

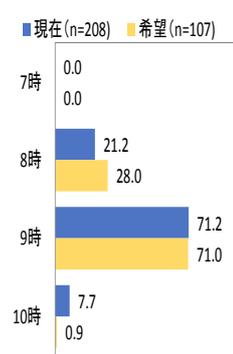
(2) 現在の利用時間 ※③開始時間、④終了時間については無回答を除いて表示 (単位:%)

【幼稚園 (通常の就園時間)】【n=216】

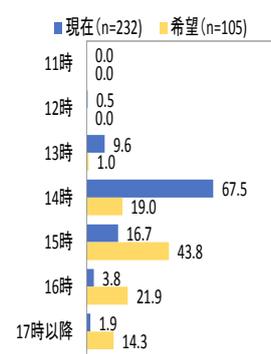
①1週あたりの日数 ②1日あたりの利用時間



③開始時間

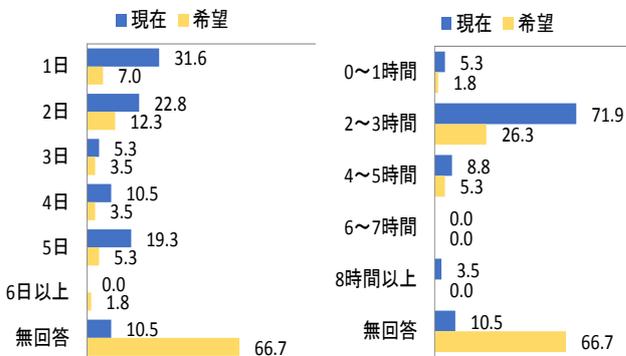


④終了時間

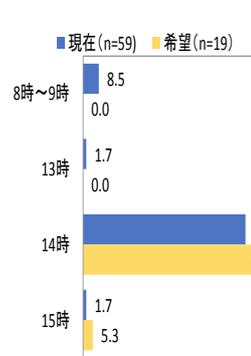


【幼稚園の預かり保育】【n=57】

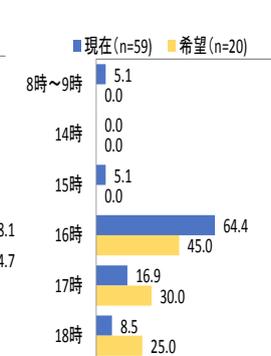
①1週あたりの日数 ②1日あたりの利用時間



③開始時間

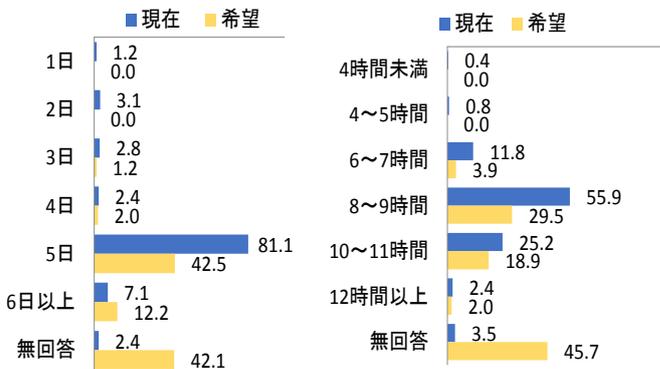


④終了時間

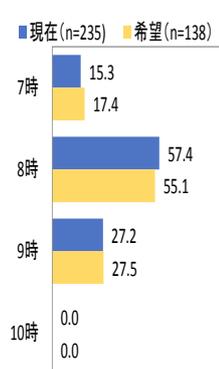


【認可保育所・保育園】【n=254】

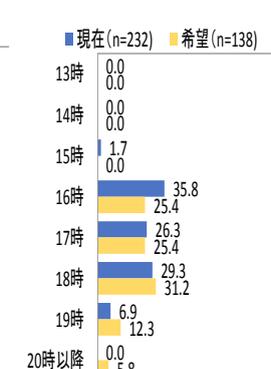
①1週あたりの日数 ②1日あたりの利用時間



③開始時間



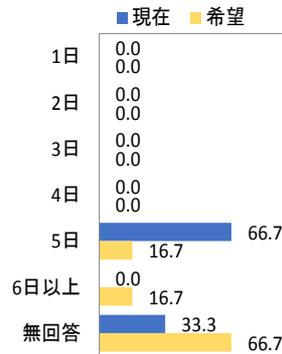
④終了時間



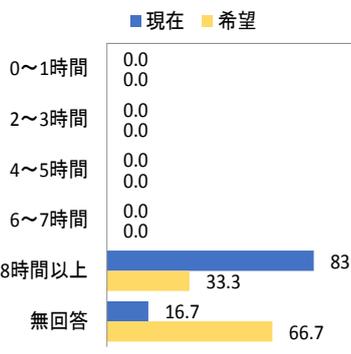
- 「幼稚園 (通常の就園時間)」は、現在と希望ともに「5日」が最も高くなった。現在の利用時間も長く預けたい傾向がみられる。
- 「幼稚園の預かり保育」は、現在の利用日数では「1日」(31.6%)が最も高いが、希望では「2日」が(12.3%)と1割強を占めた。
- 「認可保育所・保育園」は、現在と希望ともに「5日」が最も高くなった。利用時間は現在と希望ともに「8~11時間」に集中している。開始時間は「8時」、終了時間は「16~18時」が高くなった。

【認定こども園】【n=6】

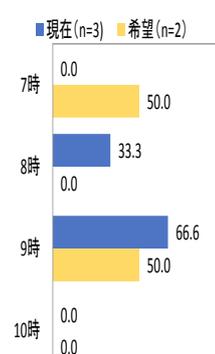
① 1週あたりの日数



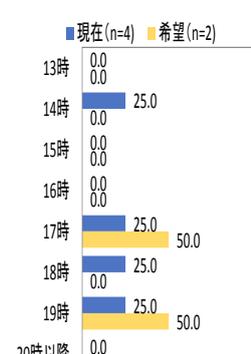
② 1日あたりの時間



③ 開始時間

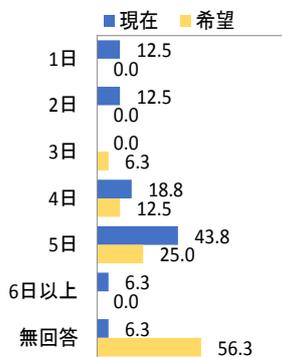


④ 終了時間

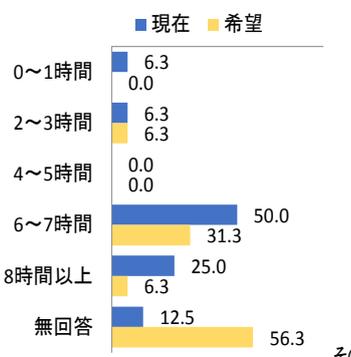


【事業所内保育】【n=16】

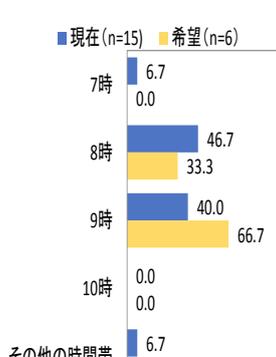
① 1週あたりの日数



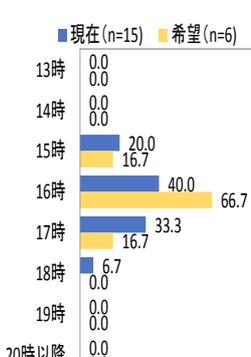
② 1日あたりの時間



③ 開始時間

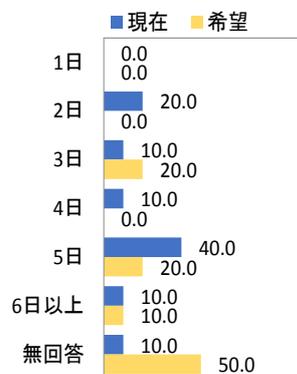


④ 終了時間

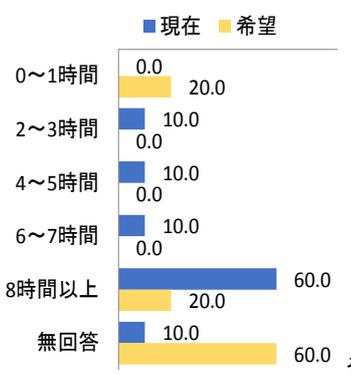


【自治体の認証・認定保育施設】【n=10】

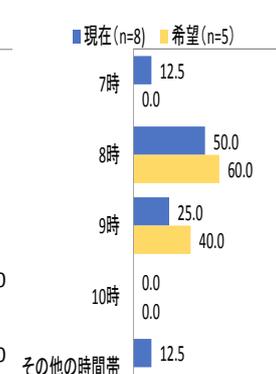
① 1週あたりの日数



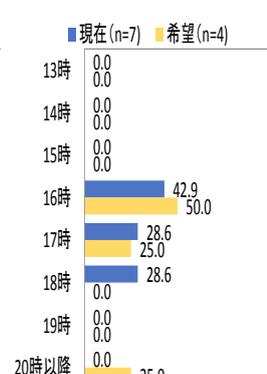
② 1日あたりの時間



③ 開始時間

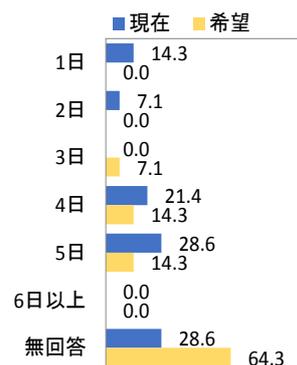


④ 終了時間

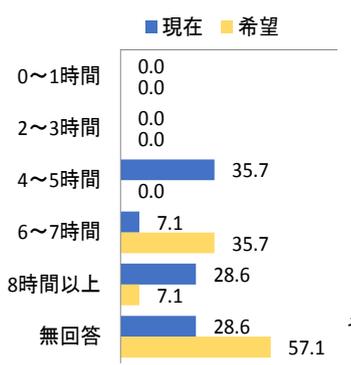


【その他の認可外の保育施設】【n=14】

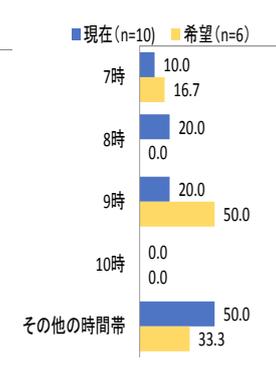
① 1週あたりの日数



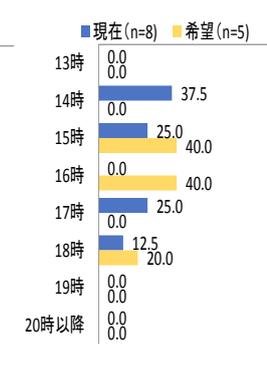
② 1日あたりの時間



③ 開始時間

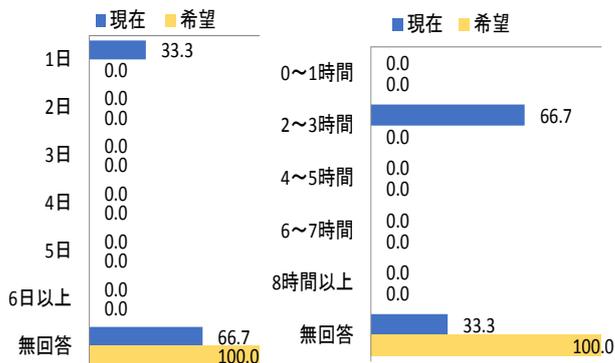


④ 終了時間

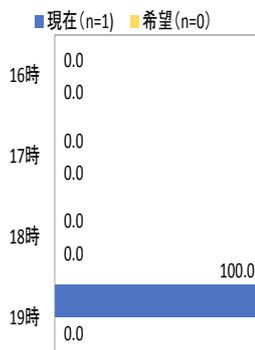


【ファミリー・サポート・センター】【n=3】

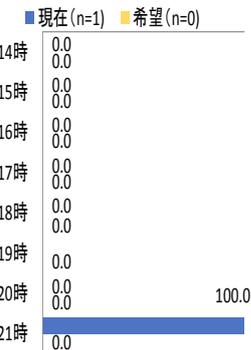
① 1週あたりの日数 ② 1日あたりの時間



③ 開始時間

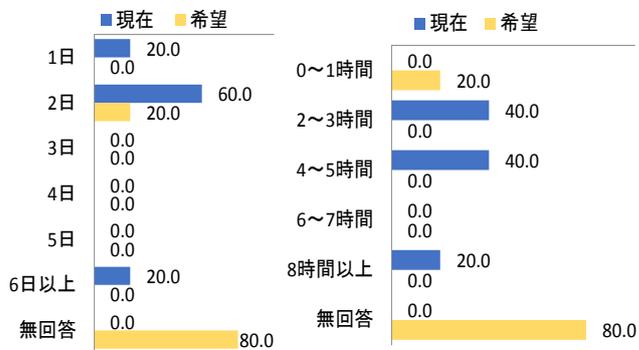


④ 終了時間



【その他】【n=5】

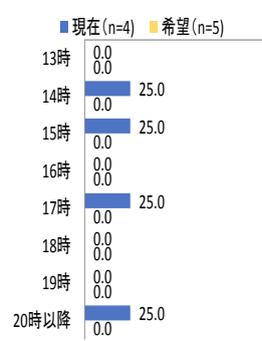
① 1週あたりの日数 ② 1日あたりの時間



③ 開始時間



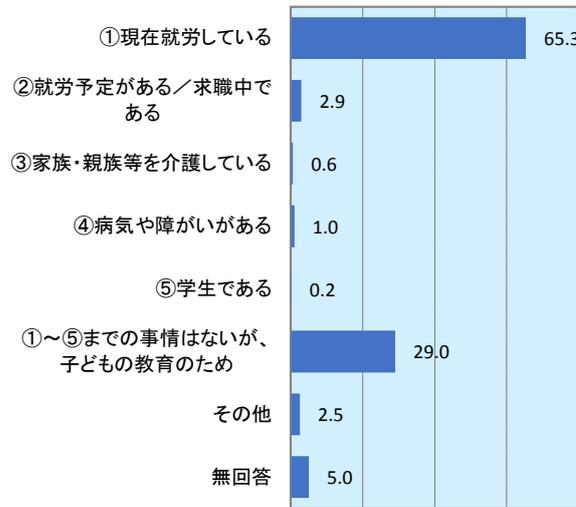
④ 終了時間



### (3) 利用している理由

(単位：%)

問 14-2 (問 14 で「1」をお選びの方へ) 教育・保育事業を利用されている理由についてお伺いします。(あてはまるものすべてに○)【n=518】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	①現在就労している	338	65.3	68.7
2	②就労予定がある／求職中である	15	2.9	3.0
3	③家族・親族等を介護している	3	0.6	0.6
4	④病気や障がいがある	5	1.0	1.0
5	⑤学生である	1	0.2	0.2
6	①～⑤までの事情はないが、子どもの教育のため	150	29.0	30.5
7	その他	13	2.5	2.6
	無回答	26	5.0	
	N (%ベース)	518	100	492

○教育・保育事業を利用している理由は、「現在就労している」が最も高く 65.3%、次いで「子どもの教育のため」が 29.0%となった。

### (4) 現在利用している場所を選んだ理由

(単位：%)

問 14-3 (問 14 で「1」をお選びの方へ) 教育・保育事業を利用されている理由についてお伺いします。(あてはまるものすべてに○)【n=518】



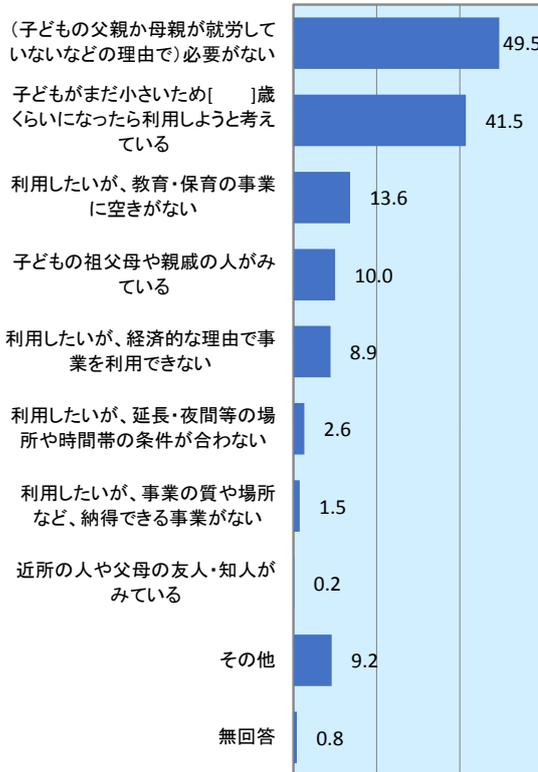
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	住まいに近いから	299	57.7	59.9
3	教育・保育内容が良いから	157	30.3	31.5
6	職員の対応が良いから	118	22.8	23.6
2	勤務先との利便性が良いから	105	20.3	21.0
9	兄弟姉妹が通っているから	86	16.6	17.2
5	保育時間がニーズと合っているから	84	16.2	16.8
4	保育料が手ごろだから	56	10.8	11.2
10	希望した施設に入れなかったから	52	10.0	10.4
8	評判が良いから	46	8.9	9.2
7	建物や設備が充実しているから	39	7.5	7.8
11	周辺環境が良いから	34	6.6	6.8
12	その他	34	6.6	6.8
	無回答	19	3.7	
	N (%ベース)	518	100	499

○教育・保育事業を利用している場所を選んだ理由は、「住まいに近いから」が 57.7%と最も高く、次いで「教育・保育内容が良いから」が 30.3%、「職員の対応が良いから」が 22.8%などとなった。

(5) 利用していない理由

(単位：%)

問 14-4 (問 14 で「2」をお選びの方へ) 教育・保育事業を利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)【n=610】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	(子どもの父親か母親が就労していないなどの理由で) 必要がない	302	49.5	49.9
8	子どもがまだ小さいため[ ]歳くらいになったら利用しようと考えている	253	41.5	41.8
4	利用したいが、教育・保育の事業に空きがない	83	13.6	13.7
2	子どもの祖父母や親戚の人がみている	61	10.0	10.1
5	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	54	8.9	8.9
6	利用したいが、延長・夜間等の場所や時間帯の条件が合わない	16	2.6	2.6
7	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	9	1.5	1.5
3	近所の人や父母の友人・知人がみている	1	0.2	0.2
9	その他	56	9.2	9.3
	無回答	5	0.8	
	N (%ベース)	610	100	605

【子どもの年齢】【n=253】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	0歳	1	0.4	0.4
2	1歳	31	12.3	12.4
3	2歳	23	9.1	9.2
4	3歳	101	39.9	40.6
5	4歳	76	30.0	30.5
6	5歳	16	6.3	6.4
7	6歳	0	0.0	0.0
8	7歳以上	1	0.4	0.4
	無回答	4	2	
	N (%ベース)	253	100.0	249

○教育・保育事業を利用していない保護者において、教育・保育事業を利用していない理由は、「必要がない」が49.5%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため」が41.5%となり、保育・教育事業の質を理由とする回答は少数であった。

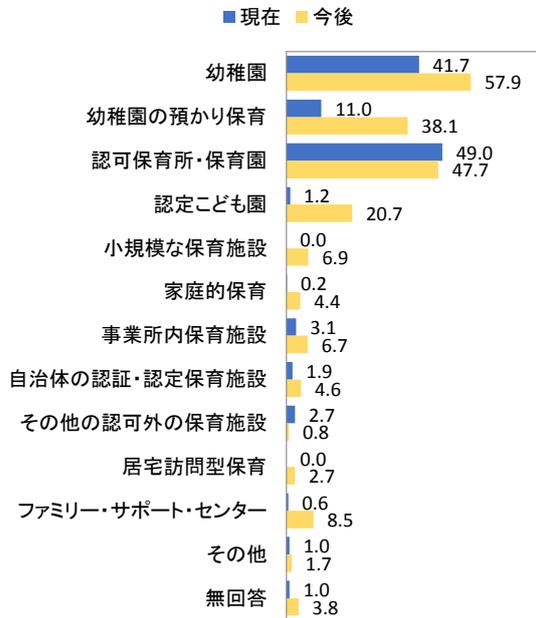
○「子どもがまだ小さいため」と回答した保護者において、就労時の子どもの年齢は、「3歳」が39.9%と最も高くなった。

(6) 希望する教育・保育事業

(単位：%)

問15. すべての方にお伺いします。あて名のお子さんに関して、現在利用している、利用していないにかかわらず、「定期的に利用したい」と考える教育・保育事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。【n=1135】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	幼稚園	657	57.9	60.2
2	幼稚園の預かり保育	433	38.1	39.7
3	認可保育所・保育園	541	47.7	49.5
4	認定こども園	235	20.7	21.5
5	小規模な保育施設	78	6.9	7.1
6	家庭的保育	50	4.4	4.6
7	事業所内保育施設	76	6.7	7.0
8	自治体の認証・認定保育施設	52	4.6	4.8
9	その他の認可外の保育施設	9	0.8	0.8
10	居宅訪問型保育	31	2.7	2.8
11	ファミリー・サポート・センター	97	8.5	8.9
12	その他	19	1.7	1.7
	無回答	43	3.8	
	N (%へ入)	1135	100	1092

○現在利用している、利用していないに関わらず「定期的に利用したい」教育・保育事業は、「幼稚園」が57.9%と最も高く、次いで「認可保育所・保育園」が47.7%、「幼稚園の預かり保育」が38.1%などとなった。「幼稚園」では、現在(41.7%)と希望(57.9%)で16.2ポイント、「幼稚園の預かり保育」では、現在(11.0%)と希望(38.1%)で27.1ポイントの差がみられる。認定こども園(20.7%)でも2割のニーズがみられる。

「利用したい教育・保育事業」【小学校区・年齢・母親の就労別】（単位：％）

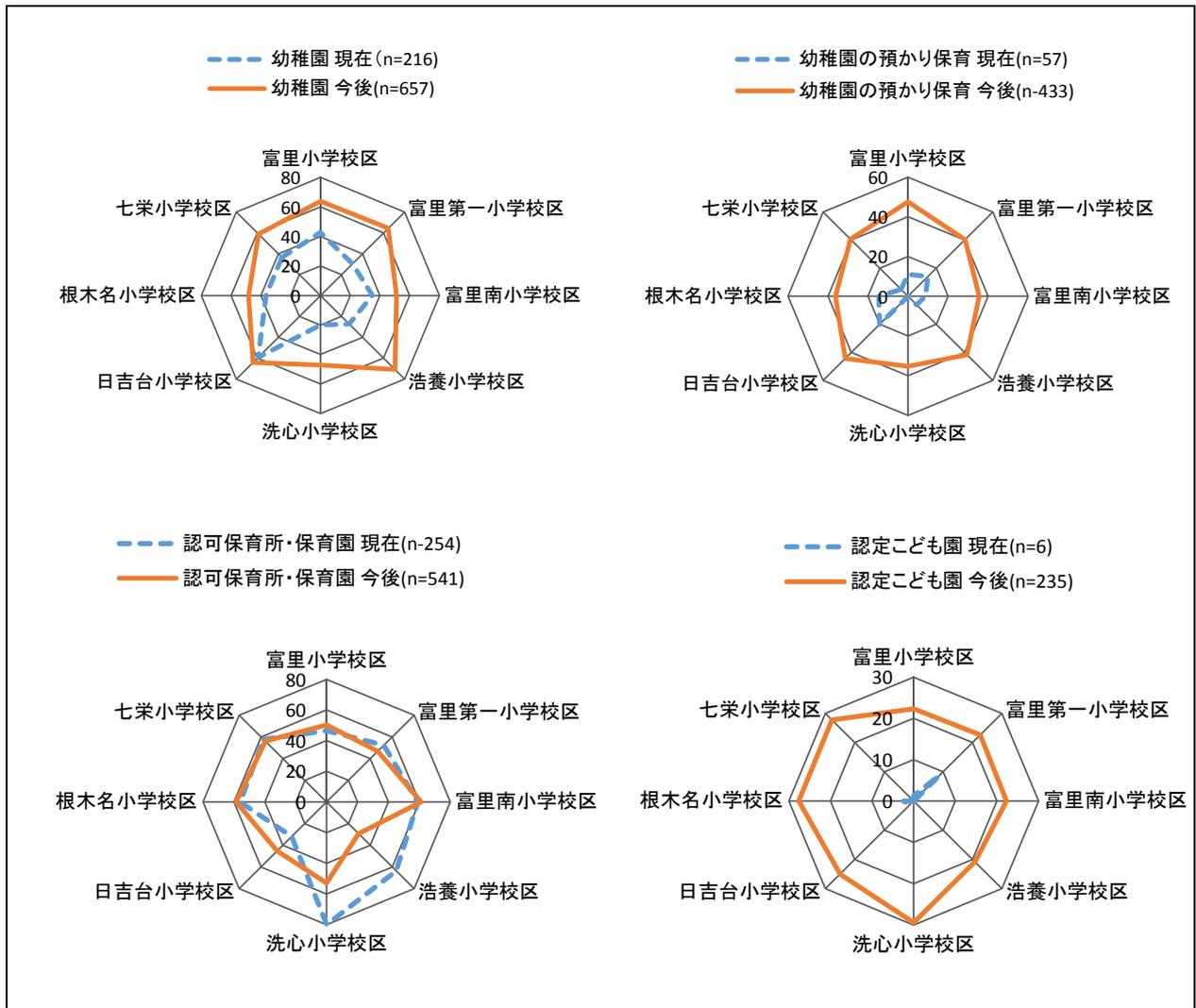
		件数	幼稚園	幼稚園の 預かり保 育	認可保育 所・保育園	認定こども 園	小規模な 保育施設	家庭的保 育	事業所内 保育施設	自治体の 認証・認定 保育施設	その他の 認可外の 保育施設	居宅訪問 型保育	ファミリー・ サポート・ センター
<b>全体</b>		<b>1135</b>	<b>57.9</b>	<b>38.1</b>	<b>47.7</b>	<b>20.7</b>	<b>6.9</b>	<b>4.4</b>	<b>6.7</b>	<b>4.6</b>	<b>0.8</b>	<b>2.7</b>	<b>8.5</b>
小学校区	富里小学校区	306	63.1	43.1	44.8	18.3	6.9	3.3	7.2	4.6	1.0	2.6	9.8
	富里第一小学校区	65	53.8	32.3	43.1	24.6	4.6	4.6	4.6	1.5	3.1	0.0	9.2
	富里南小学校区	222	53.6	37.8	53.2	19.8	7.7	6.8	7.2	5.0	0.5	4.5	7.7
	浩養小学校区	24	50.0	33.3	41.7	20.8	4.2	8.3	0.0	4.2	0.0	4.2	8.3
	洗心小学校区	18	50.0	27.8	55.6	27.8	0.0	0.0	11.1	5.6	0.0	0.0	5.6
	日吉台小学校区	207	65.2	40.1	40.6	19.8	7.7	4.3	4.3	3.9	0.5	2.9	8.2
	根本名小学校区	80	50.0	27.5	53.8	21.3	2.5	2.5	5.0	3.8	0.0	3.8	6.3
	七栄小学校区	184	54.3	37.0	52.7	24.5	8.2	3.3	9.2	6.0	0.5	1.6	9.8
年齢	0歳児	348	56.6	34.2	56.9	25.3	9.2	4.0	6.6	6.0	1.4	2.6	6.3
	1歳児	208	62.0	38.5	53.4	25.0	8.2	4.8	13.5	4.8	0.5	2.4	7.7
	2歳児	159	61.0	35.8	45.3	15.7	3.8	3.8	4.4	5.7	0.6	2.5	8.2
	3歳児	131	55.7	38.9	38.9	19.8	7.6	3.8	4.6	1.5	0.0	3.1	11.5
	4歳児	130	59.2	48.5	36.9	14.6	5.4	4.6	3.8	3.8	0.8	4.6	10.0
	5歳児	133	51.1	42.9	35.3	15.0	3.0	6.0	5.3	3.0	0.0	2.3	11.3
（母） 就労 形態	フルタイム	261	29.5	24.1	71.6	24.1	5.7	6.1	10.3	5.7	1.9	3.8	10.3
	パート・アルバイト等	299	51.8	38.5	51.2	19.1	4.7	4.0	6.0	3.7	0.3	2.0	11.4
	就労していない	545	74.3	45.0	35.2	20.4	8.8	4.0	5.5	4.6	0.6	2.6	6.4

（注）シャド一部分：全体平均よりも高いもの（ただし、「洗心小学校区」と「浩養小学校区」は母数が少ないため、誤差率が高くなる可能性が考えられる。）

- 小学校区別の教育・保育事業の利用意向をみると、「幼稚園」は富里小学校区や日吉台小学校区など、現在利用している比率が高い小学校区でニーズが高くなっている。「認可保育所・保育園」では、利用したい小学校区にばらつきがみられる。
- 年齢別の教育・保育事業利用意向をみると、0歳児では「認可保育所または保育園」が最も高いが、1歳児以上になると「幼稚園」が「認可保育所または保育園」を上回っている。
- 母親の就労形態別にみると、フルタイムで働く母親の「認可保育所または保育園」に対するニーズ（現在 77.3%、希望 71.6%）は、現在利用している比率よりも低く、「幼稚園」に対するニーズ（現在 13.1%、希望 29.5%）は、現在利用している比率よりも 16.4 ポイント高くなっている。

「現在利用している教育・保育事業」と「今後利用したい教育・保育事業」【小学校区別】

(単位：%)



○ 「現在利用している教育・保育事業」と「今後利用したい教育・保育事業」を選択した保護者において、小学校区別にみると、幼稚園では、「日吉台小学校区」以外で現在よりもニーズが高くなった。また、幼稚園の預かり保育では、すべての小学校区で現在よりもニーズが高くなった。認可保育所・保育園では、「洗心小学校区」と「浩養小学校区」で現在よりもニーズが低くなっている。

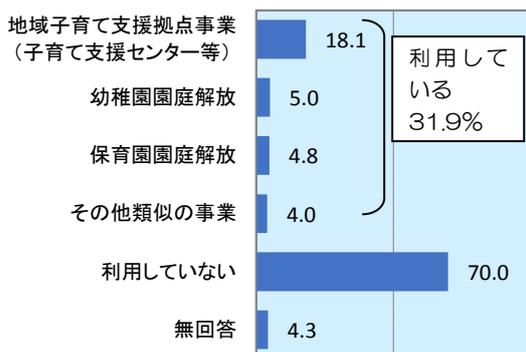
## 4. 地域子育て支援拠点事業

### (1) 利用状況

(単位：%)

問16. あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」「つどいの広場」等と呼ばれています）を利用していますか。（利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を[ ]内に数字でご記入ください。）

#### ①利用している事業【n=1135】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター等)	205	18.1	18.9
2	幼稚園園庭解放	57	5.0	5.2
3	保育園園庭解放	55	4.8	5.1
4	その他類似的事業	45	4.0	4.1
5	利用していない	795	70.0	73
	無回答	49	4.3	
	N (%ベース)	1135	100	1086

#### ②地域子育て支援拠点事業

【1ヶ月あたりの利用回数】【n=205】



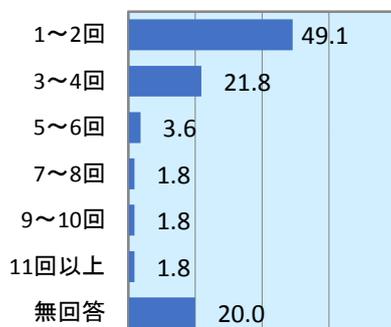
#### ③幼稚園園庭開放

【1ヶ月あたりの利用回数】【n=57】



#### ④保育園園庭開放

【1ヶ月あたりの利用回数】【n=55】



#### ⑤その他の類似事業

【1ヶ月あたりの利用回数】【n=45】



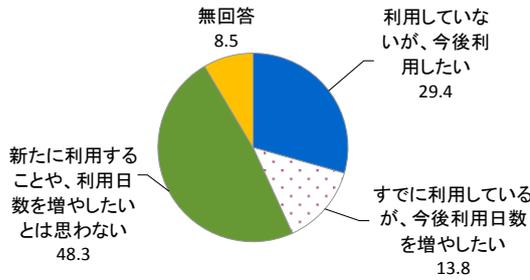
○地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「利用している」が 27.9%、「利用していない」が 70.0%となった。「利用している」と回答した保護者において、1ヶ月あたりの利用日数は、それぞれの事業で「1~2回」が最も高く、「幼稚園の園庭開放」では「11回以上」と回答している保護者もみられる。

(2) 利用希望

(単位：%)

問17. 問16のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。(あてはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を[ ]内に数字でご記入ください。)

①利用意向【n=1135】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	利用していないが、今後利用したい	334	29.4	32.1
2	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	157	13.8	15.1
3	新たに利用することや、利用日数を増やしたいとは思わない	548	48.3	52.7
	無回答	96	8.5	
	N (%ベース)	1135	100	1039

②利用していないが、今後利用したい  
【1ヶ月あたり何回程度】【n=334】



③利用日数を増やしたい  
【1ヶ月あたり何回程度】【n=157】

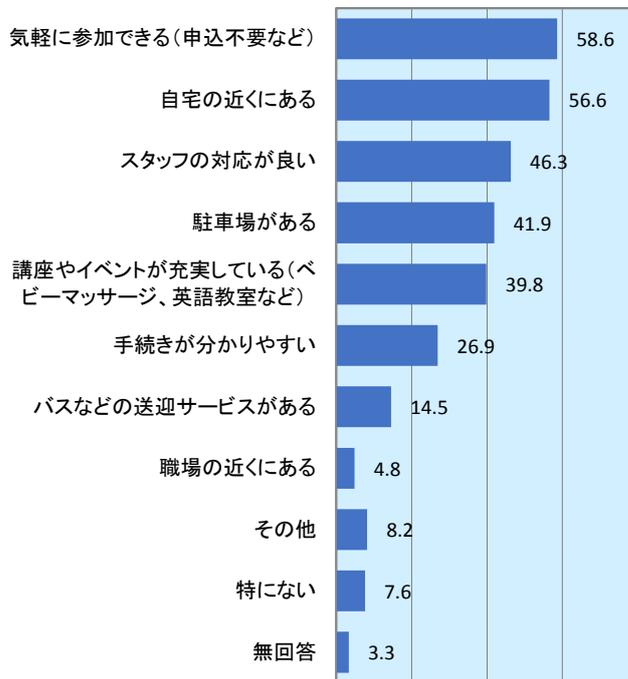


- 地域子育て支援拠点事業について、今後の利用希望は、「利用していないが、今後利用したい」(29.4%)と「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」(13.8%)を合わせた「利用したい」が43.2%となった。前問の「利用している」(27.9%)を15.3ポイント上回った。
- 1ヶ月あたりの利用回数は「利用していないが、今後利用したい」と回答した保護者は「1~2回」(53.3%)、「利用日数を増やしたい」と回答した保護者は「3~4回」(38.2%)が最も高くなった。

### (3) 利用しやすくなる方法

(単位：%)

問18. 問 16 のような地域子育て支援拠点事業について、どのようにすれば利用しやすくなると思いますか。(あてはまる番号すべてに○)【n=1135】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
5	可以轻松参加できる(申込不要など)	665	58.6	60.6
1	自宅の近くにある	642	56.6	58.5
8	スタッフの対応が良い	525	46.3	47.9
4	駐車場がある	476	41.9	43.4
7	講座やイベントが充実している(ベビーマッサージ、英語教室など)	452	39.8	41.2
6	手続きが分かりやすい	305	26.9	27.8
3	バスなどの送迎サービスがある	165	14.5	15.0
2	職場の近くにある	54	4.8	4.9
9	その他	93	8.2	8.5
10	特にない	86	7.6	7.8
	無回答	38	3.3	
	N (%ベース)	1135	100	1097

○子育て支援拠点事業について、どのようにすれば利用しやすくなるかをたずねたところ、「可以轻松参加できる(申し込み不要など)」が58.6%と最も高く、次いで「自宅の近くにある」が56.6%、「スタッフの対応が良い」が46.3%などとなった。

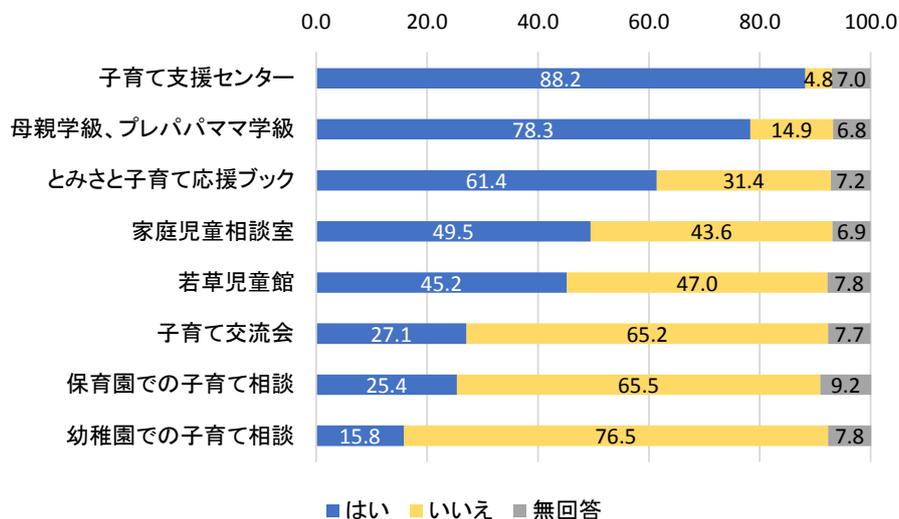
## 5. 子育て支援サービスや事業

### (1) 認知度と利用状況

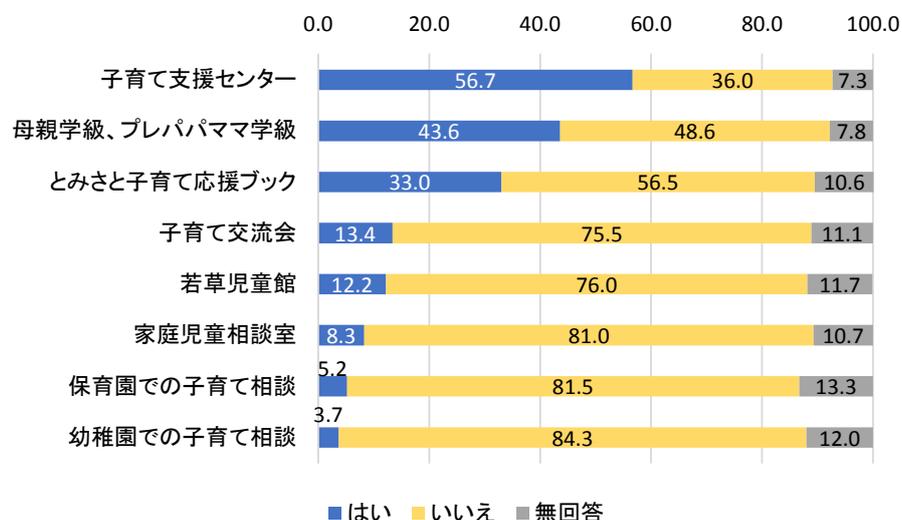
(単位：%)

問19. 下記で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑧の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。【n=1135】

#### 【知っている】



#### 【利用したことがある】

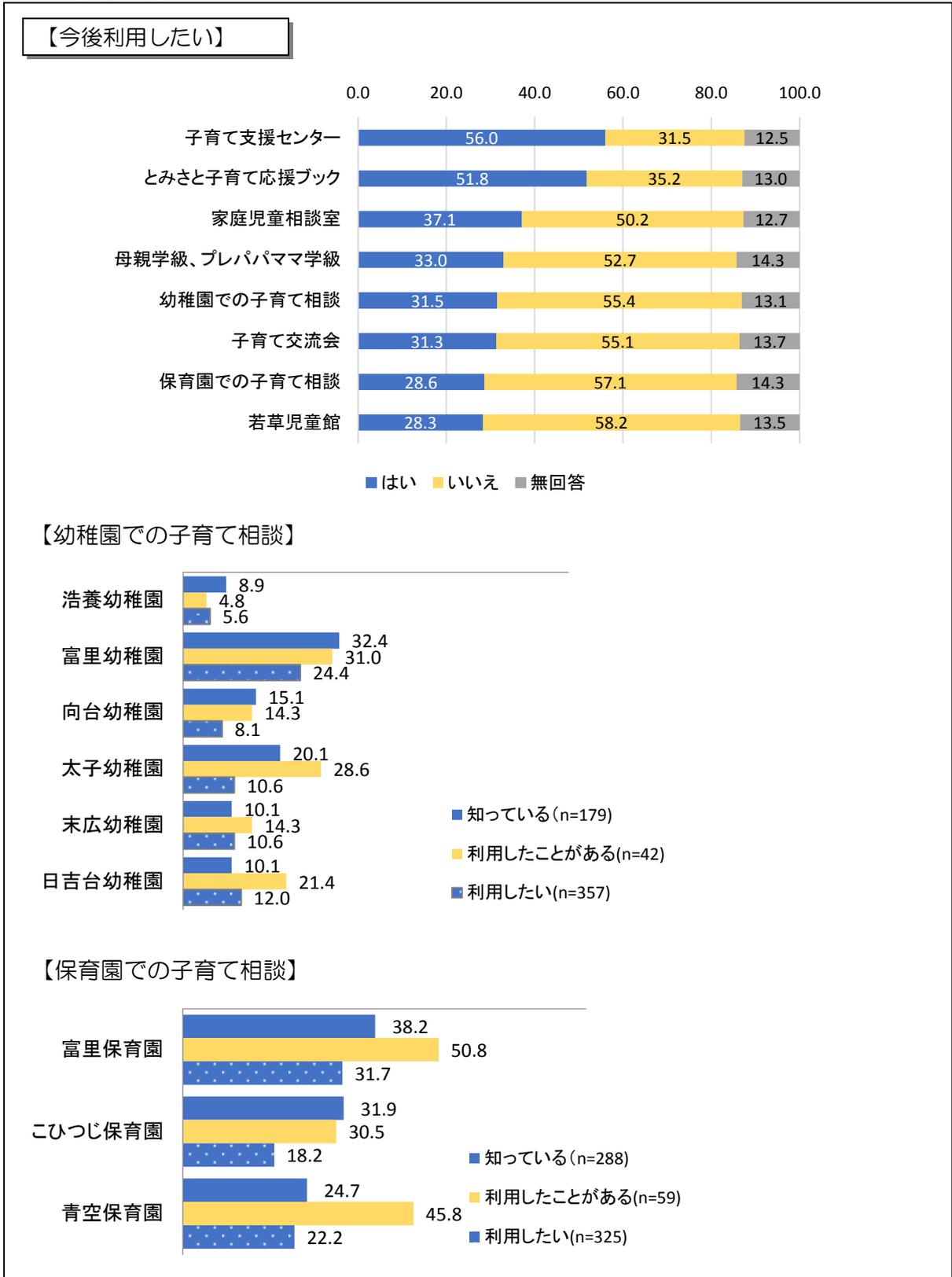


○子育て支援サービスや事業における認知度【知っている】は、「子育て支援センター」が88.2%と最も高く、次いで「母親学級、プレパパママ学級」が78.3%、「とみさと子育て応援ブック」が61.4%などとなった。保育園や幼稚園での「子育て相談」は2割前後にとどまった。

○子育て支援サービスや事業における利用状況【利用したことがある】は、「子育て支援センター」のみ56.7%と半数を上回った。「母親学級、プレパパママ学級」は43.6%、「とみさと子育て応援ブック」は33.0%などとなった。

(2) 利用意向

(単位：%)



○子育て支援サービスや事業における利用意向【今後利用したい】は、「子育て支援センター」が56.0%と最も高く、次いで「とみさと子育て応援ブック」が51.8%と、これらは半数を上回った。

○各施設別に子育て相談における認知度や利用意向をみると、幼稚園では「富里幼稚園」、保育園では「富里保育園」の認知度と利用意向が最も高くなっている。

## 6. 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

### (1) 土曜日の利用希望

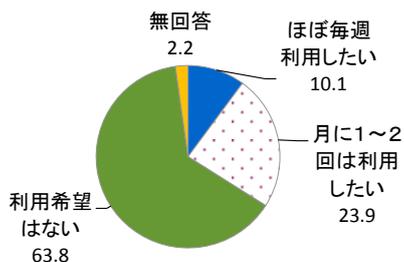
(単位：%)

問20. あて名のお子さんについて、土曜日、日曜・祝日に定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。(〇は1つ)

なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。

※教育・保育事業とは、保育所、幼稚園、認可外保育施設などの事業を指しますが、祖父母等の親族・知人による預かりは含みません。

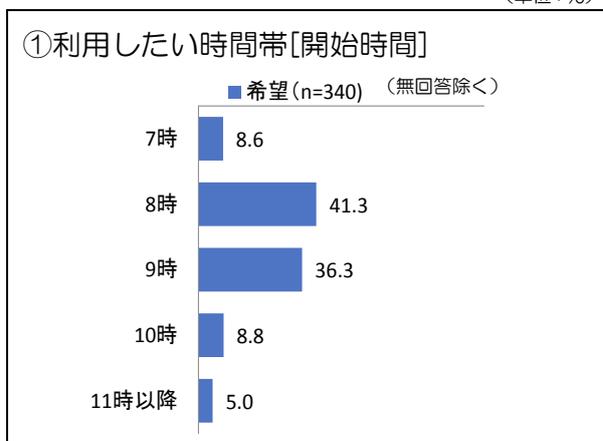
【土曜日】【n=1135】



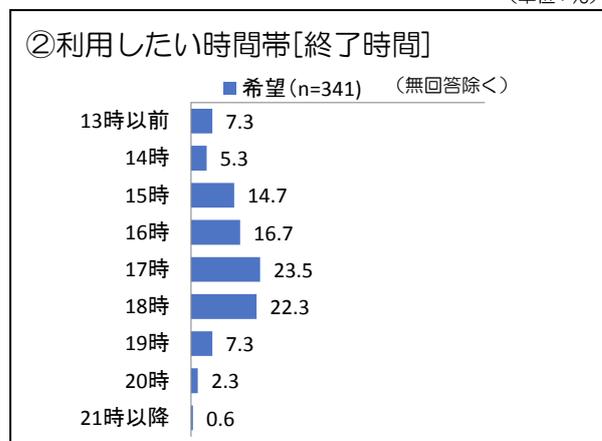
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ほぼ毎週利用したい	115	10.1	10.4
2	月に1~2回は利用したい	271	23.9	24.4
3	利用希望はない	724	63.8	65.2
	無回答	25	2.2	
	N (%ベース)	1135	100	1110

○教育・保育事業における土曜日の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1~2回は利用したい」を合わせた『利用したい』が34.0%と3割強を占めている。

(単位：%)



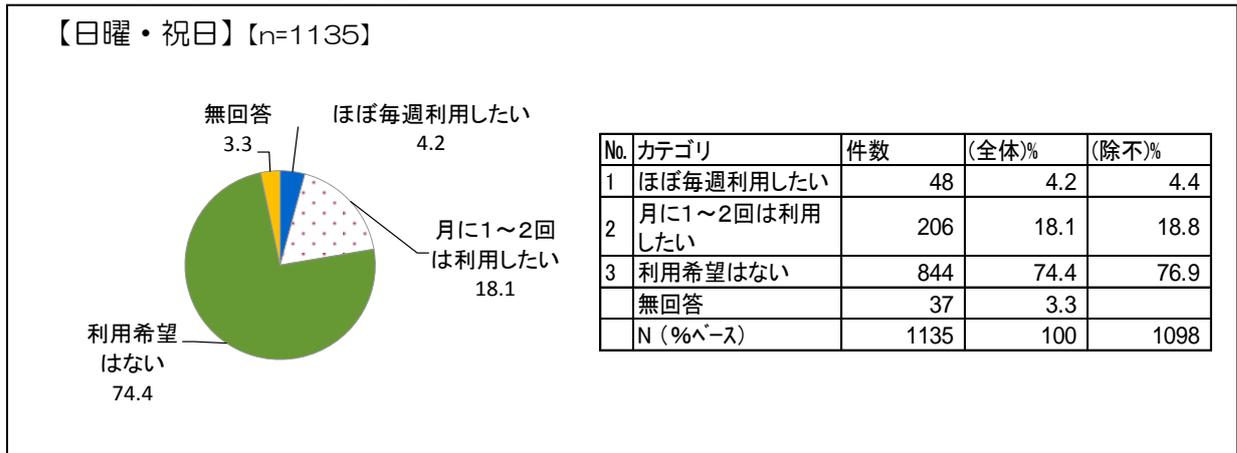
(単位：%)



○土曜日に『利用したい』と回答した保護者において、利用したい時間帯(開始時間)は、「8時」が41.3%と最も高く、次いで「9時」が36.3%などとなった。利用したい時間帯(終了時間)は、「17時」が23.5%と最も高く、次いで「18時」が22.3%などとなった。

(2) 日曜・祝日の利用希望

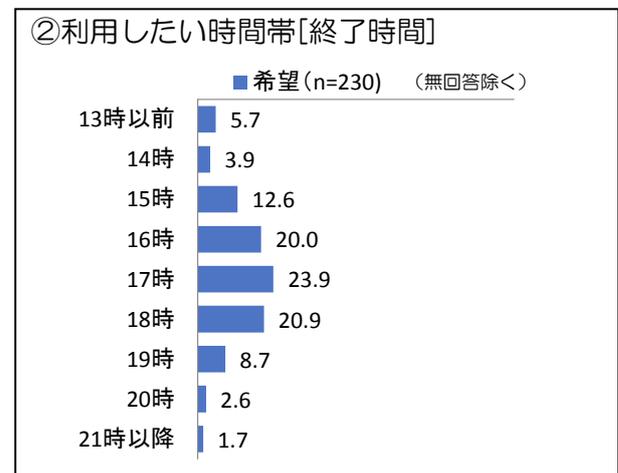
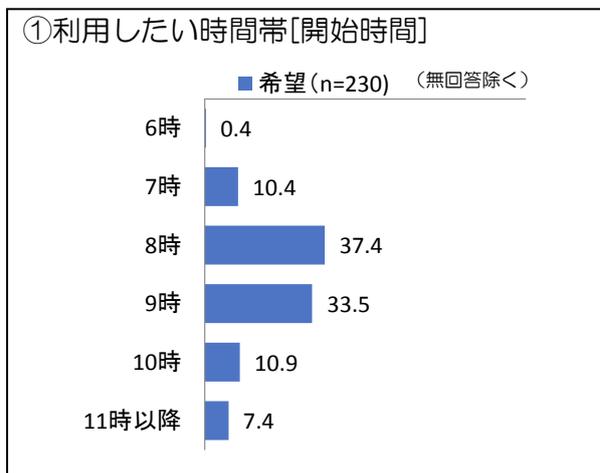
(単位：%)



○教育・保育事業における日曜・祝日の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1~2回は利用したい」を合わせた『利用したい』が22.3%と2割強を占めている。

(単位：%)

(単位：%)



○日曜・祝日に『利用したい』と回答した保護者において、利用したい時間帯（開始時間）は、「8時」が37.4%と最も高く、次いで「9時」が33.5%などとなった。利用したい時間帯（終了時間）は、「17時」が23.9%と最も高く、次いで「18時」が20.9%などとなった。

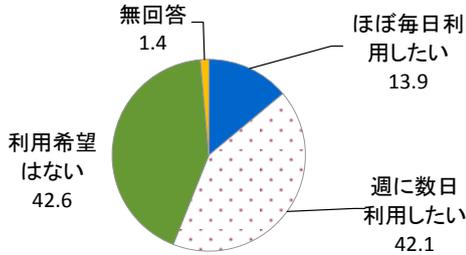
○ピークの時間帯は、土曜日の利用希望とほぼ同様の時間帯となっている。

(3) 幼稚園利用者の意向

(単位：%)

問21. 「幼稚園」を利用されている方にお伺いします。あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に、教育・保育事業の利用希望がありますか。(〇は1つ)  
 なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。

【幼稚園利用者】【n=216】

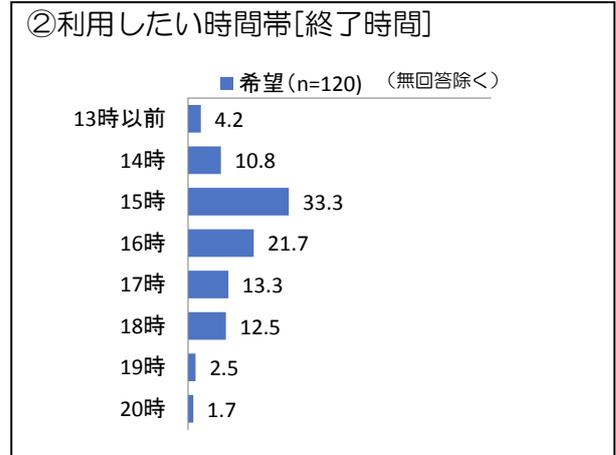
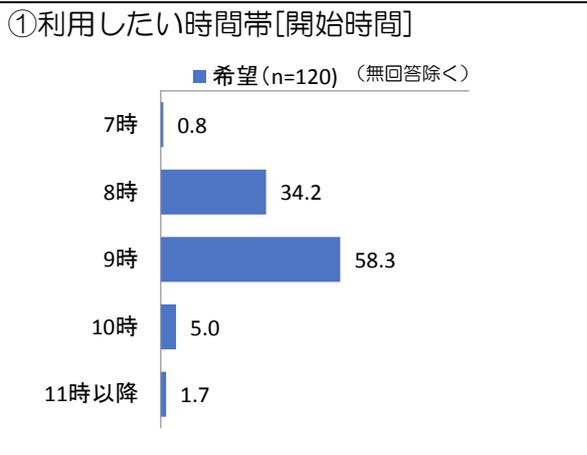


No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ほぼ毎日利用したい	30	13.9	14.1
2	週に数日利用したい	91	42.1	42.7
3	利用希望はない	92	42.6	43.2
	無回答	3	1.4	
	N (%ベース)	216	100	213

○幼稚園を利用している保護者において、長期休暇期間中における教育・保育事業の利用希望は、「ほぼ毎日利用したい」と「週に数日利用したい」を合わせた『利用したい』が56.0%と半数強を占めている。

(単位：%)

(単位：%)



○幼稚園を利用している保護者において、長期休暇期間中に『利用したい』と回答した保護者において、利用したい時間帯（開始時間）は、「9時」が58.3%と最も高く、次いで「8時」が34.2%などとなった。利用したい時間帯（終了時間）は、「15時」が33.3%と最も高く、次いで「16時」が21.7%などとなった。

○終了時間をみると、日ごろ預かり保育を定期的に利用している時間帯では「16時」(64.4%)が最も高いが、長期休暇期間中ではばらつきがみられる。

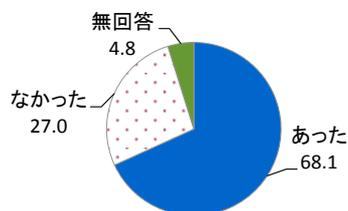
## 7. お子さんの病気等の際の対応

### (1) 利用状況

(単位：%)

問22. 問 14 で（教育・保育事業を利用している保護者の方へ）

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかったことはありましたか。（○は1つ）【n=518】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	あった	353	68.1	71.6
2	なかった	140	27.0	28.4
	無回答	25	4.8	
	N (%ベース)	518	100	493

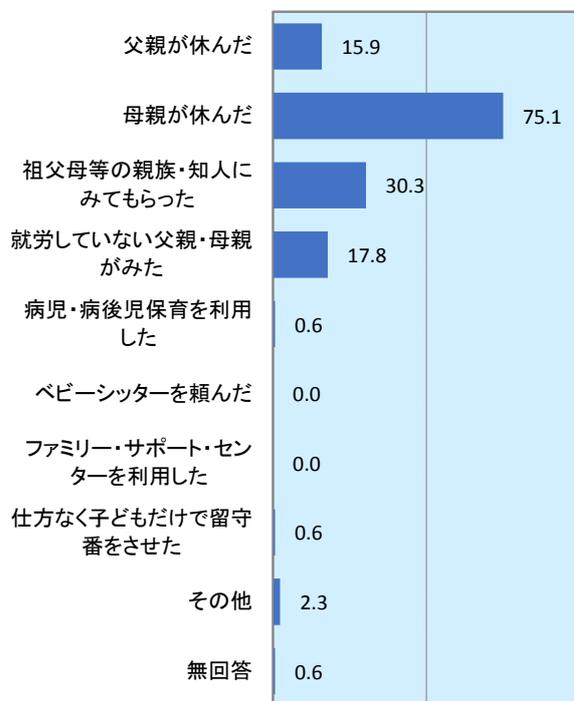
○教育・保育事業を「利用している」と回答した保護者において、病気やけがで通常の教育・保育事業が利用できなかったことが「あった」と回答した割合は68.1%と7割弱を占めた。

### (2) 対処方法

(単位：%)

問 22-1 (問 22 で「1. あった」をお選びの方へ)

この1年間、あて名のお子さんが病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかったときの対処方法についてお伺いします。また、それぞれの日数は概ね何日ですか。（あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を[ ]内に数字でご記入ください。）【n=353】

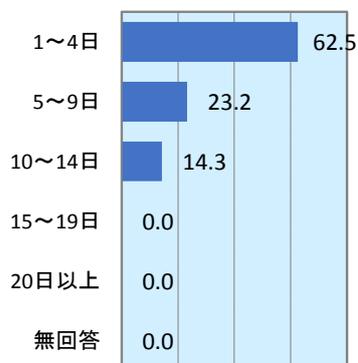


No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	父親が休んだ	56	15.9	16.0
2	母親が休んだ	265	75.1	75.5
3	祖父母等の親族・知人にみてもらった	107	30.3	30.5
4	就労していない父親・母親がみた	63	17.8	17.9
5	病児・病後児保育を利用した	2	0.6	0.6
6	ベビーシッターを頼んだ	0	0.0	0.0
7	ファミリー・サポート・センターを利用した	0	0.0	0.0
8	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	2	0.6	0.6
9	その他	8	2.3	2.3
	無回答	2	0.6	
	N (%ベース)	353	100	351

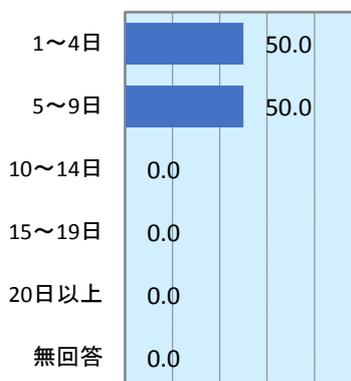
○病気やけがで通常の教育・保育事業が利用できなかったことが「あった」と回答した保護者において、利用できなかったときの対処方法は、「母親が休んだ」が75.1%と最も高く、次いで「祖父母等の親族・知人にみてもらった」が30.3%、「就労していない父親・母親がみた」が17.8%などとなった。

## (対処方法別) それぞれの対応した日数

①父親が休んだ日数



②母親が休んだ日数

③祖父母等の親族・知人に  
みてもらった日数④就労していない父親・  
母親がみた日数⑤病児・病後児保育を利用  
した日数⑥仕方なく子どもだけで  
留守番をさせた日数

⑦その他

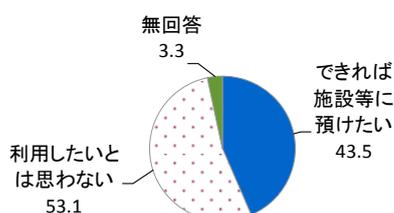


○病気やけがで通常の教育・保育事業が利用できなかったことが「あった」と回答した保護者において、その際の対処方法をみると、総じて「1~4日」が最も高くなった。少数ではあるが、「子どもだけで留守番をさせた日数」が5日以上と回答した保護者もみられた。

### (3) 施設に預けたい日数

(単位：%)

問 22-2 (問 22-1で「1」または「2」をお選びの方へ) その際、できれば施設を利用したいと思われましたか。(あてはまる番号1つに○をつけ、〔 〕内に数字でご記入ください。【n=271】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	できれば施設等に預けたい	118	43.5	45.0
2	利用したいとは思わない	144	53.1	55.0
	無回答	9	3.3	
	N (%ベース)	271	100	262

【施設等を利用したい日数】【n=118】



○病気やけがで通常の教育・保育事業が利用できなかったことが「あった」と回答した保護者のうち、「父親が休んだ」、「母親が休んだ」と回答した保護者の施設の利用希望は、「できれば施設等を利用したい」が43.5%、「利用したいと思わない」が53.1%となった。

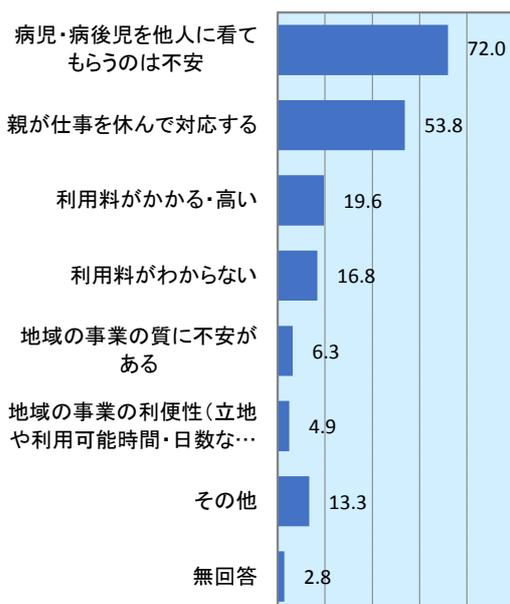
○施設等を利用したい日数は、「1~4日」が32.2%と最も高く、次いで「5~9日」が31.4%となり、10日未満で7割弱を占めた。

### (4) 施設を利用したいとは思わない理由

(単位：%)

問 22-3 (問 22-2で「2. 利用したいとは思わない」をお選びの方へ)

「利用したいとは思わない」を選んだ理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)【n=144】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	病児・病後児を他人に看てもらうのは不安	103	72.0	74.1
6	親が仕事を休んで対応する	77	53.8	55.4
4	利用料がかかる・高い	28	19.6	20.1
5	利用料がわからない	24	16.8	17.3
2	地域の事業の質に不安がある	9	6.3	6.5
3	地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない	7	4.9	5.0
7	その他	19	13.3	13.7
	無回答	5	2.8	
	N (%ベース)	144	100	139

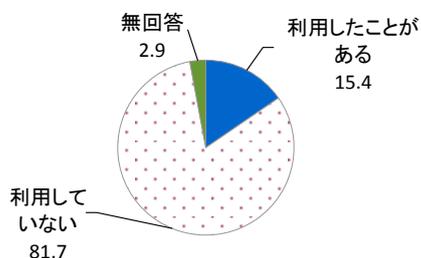
○「施設を利用したいとは思わない」と回答した理由は、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が72.0%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が53.8%などとなった。

## 8. 一時預かり

### (1) 一時的に預けたことの有無

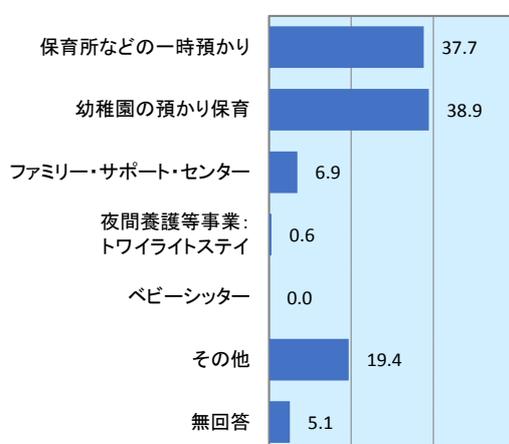
(単位：%)

問23. この1年間で、私用やリフレッシュ目的、保護者の通院や出産などのため、あて名のお子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。(あてはまるものすべてに○)【n=1135】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	利用したことがある	175	15.4	15.9
2	利用していない	927	81.7	84.1
	無回答	33	2.9	
	N (%ベース)	1135	100	1102

### 【利用した事業】【n=175】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	保育所などの一時預かり	66	37.7	39.8
2	幼稚園の預かり保育	68	38.9	41.0
3	ファミリー・サポート・センター	12	6.9	7.2
4	夜間養護等事業: トワイライトステイ	1	0.6	0.6
5	ベビーシッター	0	0.0	0.0
6	その他	34	19.4	20.5
	無回答	9	5.1	
	N (%ベース)	175	100	166

○この1年間で、私用やリフレッシュ目的などで一時的に家族以外の誰かに預けたことをうかがったところ、「利用した（預けた）ことがある」が15.4%、「利用していない」が81.7%となった。

○利用した事業は、「保育所などの一時預かり」が37.7%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」が38.9%などとなった。「夜間養護等事業」と回答した保護者は少数であった。

## (事業別) 一時預かりを利用した日数

①年間日数



②保育所などの一時預かり



③幼稚園の預かり保育



④ファミリー・サポート・センター



⑤その他



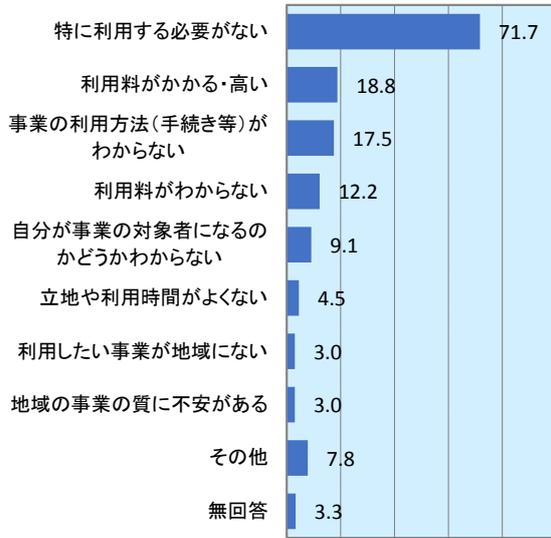
○一時預かりを「利用した（預けた）ことがある」と回答した保護者において、利用した日数をみると、年間日数では「1～4日」が36.0%と最も高く、次いで「20日以上」が17.1%などとなり、利用頻度が高い保護者も一定数いることがうかがえる。

○利用した事業別にみると、どの事業においても「1～4日」が最も高く、「幼稚園の預かり保育」では「20日以上」も25.0%と3割弱を占めた。「幼稚園の預かり保育」は他の事業と比べて利用した頻度が多い傾向にある。

(2) 一時預かりを利用していない理由

(単位：%)

問 23-1 (問 23 で「2」をお選びの方へ) 現在利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)【n=927】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	特に利用する必要がない	665	71.7	74.2
5	利用料がかかる・高い	174	18.8	19.4
8	事業の利用方法(手続き等)がわからない	162	17.5	18.1
6	利用料がわからない	113	12.2	12.6
7	自分が事業の対象者になるのかどうかわからない	84	9.1	9.4
4	立地や利用時間がよくない	42	4.5	4.7
2	利用したい事業が地域にない	28	3.0	3.1
3	地域の事業の質に不安がある	28	3.0	3.1
9	その他	72	7.8	8.0
	無回答	31	3.3	
	N (%ベース)	927	100	896

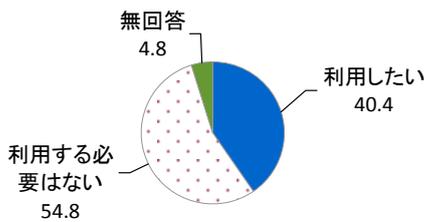
○「一時預かりを利用していない」と回答した保護者に「一時預かりを利用していない理由」をうかがったところ、「特に利用する必要がない」が 71.7%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が 18.8%などとなった。

(3) 一時預かりの利用希望

(単位：%)

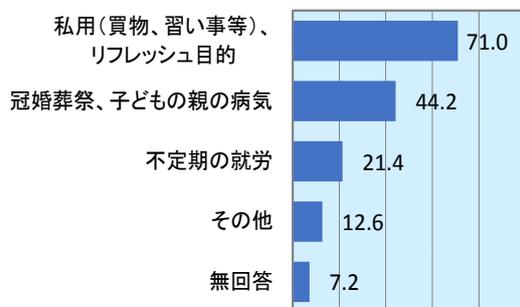
問24. あて名のお子さんについて、私用やリフレッシュ目的、保護者の通院や出産などのため、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。【n=1135】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	利用したい	459	40.4	42.5
2	利用する必要はない	622	54.8	57.5
	無回答	54	4.8	
	N (%ベース)	1135	100	1081

【利用したい理由】【n=459】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的	326	71.0	76.5
2	冠婚葬祭、子どもの親の病気	203	44.2	47.7
3	不定期の就労	98	21.4	23.0
4	その他	58	12.6	13.6
	無回答	33	7.2	
	N (%ベース)	459	100	426

○今後の利用希望は「利用したい」が 40.4%、「利用する必要はない」が 54.8%となった。  
 ○利用したい理由をみると、「私用、リフレッシュ目的」が 71.0%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、子どもの親の病気」が 44.2%などとなった。

## (理由別) 一時預かりを利用したい日数

①年間日数



②私用目的(買物、習い事等)



③冠婚葬祭、親の病気



④不定期の就労



⑤その他



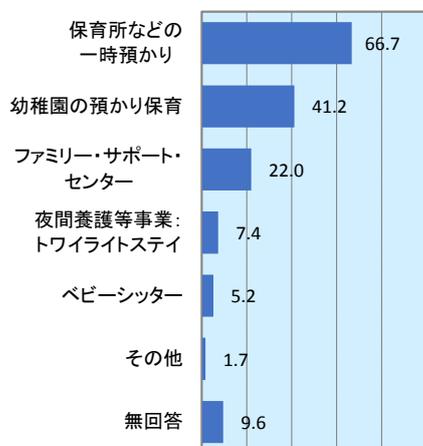
○一時預かりを利用したい年間日数は、「10～14日」が30.1%と最も高く、次いで「20日以上」が29.6%などとなった。

○理由別にみると、「冠婚葬祭、親の病気」では「1～4日」が38.4%と最も高くなったが、「私用目的(買い物、習い事等)」では「10～14日」(28.8%)、「不定期の就労」は「20日以上」(40.8%)が最も高くなった。

## (4) 一時預かりで希望する事業形態

(単位：%)

問24-1 (問24で「1.利用したい」をお選びの方へ) 問24の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(あてはまるものすべてに○)【n=459】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	保育所などの一時預かり	306	66.7	73.7
2	幼稚園の預かり保育	189	41.2	45.5
3	ファミリー・サポート・センター	101	22.0	24.3
4	夜間養護等事業：トワイライトステイ	34	7.4	8.2
5	ベビーシッター	24	5.2	5.8
6	その他	8	1.7	1.9
	無回答	44	9.6	
	N (%ベース)	459	100	415

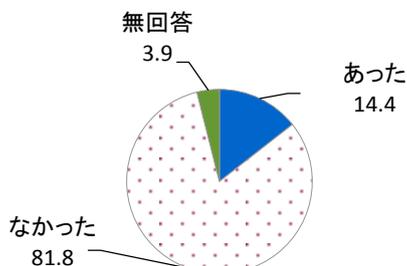
○「一時預かりを利用したい」と回答した保護者において、「一時預かりで希望する事業形態」をうかがったところ、「保育所などの一時預かり」が66.7%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」が41.2%などとなった。

## 9. 宿泊を伴う一時預かり

### (1) 宿泊を伴う一時預かりについての有無

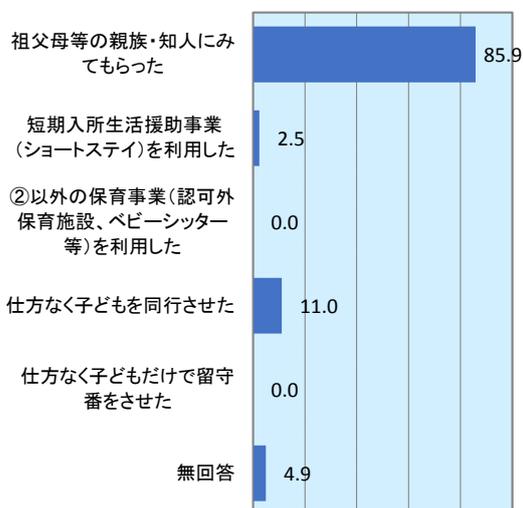
(単位：%)

問25. この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。（あてはまるものすべてに○）  
【n=1135】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	あった	163	14.4	14.9
2	なかった	928	81.8	85.1
	無回答	44	3.9	
	N (%ベース)	1135	100	1091

### 【「あった」と回答した保護者の対処方法】【n=163】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	祖父母等の親族・知人にみてもらった	140	85.9	90.3
2	短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	4	2.5	2.6
3	②以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	0	0.0	0.0
4	仕方なく子どもを同行させた	18	11.0	11.6
5	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0	0.0	0.0
	無回答	8	4.9	
	N (%ベース)	163	100.0	155

○この1年間に、保護者の用事などにより、子どもを泊まりがけで家族以外に預けたことの有無は、「あった」の14.4%、「なかった」が81.8%となった。

○「あった」と回答した保護者の対処方法は、「祖父母等の親族・知人にみてもらった」が85.9%と高い割合を占めた。「子どもだけで留守番をさせた」と回答した保護者はいなかった。

(対処方法別) 子どもを泊まりがけで家族以外の誰かに預けた泊数

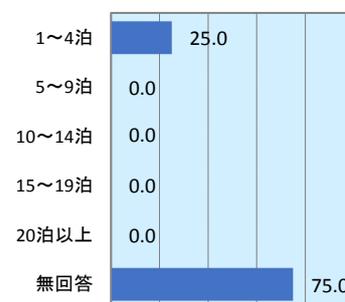
①年間泊数



②祖父母等の親族・知人にみてもらった泊数



③短期入所生活援助事業を利用した泊数



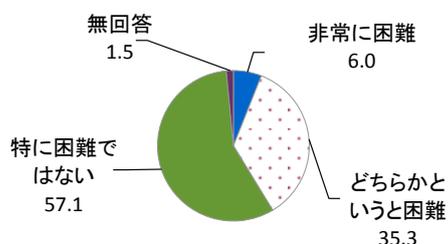
④仕方なく子どもを同行させた泊数



○子どもを泊まりがけで家族以外の誰かに預けたことが「ある」と回答した保護者において、預けた年間泊数は、「1~4泊」が50.9%と最も高いが、「祖父母等の親族・知人にみてもらった泊数」では「20泊以上」と回答した保護者もみられた。

(2) 困難度

問 25-1 (問 25 で「1. あった①祖父母等の親族・知人にみてもらった」をお選びの方へ) その場合、保護者の方にとって困難度はどの程度でしたか。(○はひとつ)  
【n=133】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	非常に困難	8	6.0	6.1
2	どちらかという困難	47	35.3	35.9
3	特に困難ではない	76	57.1	58.0
	無回答	2	1.5	
	N (%ベース)	133	100	131

○子どもを泊まりがけで家族以外の誰かに預けたことが「あった」と回答した保護者のうち、「祖父母等の親族・知人にみてもらった」と回答した保護者において、預けた際の困難度は、「特に困難ではない」が57.1%と6割弱を占めた。「非常に困難」と「どちらかという困難」を合わせた『困難である』は41.3%となった。

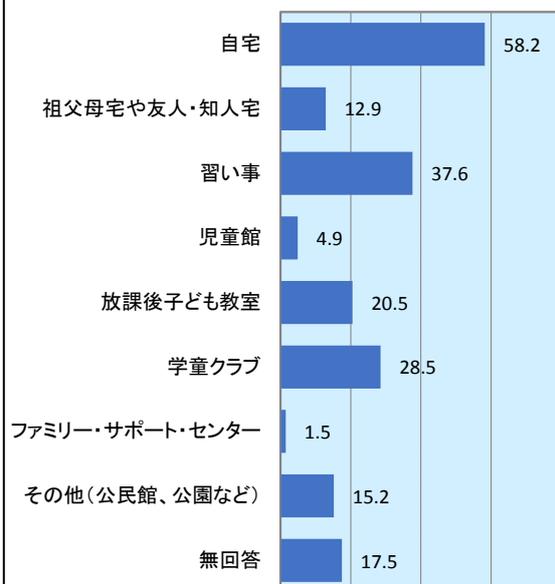
## 10. 小学校就学後の放課後の過ごし方

### (1) 放課後に過ごさせたい場所（低学年）

（単位：%）

問26. あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○をつけ、[ ]内に数字でご記入ください。）【n=263】

#### ① 過ごさせたい場所（低学年）



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	自宅	153	58.2	70.5
2	祖父母宅や友人・知人宅	34	12.9	15.7
3	習い事	99	37.6	45.6
4	児童館	13	4.9	6.0
5	放課後子ども教室	54	20.5	24.9
6	学童クラブ	75	28.5	34.6
7	ファミリー・サポート・センター	4	1.5	1.8
8	その他(公民館、公園など)	40	15.2	18.4
	無回答	46	17.5	
	N (%ベース)	263	100.0	217.0

○5歳以上の子どもを持つ保護者に、小学校就学後、「放課後に過ごさせたい場所（低学年）」をうかがったところ、「自宅」が58.2%と最も高く、次いで「習い事」が37.6%、「学童クラブ」が28.5%などとなった。

○学童クラブの利用希望をみると、1週間あたりの利用日数は「5日」(61.3%)、「下校時から18時まで」(34.7%)が最も高くなった。

## ②過ごさせたい場所別（週に何日程度）

### ①自宅



### ②祖父母宅や友人・知人宅



### ③習い事・学習塾



### ④児童センター



### ⑤放課後子ども教室



### ⑥学童クラブ



### 学童クラブ（何時から何時まで）



### ⑦ファミリー・ホール・センター



### ⑧その他（公民館、公園など）

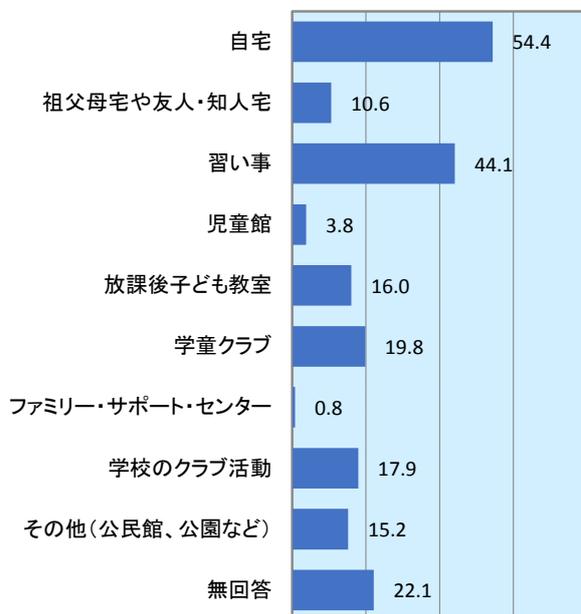


## (2) 放課後に過ごさせたい場所（高学年）

（単位：％）

問27. あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○をつけ、[ ]内に数字でご記入ください。）【n=263】

### ① 過ごさせたい場所（高学年）



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	自宅	143	54.4	69.8
2	祖父母宅や友人・知人宅	28	10.6	13.7
3	習い事	116	44.1	56.6
4	児童館	10	3.8	4.9
5	放課後子ども教室	42	16.0	20.5
6	学童クラブ	52	19.8	25.4
7	ファミリー・サポート・センター	2	0.8	1.0
8	学校のクラブ活動	47	17.9	22.9
9	その他(公民館、公園)	40	15.2	19.5
	無回答	58	22.1	
	N (%ベース)	263	100	205

○5 歳以上の子どもを持つ保護者に、小学校就学後、「放課後に過ごさせたい場所（高学年）」をうかがったところ、「自宅」が 54.4%と最も高く、次いで「習い事」が 44.1%となり、上位 2 項目は低学年と同様となった。「学童クラブ」は 19.8%にとどまり、低学年 (28.5%) に比べて 8.7 ポイント下回った。

○学童クラブの利用希望をみると、1 週間あたりの利用日数は「5 日」(48.1%)、「下校時から 18 時まで」(40.4%) が最も高くなった。

## ②過ごさせたい場所別（週に何日程度）

### ①自宅



### ②祖父母宅や友人・知人宅



### ③習い事・学習塾



### ④児童センター



### ⑤放課後子ども教室



### ⑥学童クラブ(学童)



### 学童クラブ（何時から何時まで）



### ⑦ファミリー・ホール・センター



### ⑧学校のクラブ活動



### ⑨その他（公民館、公園など）

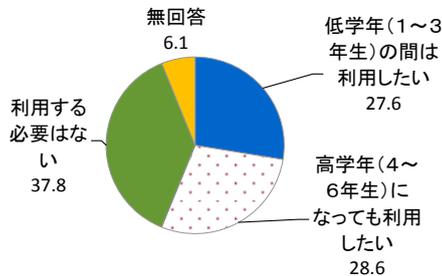


### (3) 学童クラブ 土曜日の希望

(単位：%)

問28. (問26または問27で「6. 学童クラブ」をお選びの方へ)あて名のお子さんについて、土曜日、日曜・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。(○は1つ)  
なお、事業の利用には、一定の利用料が発生します。

#### ①利用意向【n=98】

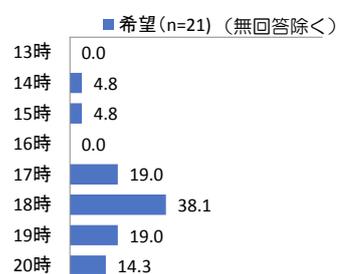


No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	低学年(1~3年生)の間は利用したい	27	27.6	29.3
2	高学年(4~6年生)になっても利用したい	28	28.6	30.4
3	利用する必要はない	37	37.8	40.2
	無回答	6	6.1	
	N (%ベース)	98	100	92

#### ②利用したい時間帯 (開始時間)



#### ③利用したい時間帯 (終了時間)

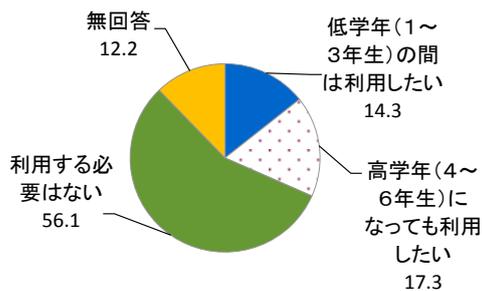


○放課後に過ごさせたい場所で「学童クラブ」を選択した保護者において、土曜日の利用希望をみると、「低学年の間は利用したい」(27.6%)と「高学年になっても利用したい」(28.6%)を合わせた『利用したい』は、56.2%と半数強を占めた。

### (4) 学童クラブ 日曜・祝日の希望

(単位：%)

#### ①利用意向【n=98】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	低学年(1~3年生)の間は利用したい	14	14.3	16.3
2	高学年(4~6年生)になっても利用したい	17	17.3	19.8
3	利用する必要はない	55	56.1	64.0
	無回答	12	12.2	
	N (%ベース)	98	100	86

#### ②利用したい時間帯 (開始時間)



#### ③利用したい時間帯 (終了時間)



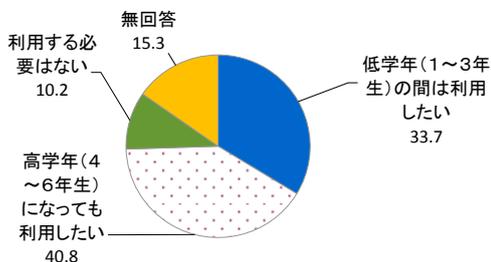
○放課後に過ごさせたい場所で「学童クラブ」を選択した保護者において、日曜・祝日の利用希望をみると、「低学年の間は利用したい」(14.3%)と「高学年になっても利用したい」(17.3%)を合わせた『利用したい』は、31.6%と3割強を占めた。

(5) 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中

(単位：%)

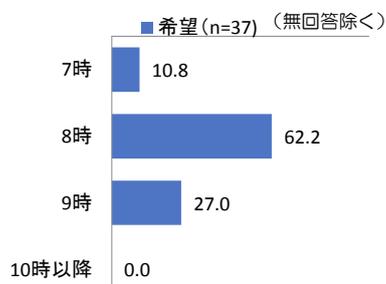
問29. あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中に、学童クラブの利用希望はありますか。(○は1つ)  
 なお、事業の利用には、一定の利用料が発生します。

①利用意向【n=98】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	低学年(1~3年生)の間は利用したい	33	33.7	39.8
2	高学年(4~6年生)になっても利用したい	40	40.8	48.2
3	利用する必要はない	10	10.2	12.0
	無回答	15	15.3	
	N (%ベース)	98	100	83

②利用したい時間帯（開始時間）



③利用したい時間帯（終了時間）



○放課後に過ごさせたい場所で「学童クラブ」を選択した保護者において、夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の利用希望をみると、「低学年の間は利用したい」(33.7%)、「高学年になっても利用したい」(40.8%)を合わせた『利用したい』は、74.5%と7割強を占めた。開始時間は「8時」、終了時間は「18時」でニーズが高くなっている。

# 1 1. 育児休業制度

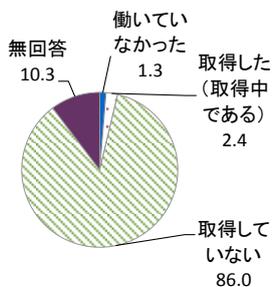
## (1) 育児休業取得状況

(単位：%)

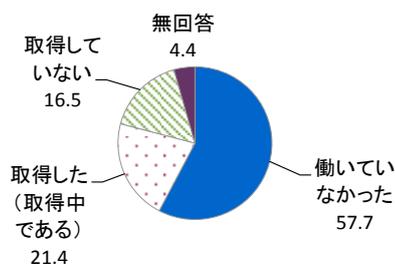
問30. あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(父親、母親それぞれについて○は1つ)。また、取得していない方は、該当する数字をご記入ください。

### 【育児休業取得状況】

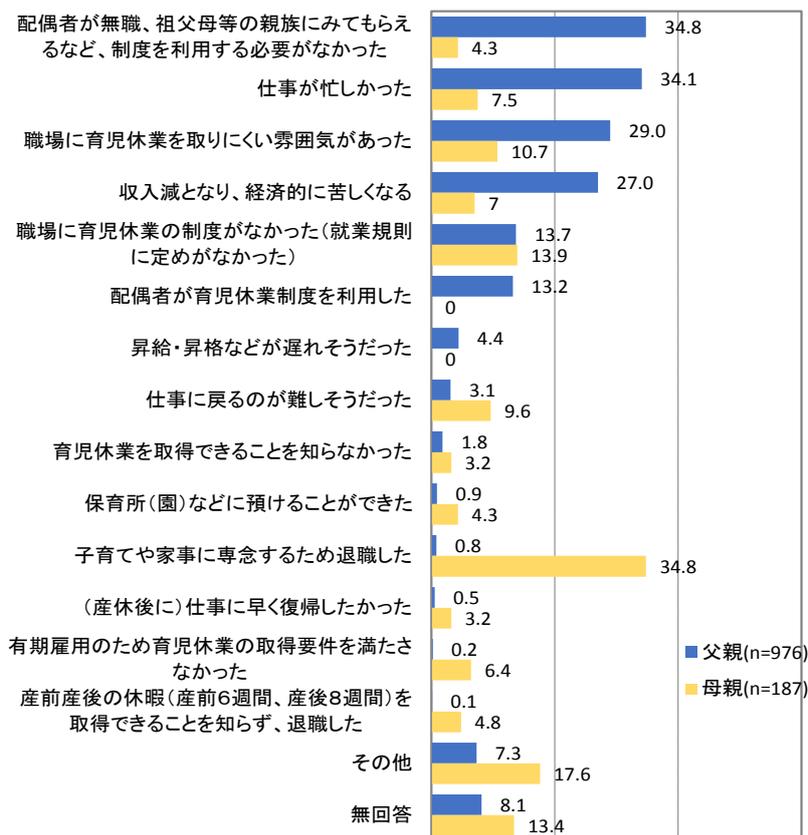
①父親【n=1135】



②母親【n=1135】



### 【「取得していない」を選択した保護者 取得していない理由】



○育児休業制度の取得状況をみると、「取得した(取得中である)」は父親が 2.4%、母親が 21.4%と父親は少数であった。「取得していない」は父親が 86.0%、母親が 16.5%となった。

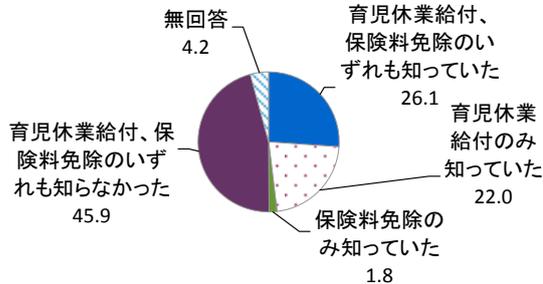
○取得していない理由は、父親は「必要がなかった」が 34.8%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が 34.1%などとなった。母親は「子育てや家事に専念するため」が 34.8%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」が 13.9%などとなった。

## (2) 育児休業給付等の認知度

(単位：%)

問 30-1 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等の期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。(〇は1つ)

【n=1135】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた	296	26.1	27.2
2	育児休業給付のみ知っていた	250	22.0	23.0
3	保険料免除のみ知っていた	20	1.8	1.8
4	育児休業給付、保険料免除のいずれも知	521	45.9	47.9
	無回答	48	4.2	
	N (%ベース)	1135	100	1087

○育児休業給付等の認知度は、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」(26.1%)と「育児休業給付のみ知っていた」(22.0%)と「保険料免除のみ知っていた」(1.8%)を合わせた『知っていた』が49.9%と5割弱を占めた。「いずれも知らなかった」は45.9%と半数弱を占めた。

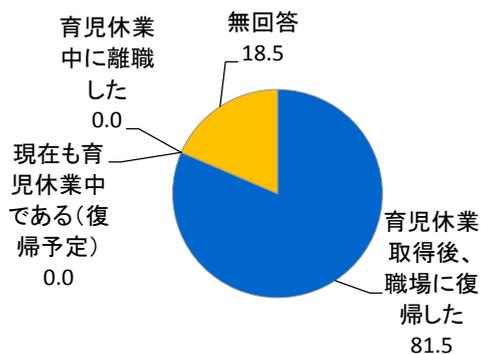
## (3) 育児休業後の状況

(単位：%)

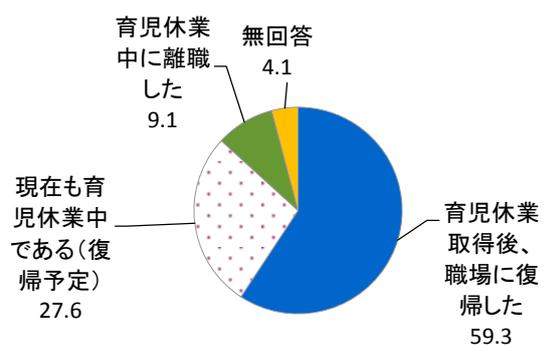
問 30で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方にお伺いします。

⇒ 「1. 働いていなかった」、「3. 取得していない」と回答した方は、問 31 へ  
問 30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(〇は1つ)

①父親【n=27】



②母親【n=243】



○育児休業制度を「取得した(取得中である)」保護者において、育児休業後の状況を見ると、「職場に復帰した」は父親が81.5%、母親が59.3%となった。母親は「現在も育児休業中である(復帰予定)」が27.6%、「育児休業中に離職した」は9.1%にとどまった。

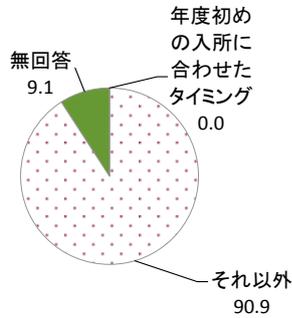
(4) 職場に復帰した時期

(単位：%)

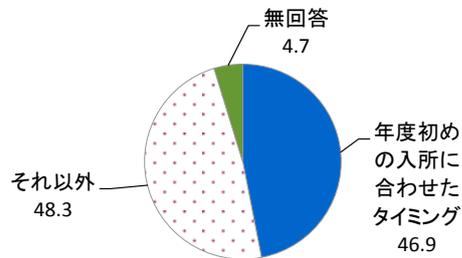
問 30—2 で「1」（復帰した）または「2」（復帰予定）と回答した方にお伺いします。

問 30—3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。（〇は1つ）

①父親【n=22】



②母親【n=211】



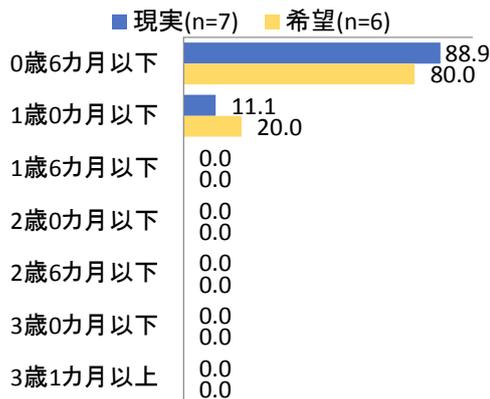
○育児休業から職場に復帰した時期は、母親は「年度初めの入所に合わせたタイミング」が46.9%と最も高く、父親は該当者がいなかった。「それ（年度初めの入所に合わせたタイミング）以外」は、父親が90.9%、母親が48.3%となった。

(5) 職場に復帰したときの子どもの年齢

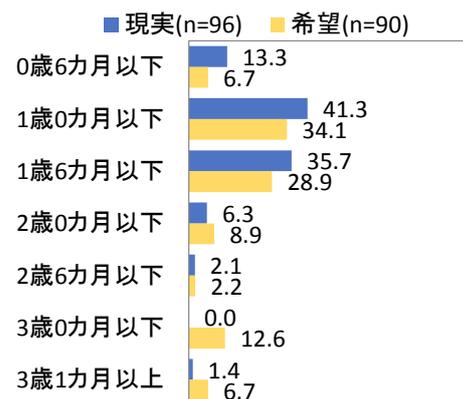
(単位：%)

問 30—4 育児休業から「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。[ ]内に数字でご記入ください。  
※問 30—2 で「2」（復帰予定）を選んだ方は、現時点での見込みをお答えください。

①父親（無回答除く）



②母親（無回答除く）



○育児休業から職場に復帰したときの子どもの年齢は、父親は「0歳6カ月以下」、母親は「1歳0カ月以下」が現実でも希望でも最も高くなった。

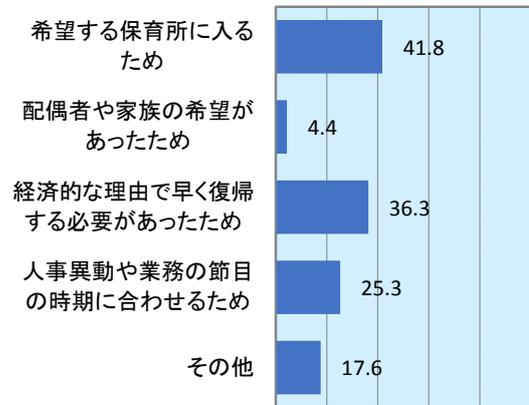
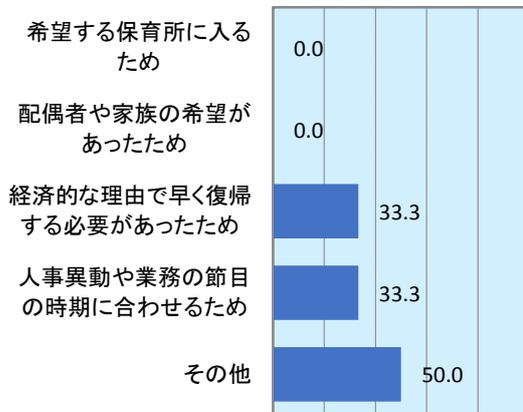
(6) 実際の復帰時期と希望が異なった理由

(単位：%)

【希望よりも早く復帰した理由】

①父親【n=6】（無回答除く）

②母親【n=91】（無回答除く）



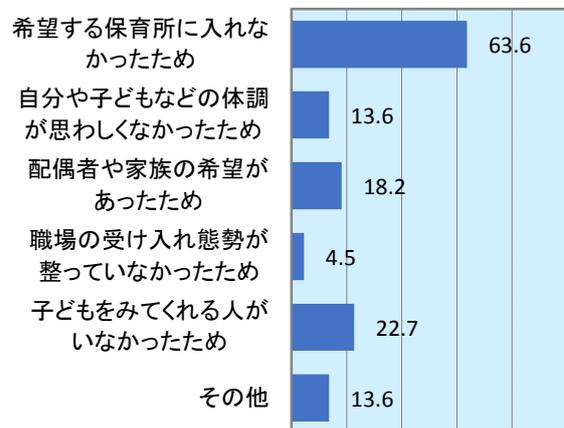
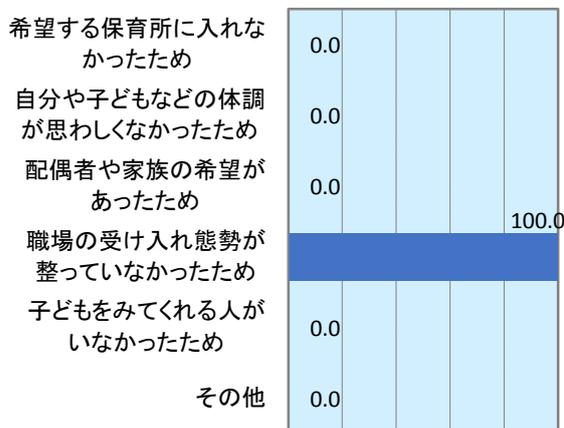
○育児休業制度を取得して職場に復帰した保護者のうち、希望の時期よりも早く職場に復帰した理由は、母親は「希望する保育所に入るため」が41.8%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が36.3%などとなった。「希望する保育所に入るため」は父親で該当者はいなかった。

(単位：%)

【希望よりも遅く復帰した理由】

①父親【n=1】（無回答除く）

②母親【n=22】（無回答除く）



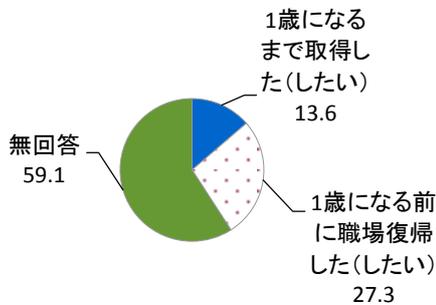
○育児休業制度を取得して職場に復帰した保護者において、希望の時期よりも遅く職場に復帰した理由をみると、母親は「希望する保育所に入れなかったため」が63.6%と最も高く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」が22.7%などとなった。

(7) 1歳になるまでの育児休業取得意向

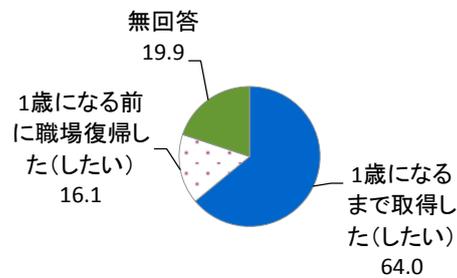
(単位：%)

問 30—5 もし、あて名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる保育所等があれば、1歳になるまで育児休業を取得しましたか。  
 ※問 30—2 で「2」(復帰予定)を選んだ方は、現時点での見込みをお答えください。

①父親【n=22】



②母親【n=211】



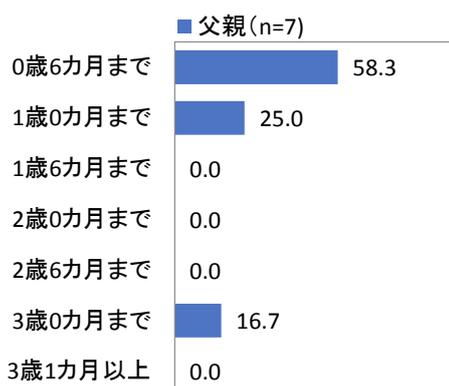
○育児休業後に職場に復帰した保護者と育児休業中の保護者において、1歳になるまでの育児休業取得意向をみると、「1歳になるまで取得した(したい)」は母親が64.0%、父親が13.6%、「1歳になる前に職場復帰した(したい)」は母親が16.1%、父親が27.3%となった。母親は必ず預けられる保育所があれば育児休業を長く取得したい意向がみられる。

(8) 3歳まで休暇を取得できる場合の意向

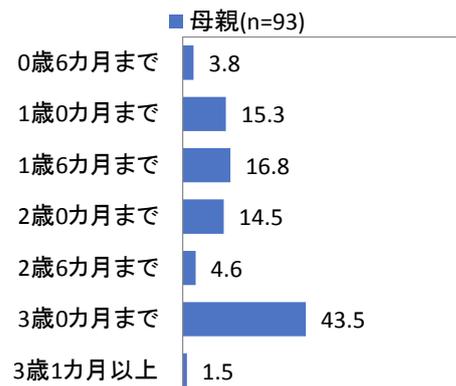
(単位：%)

問 30—6 もし、お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としては、あて名のお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。  
 [ ]に数字でご記入ください。  
 ※問 30—2 で「2」(復帰予定)を選んだ方は、現時点での希望をお答えください。

①父親【n=7】(無回答除く)



②母親【n=93】(無回答除く)



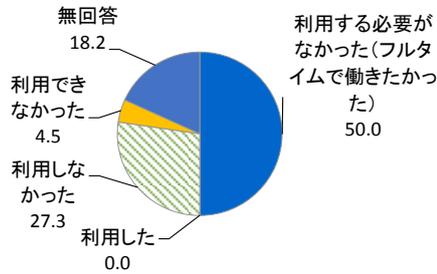
○育児休業後に職場に復帰した保護者と育児休業中の保護者のうち、3歳まで休暇を取得できる場合の意向をみると、母親は子どもが「3歳0カ月まで」が43.5%と最も高く4割強を占めた。

(9) 短時間勤務制度の利用状況

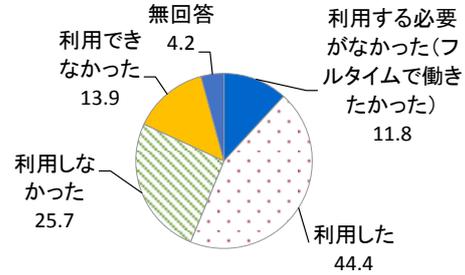
(単位：%)

問 30—7 (問 30—2 で「1」(復帰した)をお選びの方へ) 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(〇は1つ)

①父親【n=22】



②母親【n=144】

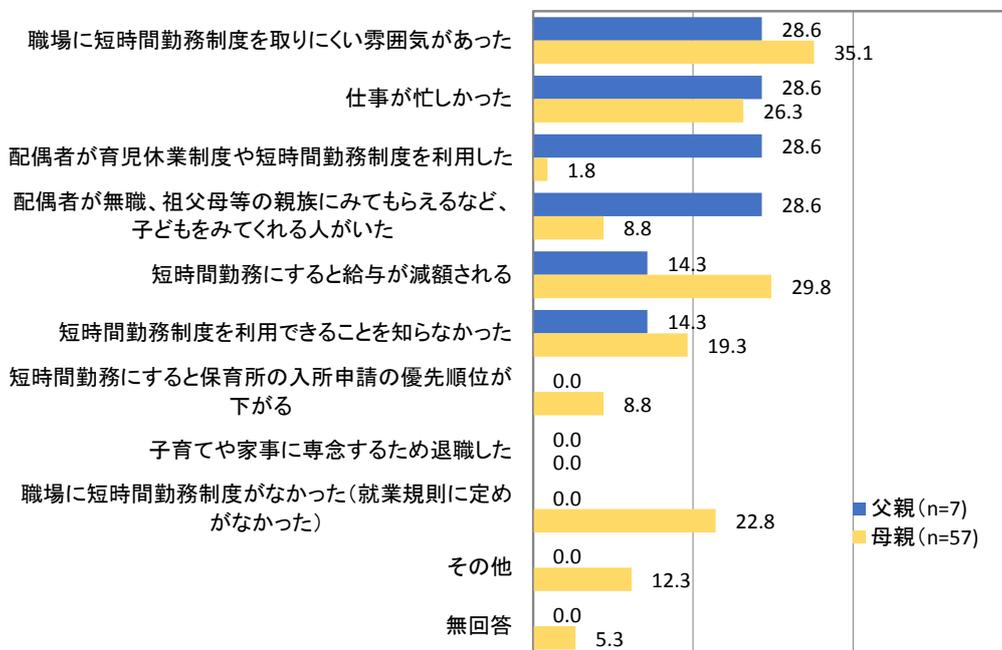


○育児休業後に職場に復帰した保護者において、短期時間勤務制度の利用状況をみると、「利用した」は母親が 44.4%となったが、父親で該当者はいなかった。母親は「利用した」(44.4%)が「利用しなかった」(25.7%)を上回った。「利用できなかった」(父親 4.5%、母親 13.9%)と回答した保護者もみられた。

(10) 短時間勤務制度を利用できなかった理由

(単位：%)

問 30—8 (問 30—7 で「3. 利用しなかった」または「4. 利用できなかった」をお選びの方へ) 短時間勤務制度を「利用しなかった」または「利用できなかった」理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

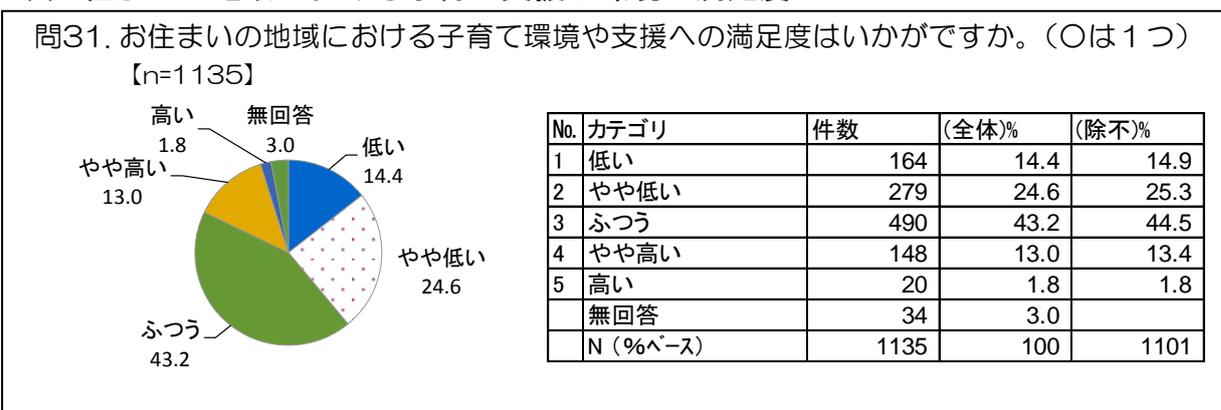


○前問で短時間勤務制度を「利用しなかった」「利用できなかった」と回答した保護者において、利用できなかった理由をみると、母親は「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 35.1%と最も高く、次いで「給与が減額される」が 29.8%などとなった。

## 12. 行政サービス

### (1) 住まいの地域における子育て支援や環境の満足度

(単位：%)



○住まいの地域における子育て支援や環境の満足度は、満足度が「低い」と「やや低い」を合わせた『低い』(39.0%)が、満足度が「高い」と「やや高い」を合わせた『高い』(14.8%)を24.2ポイント上回った。

#### 【地域別】

(単位：%)

	件数	『低い』(低い+やや低い)			『高い』(やや高い+高い)			ふつう	無回答	
		低い	やや低い	『低い』(低い+やや低い)	やや高い	高い	『高い』(やや高い+高い)			
<b>全体</b>	<b>1135</b>	<b>14.4</b>	<b>24.6</b>	<b>39.0</b>	<b>13.0</b>	<b>1.8</b>	<b>14.8</b>	<b>43.2</b>	<b>3.0</b>	
小学校区	富里小学校区	306	16.0	22.9	38.9	13.7	12.1	1.6	45.1	2.3
	富里第一小学校区	65	13.8	26.2	40.0	12.3	12.3	0.0	46.2	1.5
	富里南小学校区	222	11.3	25.7	37.0	16.7	14.4	2.3	41.0	5.4
	浩養小学校区	24	12.5	33.3	45.8	16.7	16.7	0.0	33.3	4.2
	洗心小学校区	18	5.6	27.8	33.4	38.9	33.3	5.6	27.8	0.0
	日吉台小学校区	207	14.0	24.6	38.6	14.5	13.5	1.0	44.4	2.4
	根木名小学校区	80	18.8	20.0	38.8	6.3	5.0	1.3	52.5	2.5
七栄小学校区	184	16.3	27.2	43.5	16.3	13.0	3.3	37.0	3.3	
年齢	0歳児	348	12.4	23.9	36.3	17.8	15.5	2.3	42.2	3.7
	1歳児	208	10.1	30.3	40.4	13.5	12.5	1.0	44.2	1.9
	2歳児	159	17.0	24.5	41.5	15.1	13.8	1.3	40.3	3.1
	3歳児	131	16.0	22.9	38.9	14.5	14.5	0.0	45.0	1.5
	4歳児	130	16.9	24.6	41.5	8.5	5.4	3.1	46.2	3.8
	5歳児	133	20.3	20.3	40.6	15.1	12.8	2.3	41.4	3.0
(母就労形態)	フルタイム	261	18.4	23.4	41.8	16.5	14.6	1.9	39.5	2.3
	パート・アルバイト等	299	17.4	27.4	44.8	9.0	8.7	0.3	43.5	2.7
	就労していない	545	11.4	24.0	35.4	17.4	15.0	2.4	43.9	3.3

(注)シャド一部分：全体平均よりも高いもの(ただし、「洗心小学校区」と「浩養小学校区」は母数が少ないため、誤差率が高くなる可能性が考えられる。)

○住まいの地域における子育て環境や支援への満足度を地域別にみると、満足度が『低い』は浩養小学校区や七栄小学校区などで比率が高くなっている。

○年齢別にみると、満足度が『低い』は1～2歳児や4～5歳児で比率が高くなっている。

○就労形態別にみると、満足度が『低い』はフルタイムなどで就労している保護者で比率が高くなっている。

## (2) 充実を図ってほしい市のサービス

(単位：%)

問32. 市に対して、どのような子育て支援の充実を図って欲しいと期待していますか。(あてはまるものすべてに○)【n=1135】



○充実を図ってほしい市のサービスは、「親子で出かけやすく、楽しめる場所を増やして欲しい」が62.4%と最も高く、次いで「保育園や幼稚園にかかる費用負担を軽減して欲しい」が57.8%、「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備して欲しい」が38.9%などとなった。子連れで楽しめる場所の充実や教育・保育事業の費用軽減を希望する保護者が多い。

## (3) 「親子で出かけやすく楽しめる場所」(具体的な場所)【n=708】

(単位：%)



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	公園	489	69.1	79.5
2	児童館	268	37.9	43.6
4	図書館	122	17.2	19.8
3	公民館	82	11.6	13.3
5	その他	37	5.2	6.0
	無回答	93	13.1	
	N (%ベース)	708	100.0	615.0

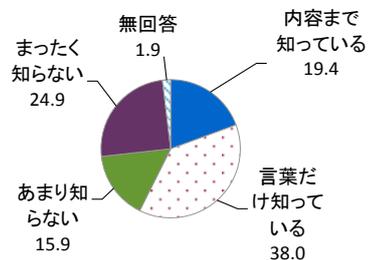
○前問で「親子で出かけやすく、楽しめる場所を増やして欲しい」と回答した保護者において、具体的な場所をうかがったところ、「公園」が69.1%と最も高く、次いで「児童館」が37.9%、「図書館」が17.2%などとなった。

### 13. 認定こども園について

#### (1) 認定こども園の認知度

(単位：%)

問33. 国では「認定こども園※の拡充」をあげていますが、「認定こども園」を知っていますか。【n=1135】



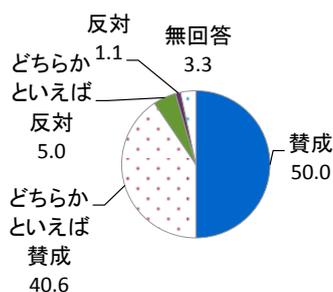
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	内容まで知っている	220	19.4	19.7
2	言葉だけ知っている	431	38.0	38.7
3	あまり知らない	180	15.9	16.2
4	まったく知らない	283	24.9	25.4
	無回答	21	1.9	
	N (%ベース)	1135	100	1114

○認定こども園の認知度は、「内容まで知っている」(19.4%)と「言葉だけ知っている」(38.0%)を合わせた『知っている』は、57.4%となり6割弱を占めた。

#### (2) 認定こども園に対する考え

(単位：%)

問34. 「認定こども園」についてどのようにお考えですか。【n=1135】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	賛成	567	50.0	51.6
2	どちらかといえば賛成	461	40.6	42.0
3	どちらかといえば反対	57	5.0	5.2
4	反対	13	1.1	1.2
	無回答	37	3.3	
	N (%ベース)	1135	100	1098

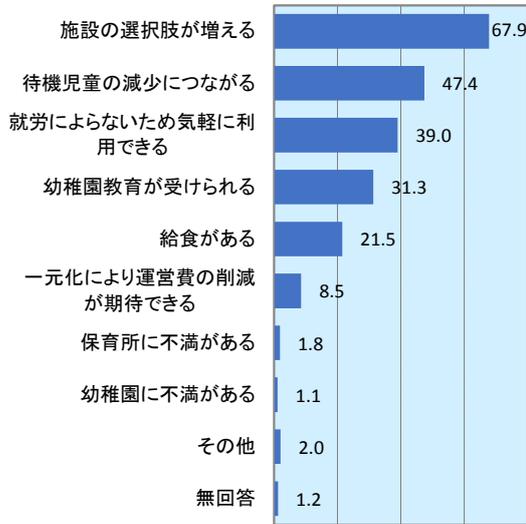
○認定こども園に対する考えをみると、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせた『賛成』は、90.6%と高い割合を占めた。

### (3) 認定こども園に対して賛成の理由

(単位：%)

問 34-1 (問 34 で「1」または「2」をお選びの方へ)

「賛成」を選んだ理由をお聞かせください。【n=1028】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	施設の選択肢が増える	698	67.9	68.7
5	待機児童の減少につながる	487	47.4	47.9
6	就労によらないため気軽に利用できる	401	39.0	39.5
2	幼稚園教育が受けられる	322	31.3	31.7
3	給食がある	221	21.5	21.8
4	一元化により運営費の削減が期待できる	87	8.5	8.6
7	保育所に不満がある	19	1.8	1.9
8	幼稚園に不満がある	11	1.1	1.1
9	その他	21	2.0	2.1
	無回答	12	1.2	
	N (%ベース)	1028	100	1016

○前問で『賛成』と回答した保護者において、理由をうかがったところ、「施設の選択肢が増える」が67.9%と最も高く、次いで「待機児童の減少につながる」が47.4%などとなった。

### (4) 認定こども園に対して反対の理由

(単位：%)

問 34-2 (問 34 で「3」または「4」をお選びの方へ)

「反対」を選んだ理由をお聞かせください。【n=70】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	幼保一元化には無理がある	36	51.4	53.7
2	保育(教育)の質の低下が懸念される	29	41.4	43.3
6	入園児に働いている人が有利にならない	14	20.0	20.9
5	定員が増えることに不安がある	13	18.6	19.4
4	金銭的負担の増加が懸念される	11	15.7	16.4
8	よくわからないので幼稚園のままが良い	10	14.3	14.9
7	よくわからないので保育園のままが良い	9	12.9	13.4
3	給食に不安がある	1	1.4	1.5
9	その他	10	14.3	14.9
	無回答	3	4.3	
	N (%ベース)	70	100	67

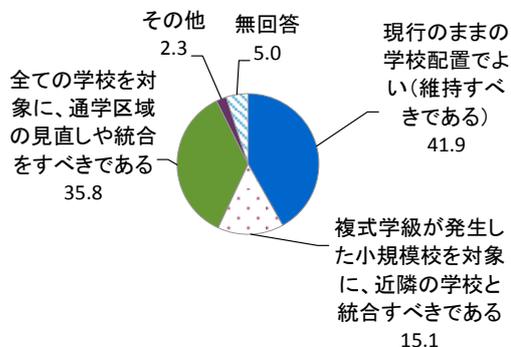
○前問で『反対』と回答した保護者において、理由をうかがったところ、「幼保一元化には無理がある」が51.4%と最も高く、次いで「保育(教育)の質の低下が懸念される」が41.4%などとなった。

## 1 4. 小学校の学級規模について

### (1) 小学校の学級規模

(単位：%)

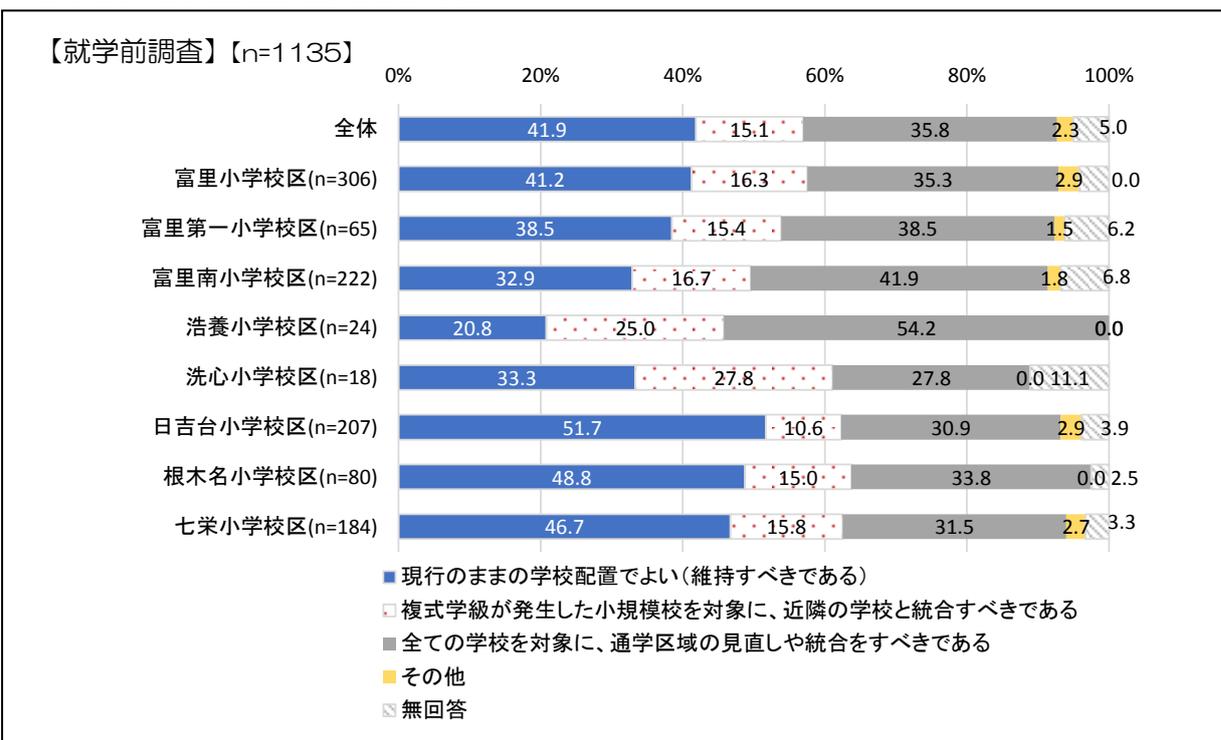
問35. 市内の小学校では、児童数が減少し、学校の小規模化（1 学年 1 学級または複式学級）が進んでいます。今後の対応で、あなたのお考えに一番近いものはどれですか。（〇は 1 つ）【n=1135】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	現行のままの学校配置でよい(維持すべきである)	475	41.9	44.1
2	複式学級が発生した小規模校を対象に、近隣の学校と統合すべきである	171	15.1	15.9
3	全ての学校を対象に、通学区域の見直しや統合をすべきである	406	35.8	37.7
4	その他	26	2.3	2.4
	無回答	57	5.0	
	N (%ベース)	1135	100	1078

○小学校の学級規模についてたずねたところ、「現行のままの学校配置でよい（維持すべきである）」が 41.9%と最も高く、次いで「全ての学校を対象に、通学区域の見直しや統合をすべきである」が 35.8%などとなった。

### 「小学校の学級規模」【小学校区別】



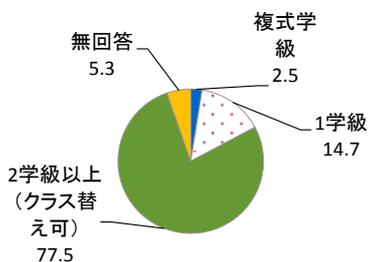
○小学校区別に学級規模に対する考えをみると、「現行のままの学校配置でよい（維持すべきである）」で半数前後を占めたのは、日吉台小学校区（51.7%）、根木名小学校区（48.8%）、七栄小学校区（46.7%）などとなった。一方、「全ての学校を対象に、通学区域の見直しや統合をすべきである」で半数を上回ったのは、浩養小学校区（54.2%）となった。小学校区別でばらつきがみられる。

(2) 望ましい小学校の学級規模

(単位：%)

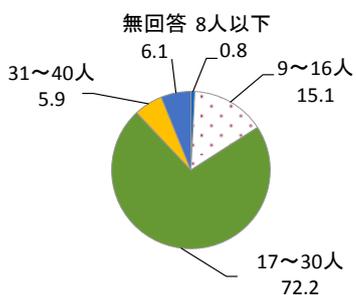
問36. お子さんが小学校に入る際、学級数・児童数はどの程度が望ましいと思いますか。それぞれ一つ選んで番号に○をつけてください。【n=1135】

①学級数



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	複式学級	28	2.5	2.6
2	1学級	167	14.7	15.5
3	2学級以上(クラス替え可)	880	77.5	81.9
	無回答	60	5.3	
	N (%ベース)	1135	100	1075

②1学級あたりの児童数



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	8人以下	9	0.8	0.8
2	9~16人	171	15.1	16.0
3	17~30人	819	72.2	76.8
4	31~40人	67	5.9	6.3
	無回答	69	6.1	
	N (%ベース)	1135	100	1066

○望ましい小学校の学級規模をたずねたところ、学級数は「2学級以上(クラス替え可)」が77.5%、1学級あたりの児童数は「17~30人」が72.2%と最も高くなった

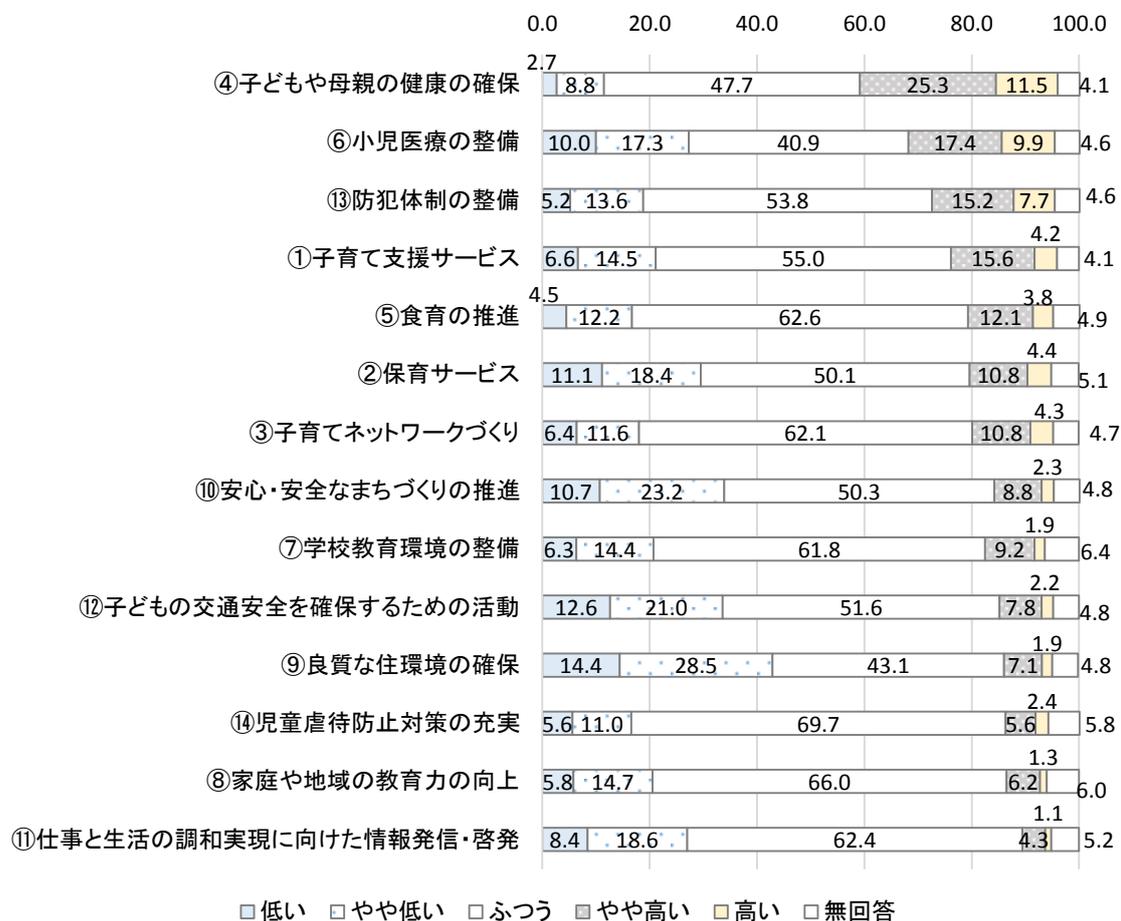
## 15. 次世代育成支援行動計画重点施策の満足度と重要度

### (1) 重点施策に対する満足度

(単位：%)

問37. 以下の項目について、日頃感じている満足度と重要度を5点満点で評価してください。(それぞれについて〇は1つ)【n=1135】

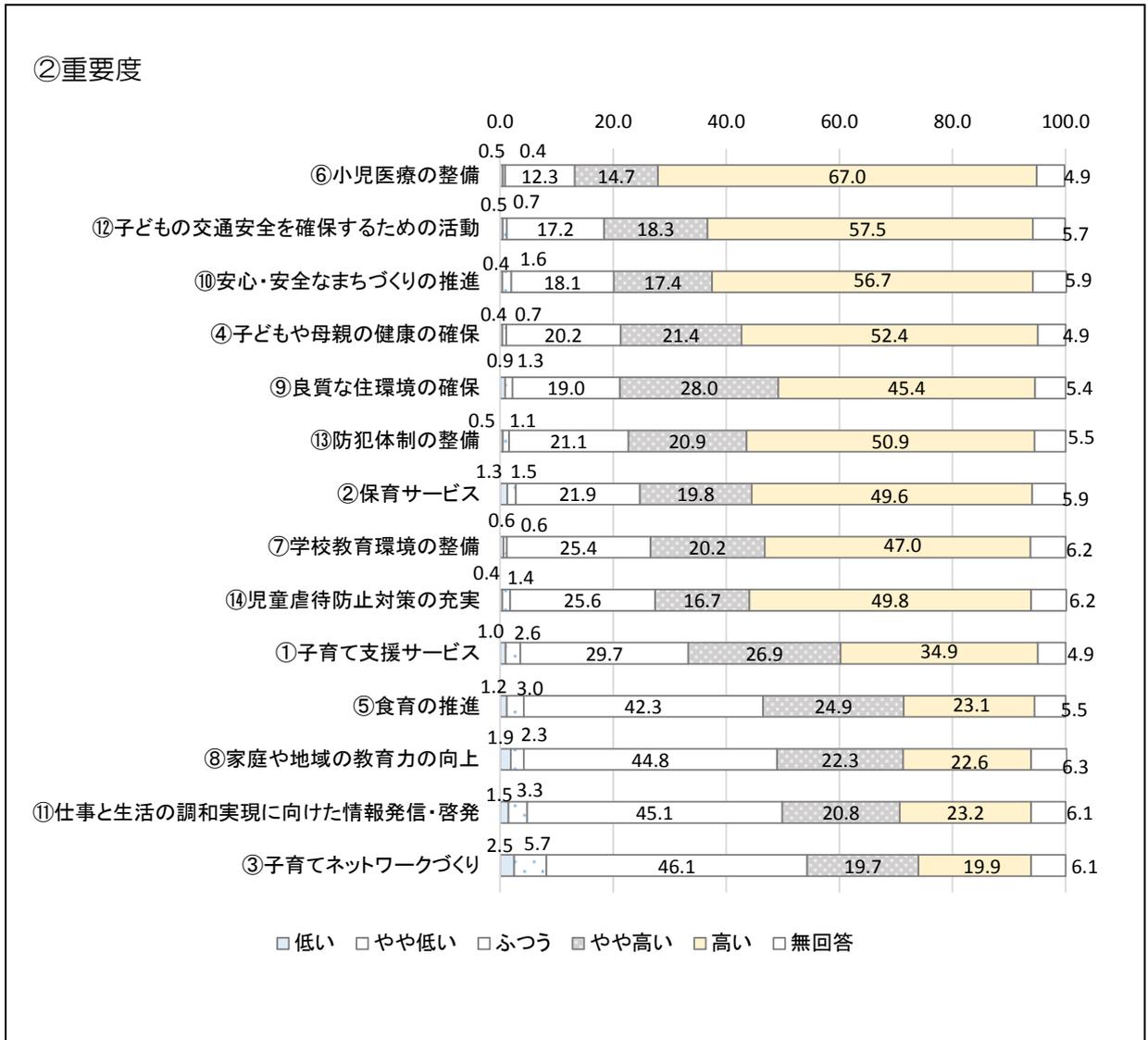
#### ①満足度



○次世代育成支援行動計画重点施策の満足度をみると、満足度が「高い」と「やや高い」を合わせた『高い』は、「子どもや母親の健康の確保」が36.8%と最も高く、次いで「小児医療の整備」が27.3%、「防犯体制の整備」が22.9%などとなった。ただし、それぞれの項目において「ふつう」が4割から7割弱を占めた。

(2) 重点施策に対する重要度

(単位：%)



○次世代育成支援行動計画重点施策の重要度をみると、重要度が「高い」と「やや高い」を合わせた『高い』は、「小児医療の整備」が 81.7%と最も高く、次いで「子どもの交通安全を確保するための活動」が 75.8%、「安心・安全なまちづくりの推進」が 74.1%などとなった。

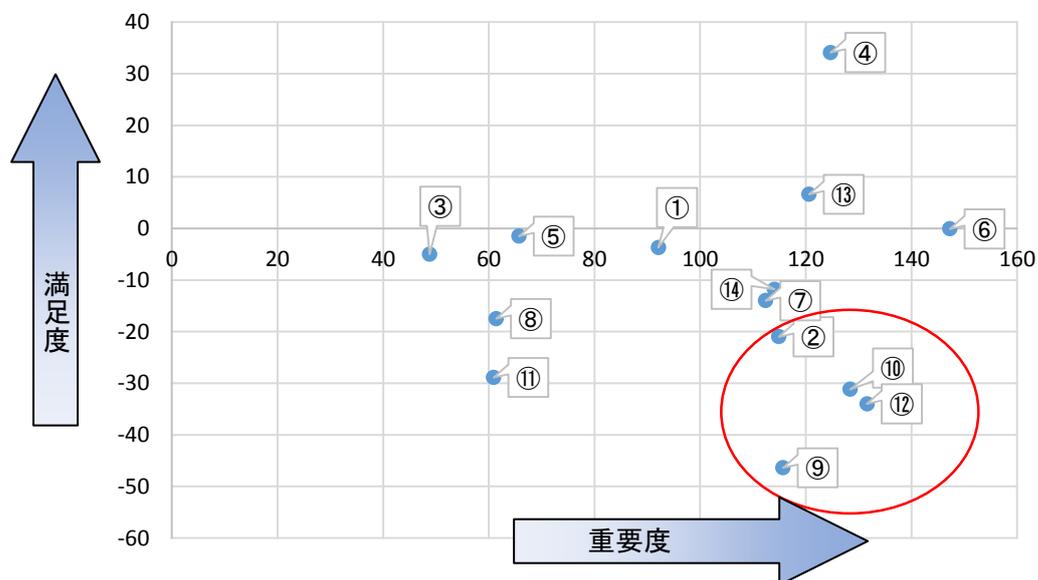
### (3) 満足度と重要度の相関

満足度と重要度について、各項目を指数化<sup>※</sup>し、満足度と重要度の評価分布をみた。

※指数化

満足度：満足度が「高い」×(2) + 「やや高い」×(1) + 「やや低い」×(-1) + 「低い」×(-2)

重要度：重要度が「高い」×(2) + 「やや高い」×(1) + 「やや低い」×(-1) + 「低い」×(-2)



○次世代育成支援行動計画重点施策の満足度と重要度の相関関係をみると、「満足度が低く、重要度が高いもの」は「⑫子どもの交通安全を確保するための活動」、「⑩安心・安全なまちづくりの推進」、「⑨良質な住環境の確保」などとなった。

### III. 調査結果の分析－2 小学生児童のニーズ調査

#### 1. 回答者のプロフィール

##### (1) 居住地区

(単位：%)

問1. お住まいはどちらになりますか。(○は1つ)【n=258】



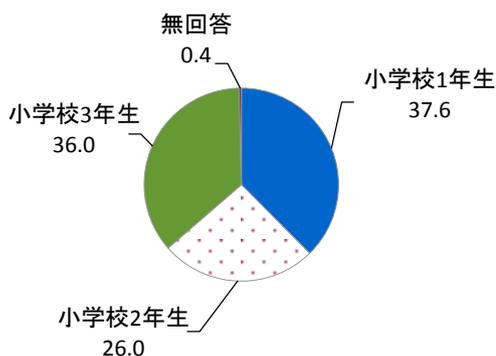
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	富里小学校区	62	24.0	24.3
2	富里第一小学校区	14	5.4	5.5
3	富里南小学校区	45	17.4	17.6
4	浩養小学校区	7	2.7	2.7
5	洗心小学校区	6	2.3	2.4
6	日吉台小学校区	60	23.3	23.5
7	根木名小学校区	26	10.1	10.2
8	七栄小学校区	35	13.6	13.7
	無回答	3	1.2	
	N (%^←ス)	258	100.0	255

○居住地区は、「富里小学校区」が 24.0%と最も高く、次いで「日吉台小学校区」が 23.3%、「富里南小学校区」が 17.4%などとなった。

##### (2) 子どもの学年

(単位：%)

問2. あて名のお子さんの学年は次のうちどちらに該当しますか。(○は1つ)【n=258】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	小学校1年生	97	37.6	37.7
2	小学校2年生	67	26.0	26.1
3	小学校3年生	93	36.0	36.2
	無回答	1	0.4	
	N (%^←ス)	258	100.0	257

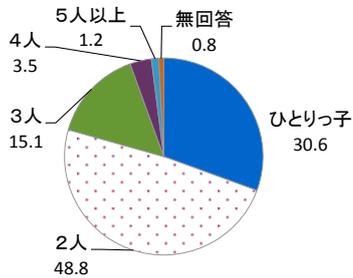
○子どもの学年は、「小学校1年生」が 37.6%と最も高く、次いで「小学校3年生」が 36.0%、「小学校2年生」が 26.0%などとなった。

### (3) 子どもの人数と末子の年齢

(単位：%)

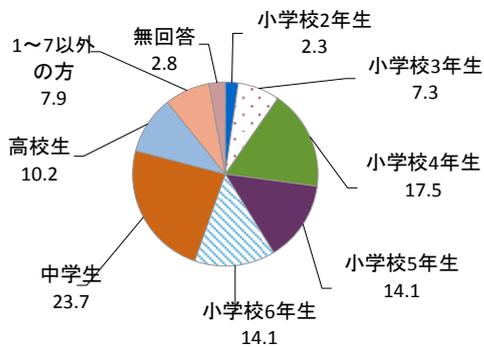
問3. あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の方の生年月日はどちらになりますか。(〇は1つ)

【子どもの人数】【n=258】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ひとりっ子	79	30.6	30.9
2	2人	126	48.8	49.2
3	3人	39	15.1	15.2
4	4人	9	3.5	3.5
5	5人以上	3	1.2	1.2
	無回答	2	0.8	
	N (%ベース)	258	100	256

【第一子の年齢】【n=177】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	小学校2年生	4	2.3	2.3
2	小学校3年生	13	7.3	7.6
3	小学校4年生	31	17.5	18.0
4	小学校5年生	25	14.1	14.5
5	小学校6年生	25	14.1	14.5
6	中学生	42	23.7	24.4
7	高校生	18	10.2	10.5
8	1~7以外の方	14	7.9	8.1
	無回答	5	2.8	
	N (%ベース)	177	100	172

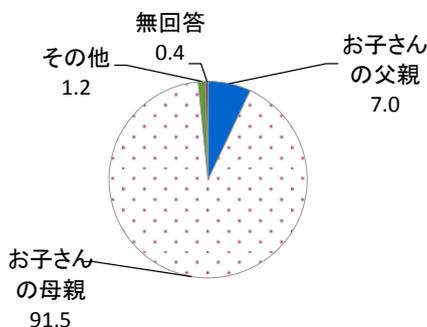
○子どもの人数は、「2人」が48.8%と最も高く、次いで「ひとりっ子」が30.6%などとなった。

○子どもが2人以上いる場合の第一子の年齢は、「中学生」が23.7%と最も高く、次いで「小学校4年生」が17.5%などとなった。

### (4) 回答者

(単位：%)

問4. この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(あて名のお子さんから見た関係でお答えください。)(〇は1つ)【n=258】



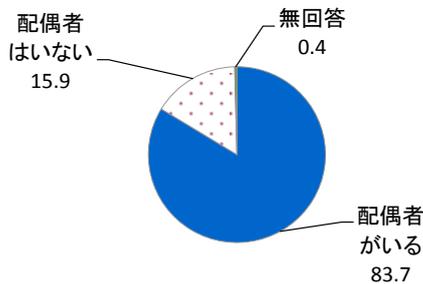
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	お子さんの父親	18	7.0	7.0
2	お子さんの母親	236	91.5	91.8
3	その他	3	1.2	1.2
	無回答	1	0.4	
	N (%ベース)	258	100	257

○回答者は、「お子さんの母親」が91.5%と9割強を占めた。

### (5) 配偶者

(単位：%)

問5. この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(〇は1つ)【n=258】



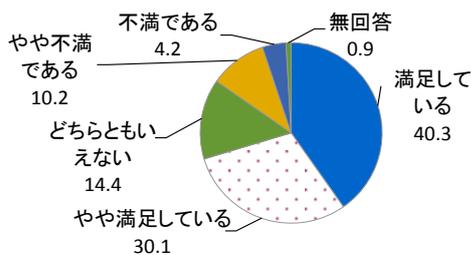
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	配偶者がいる	216	83.7	84.0
2	配偶者がいない	41	15.9	16.0
	無回答	1	0.4	
	N (%ベース)	258	100	257

○配偶関係は、「配偶者がいる」が83.7%と8割強を占めた。

### (6) 配偶者の育児参加

(単位：%)

問5-1 問5で「1.配偶者がいる」をお選びの方へ配偶者の育児参加に満足していますか。(〇は1つ)【n=216】



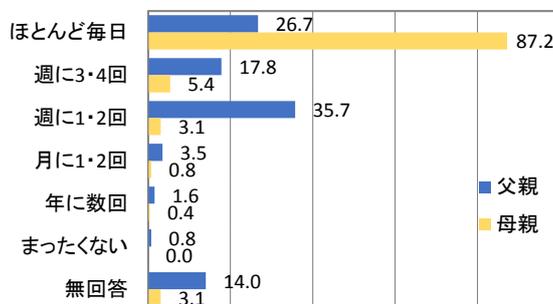
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	満足している	87	40.3	40.7
2	やや満足している	65	30.1	30.4
3	どちらともいえない	31	14.4	14.5
4	やや不満である	22	10.2	10.3
5	不満である	9	4.2	4.2
	無回答	2	0.9	
	N (%ベース)	216	100	214

○配偶者の育児参加の状況を見ると、「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足している』は70.4%と7割強を占めた。

### (7) 子どもと一緒に夕飯を食べる頻度

(単位：%)

問6. あて名のお子さんと、一緒に夕飯を食べる頻度はどのくらいですか。(〇は1つ)【n=258】



No.	カテゴリ	件数(父親)	件数(母親)
1	ほとんど毎日	69	225
2	週に3・4回	46	14
3	週に1・2回	92	8
4	月に1・2回	9	2
5	年に数回	4	1
6	まったくない	2	0
	無回答	36	8
	N (%ベース)	258	258

○子どもと一緒に夕飯を食べる頻度をみると、父親は「週に1・2回」(35.7%)、母親は「ほとんど毎日」(87.2%)が最も高くなった。

(8) 家族の同居・近居の状況

(単位：%)

問7. あて名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度で行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。（あてはまるものすべてに○）【n=258】



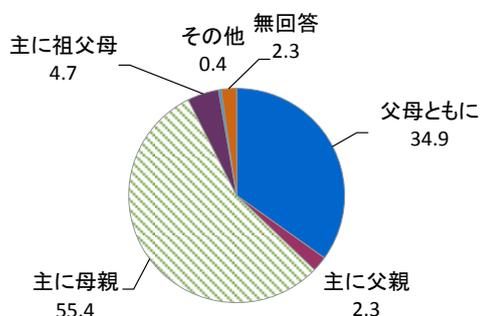
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	父母同居	202	78.3	82.4
2	父同居(ひとり親家庭)	7	2.7	2.9
3	母同居(ひとり親家族)	31	12.0	12.7
4	祖父同居	38	14.7	15.5
5	祖母同居	53	20.5	21.6
6	祖父近居	77	29.8	31.4
7	祖母近居	91	35.3	37.1
	無回答	13	5.0	
	N (%へ-入)	258	100	245

○家族の同居の状況は、「父母同居」（78.3%）が8割弱を占めた。祖父母については、「祖父同居」が14.7%、「祖母同居」が20.5%と2割前後となった。近居の状況は、「祖父近居」が29.8%、「祖母近居」が35.3%となった。

(9) 子育てを主に行っている方

(単位：%)

問8. あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方はどなたですか。（あて名のお子さんから見た関係でお答えください。）（○は1つ）【n=258】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	父母ともに	90	34.9	35.7
2	主に父親	6	2.3	2.4
3	主に母親	143	55.4	56.7
4	主に祖父母	12	4.7	4.8
5	その他	1	0.4	0.4
	無回答	6	2.3	
	N (%へ-入)	258	100	252

○子育てを主に行っている方は、「主に母親」が55.4%と最も高く、「父母ともに」は34.9%と3割強となった。

(10) 日常的に子育てに関わっている方

(単位：%)

問9. あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（どこ）ですか。（あて名のお子さんから見た関係でお答えください。）（あてはまるものすべてに○）【n=258】



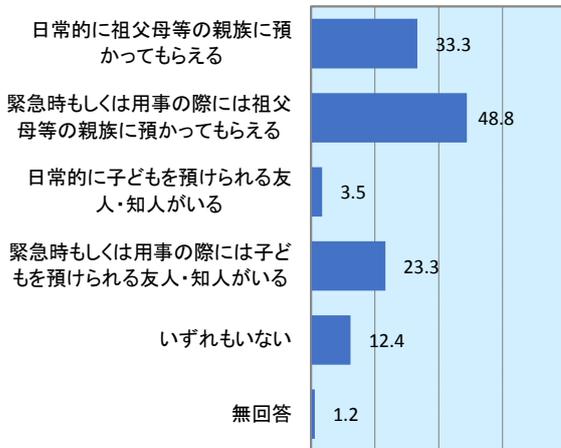
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	父母ともに	109	42.2	42.6
2	父親	12	4.7	4.7
3	母親	135	52.3	52.7
4	祖父母	58	22.5	22.7
5	小学校	85	32.9	33.2
6	その他	16	6.2	6.3
	無回答	2	0.8	
	N (%ベース)	258	100.0	256

○日常的に子育てに関わっている方は、「母親」が 52.3%と最も高く、次いで「父母ともに」が 42.2%などとなった。

(11) 日頃のサポートの状況

(単位：%)

問10. 日頃、あて名のお子さんを預かってもらえる人はいますか。（あてはまるものすべてに○）【n=258】



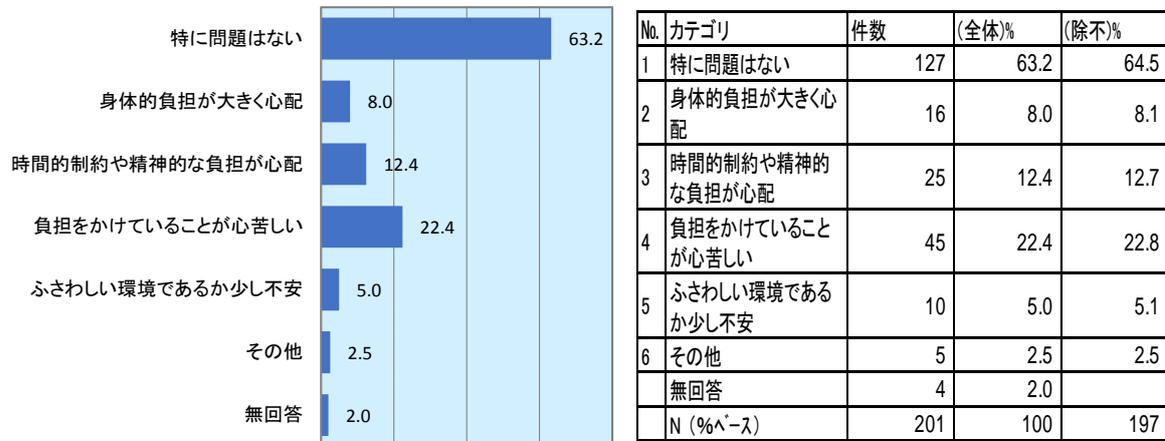
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる	86	33.3	33.7
2	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる	126	48.8	49.4
3	日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる	9	3.5	3.5
4	緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる	60	23.3	23.5
5	いずれもない	32	12.4	12.5
	無回答	3	1.2	
	N (%ベース)	258	100	255

○日頃のサポートの状況は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が 48.8%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」が 33.3%となった。日常的に「友人・知人に預かってもらえる家庭」は少数である。「いずれもない」は 12.4%と 1 割強を占めた。

## (12) 祖父母等からのサポート状況

(単位：%)

問 10-1 (問 10 で「1」または「2」をお選びの方へ) 祖父母等の親族に預かってもらっている状況についてお伺いします。(あてはまるものすべてに○)【n=201】

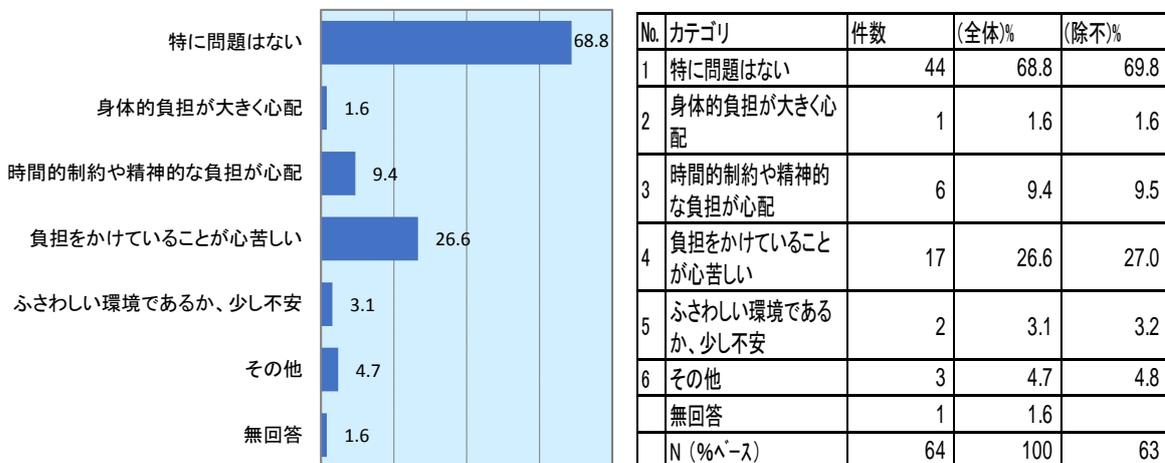


○「祖父母等に預かってもらえる」と回答した保護者において、祖父母等からのサポートの状況をたずねたところ、「特に問題はない」が 63.2%と 6 割強を占めた。次いで「負担をかけていることが心苦しい」が 22.4%となった。

## (13) 友人・知人からのサポート状況

(単位：%)

問 10-2 (問 10 で「3」または「4」をお選びの方へ) 友人や知人に預かってもらっている状況についてお伺いします。(あてはまるものすべてに○)【n=64】



○「友人・知人等に預かってもらえる」と回答した保護者において、友人・知人からのサポートの状況は、「特に問題はない」が 68.8%と 7 割弱を占めた。「保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい」は、祖父母 (22.4%) に比べて 26.6%とやや高くなっている。

(14) 子育てをするなかで悩んだり不安に感じたりすること

(単位：%)

問11. あて名のお子さんを育てている間に、どんなことで悩んだり不安に感じたり、困ったりしましたか。(〇は3つまで)【n=258】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	子どものしつけ・生活習慣	136	52.7	53.8
5	子どもの友人関係	73	28.3	28.9
3	子どもの病気・健康	72	27.9	28.5
4	子どもの成績や勉強	71	27.5	28.1
2	子どもの発育・発達	41	15.9	16.2
8	近所に遊ばせる場所がない	28	10.9	11.1
9	治安など子育て環境への影響	26	10.1	10.3
16	子育てに関するストレス	25	9.7	9.9
6	子どもを通じての近所づきあい	20	7.8	7.9
10	自分の体力や健康に自信がない	15	5.8	5.9
13	親同士の輪に入りづらい	15	5.8	5.9
15	子育てに関して自信がもてない	13	5.0	5.1
11	病気や出産時の子どもの世話	10	3.9	4.0
12	家庭内での協力が得られない	10	3.9	4.0
7	十分な住居スペースがない	7	2.7	2.8
14	子育てに関する情報が不足している	7	2.7	2.8
17	特にない	26	10.1	10.3
18	その他	6	2.3	2.4
	無回答	5	1.9	
	N (%ベース)	258	100	253

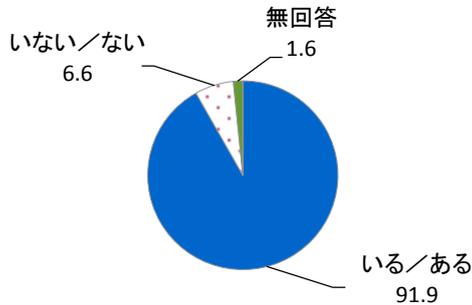
○子育てをするなかで悩んだり不安に感じたりすることは、「子どものしつけ・生活習慣」が52.7%と最も高く、次いで「子どもの友人関係」が28.3%、「子どもの病気・健康」が27.9%などとなった。

(15) 子育てをするうえでの相談者

(単位：%)

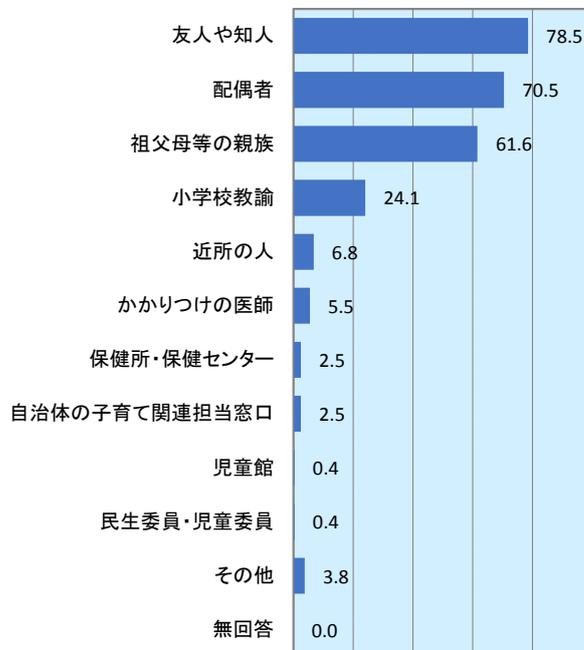
問12. あて名のお子さんの子育て(教育)をするうえで、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(〇は1つ)

【気軽に相談できる人】【n=258】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	いる/ある	237	91.9	93.3
2	いない/ない	17	6.6	6.7
	無回答	4	1.6	
	N (%へ-入)	258	100	254

【相談できる先】【n=237】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
3	友人や知人	186	78.5	78.5
1	配偶者	167	70.5	70.5
2	祖父母等の親族	146	61.6	61.6
7	小学校教諭	57	24.1	24.1
4	近所の人	16	6.8	6.8
9	かかりつけの医師	13	5.5	5.5
6	保健所・保健センター	6	2.5	2.5
10	自治体の子育て関連担当窓口	6	2.5	2.5
5	児童館	1	0.4	0.4
8	民生委員・児童委員	1	0.4	0.4
11	その他	9	3.8	3.8
	無回答	0	0.0	
	N (%へ-入)	237	100.0	237

○子育てをするうえで「気軽に相談できる人がいる/ある」と回答した保護者は、91.9%と9割強を占めた。

○「気軽に相談できる人がいる/ある」と回答した保護者に「相談できる先」をたずねたところ、「友人や知人」が78.5%と最も高く、次いで、「配偶者」が70.5%、「祖父母等の親族」が61.6%などとなった。

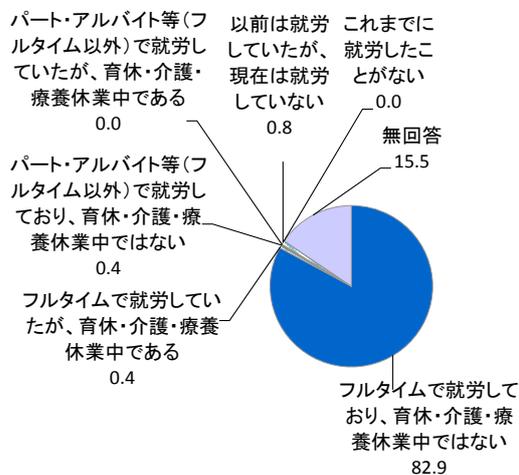
## 2. 親の就労状況

### (1) 父親の就労状況

(単位：%)

問13. あて名のお子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお伺いします。（○は1つ） ※フルタイムとは、週5日程度・1日8時間程度の就労を指します。

【n=258】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない	214	82.9	98.2
2	フルタイムで就労していたが、育休・介護休業中である	1	0.4	0.5
3	パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、育休・介護休業中ではない	1	0.4	0.5
4	パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労していたが、育休・介護休業中である	0	0.0	0.0
5	以前は就労していたが、現在は就労していない	2	0.8	0.9
6	これまでに就労したことがない	0	0.0	0.0
	無回答	40	15.5	
	N (%ベース)	258	100	218

○父親の就労状況は、「就労している（フルタイムで休業中ではない）」が82.9%と8割強を占めた。「パート、アルバイト等」、「就労していない」はわずかである。

(単位：%)

(単位：%)

#### ①フルタイム、パート・アルバイト等： 1週間あたりの就労日数【n=216】



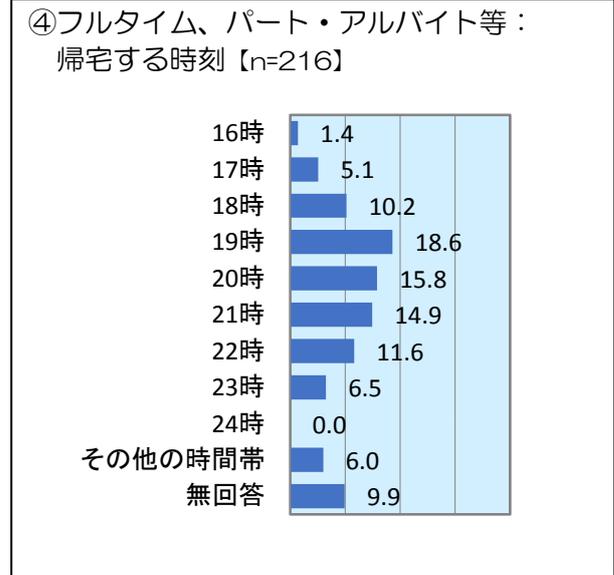
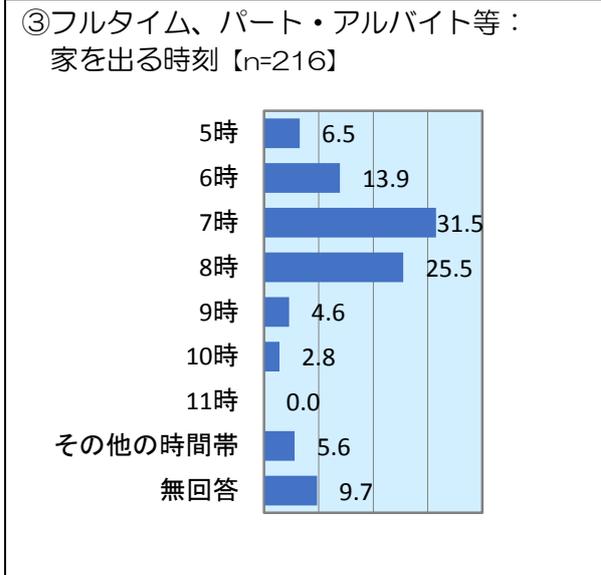
#### ②フルタイム、パート・アルバイト等： 1日あたり就労時間【n=216】



○フルタイム、パート・アルバイト等で働く父親の1週間あたりの就労日数は、「5日」が64.8%と最も高く、次いで「6日」が29.6%などとなった。1日あたりの就労時間は「10～14時間」が47.2%と最も高く、次いで「5～9時間」が46.8%などとなった。

(単位：%)

(単位：%)



○フルタイム、パート・アルバイト等で働く父親の家を出る時刻は、「7時」が31.5%と最も高く、次いで「8時」が25.5%などとなった。帰宅時間は「19時」が18.6%と最も高く、次いで「20時」が15.8%などとなった。

⑤パート・アルバイト等：フルタイムへの転換希望 【n=1】

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	フルタイムへの希望があり、実現できる見込みである	0	0.0	0.0
2	フルタイムへの希望があるが、実現できる見込みはない	0	0.0	0.0
3	パート・アルバイト等の就労を続けたい	0	0.0	0.0
4	パート・アルバイト等をやめて子育てや家事などに専念したい	0	0.0	0.0
	無回答	1	100.0	
	N (%ベース)	1	100	0

⑥就労していない、就労したことがない：就労希望 【n=2】

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	有(すぐにも、もしくは1年以内に就労したい)	1	50.0	50.0
2	有(1年より先で、子どもが[ ]歳くらいになったら就労したい)	0	0.0	0.0
3	無	1	50.0	50.0
	無回答	0	0.0	
	N (%ベース)	2	100	2

⑦就労していない、就労したことがない：希望する就労形態

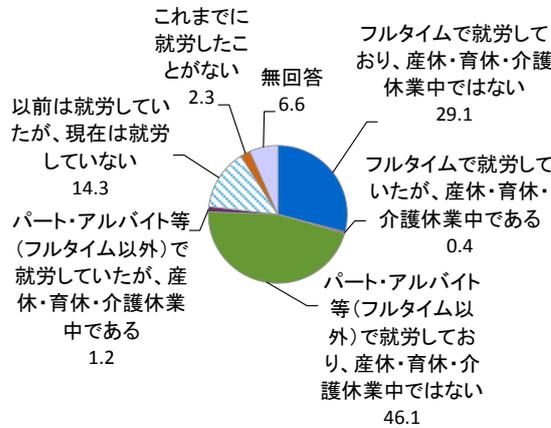
【1年以内に就労したい】【n=1】

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	フルタイム	0	0.0	0.0
2	パート・アルバイト	0	0.0	0.0
	無回答	1	100.0	
	N (%ベース)	1	100	0

(2) 母親の就労状況

(単位：%)

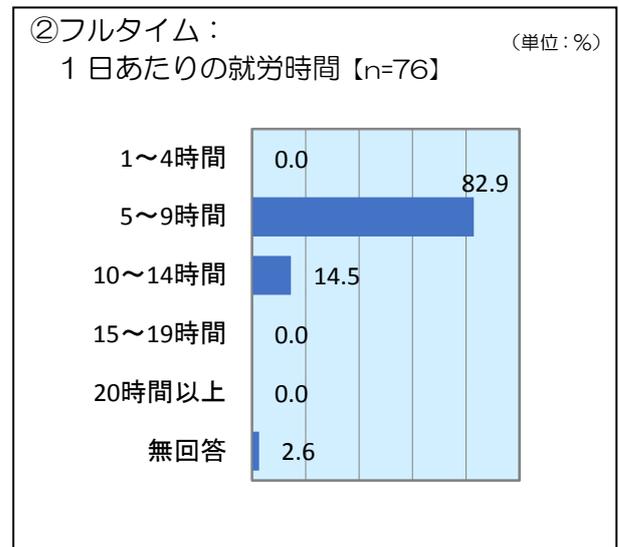
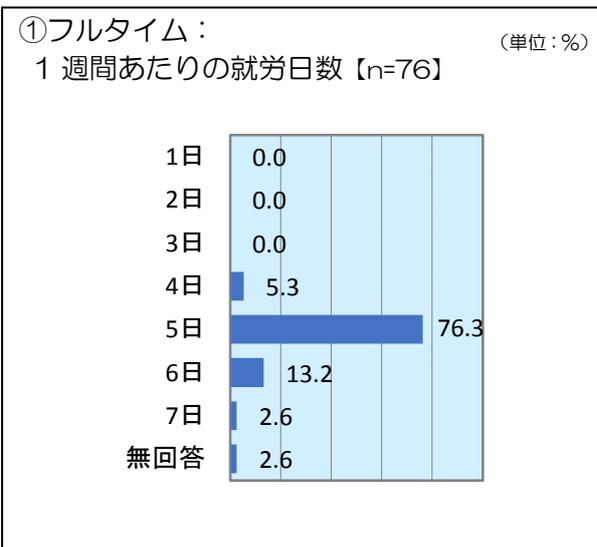
問 13. あて名のお子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお伺いします。（○は1つ）※フルタイムとは、週5日程度・1日8時間程度の就労を指します。  
【n=258】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	75	29.1	31.1
2	フルタイムで就労していたが、産休・育休・介護休業中である	1	0.4	0.4
3	パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	119	46.1	49.4
4	パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労していたが、産休・育休・介護休業中である	3	1.2	1.2
5	以前は就労していたが、現在は就労していない	37	14.3	15.4
6	これまでに就労したことがない	6	2.3	2.5
	無回答	17	6.6	
	N (%ベース)	258	100	241

○母親の就労状況は、「就労している（パート・アルバイト等）」が46.1%と最も高く、次いで「就労している（フルタイム）」が29.1%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が14.3%などとなった。

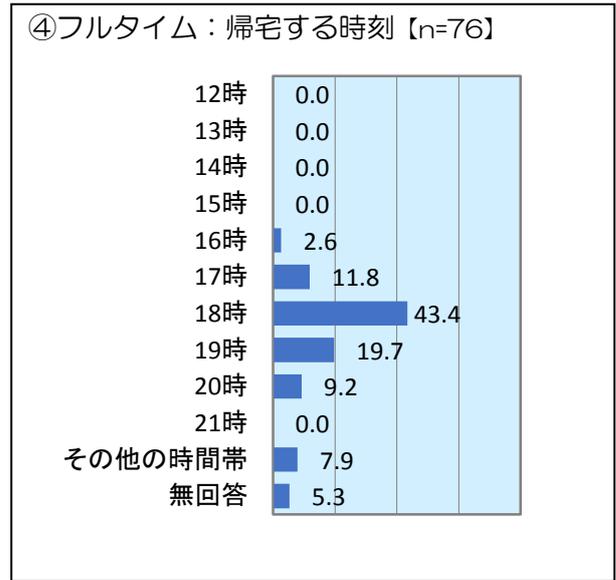
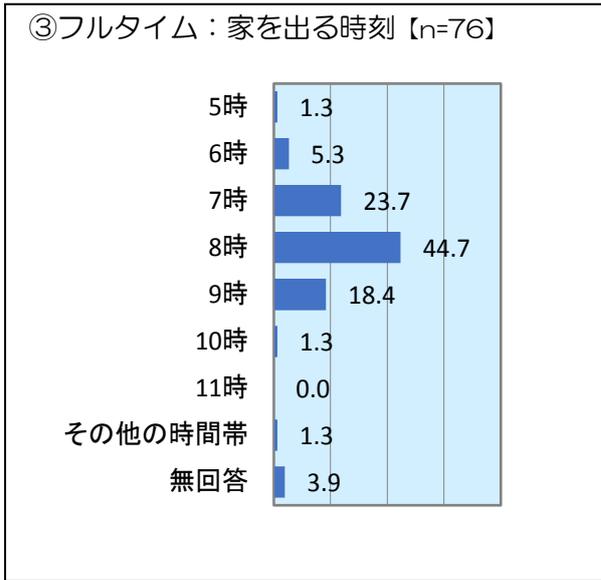
【フルタイム】



○フルタイムで働く母親の1週間あたりの就労日数は、「5日」が76.3%と最も高く、次いで「6日」が13.2%となった。1日あたりの就労時間は「5～9時間」が82.9%と最も高く、次いで「10～14時間」で14.5%となった。

(単位：%)

(単位：%)

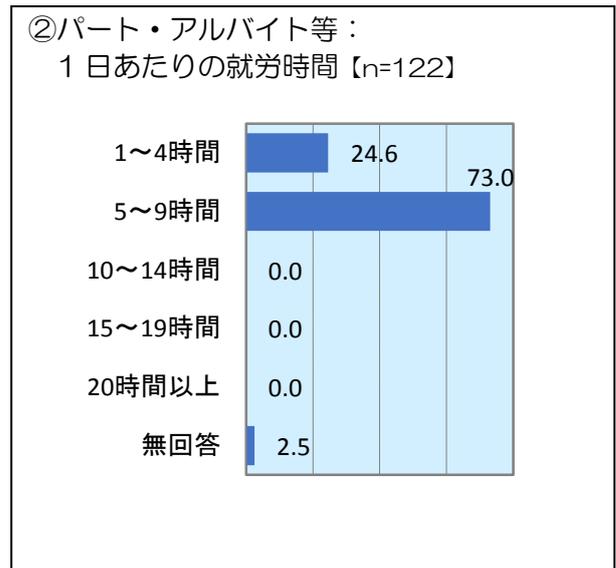
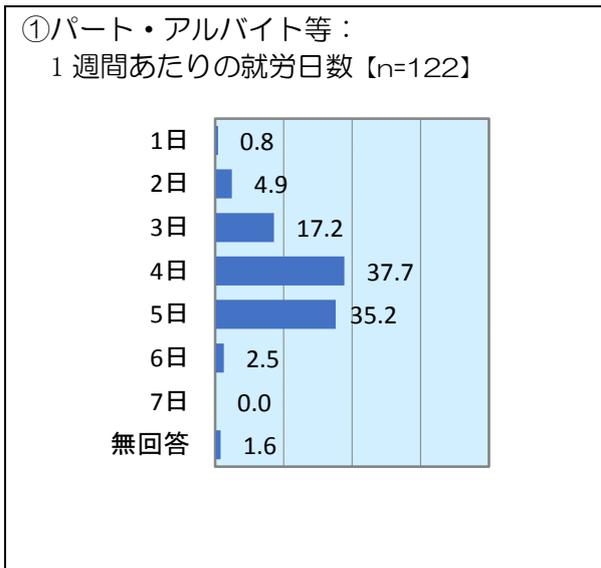


○フルタイムで働く母親の家を出る時刻は、「8時」が44.7%と最も高く、次いで「7時」が23.7%などとなった。帰宅時間は「18時」が43.4%と最も高く、次いで「19時」が19.7%などとなった。

【パート・アルバイト等】

(単位：%)

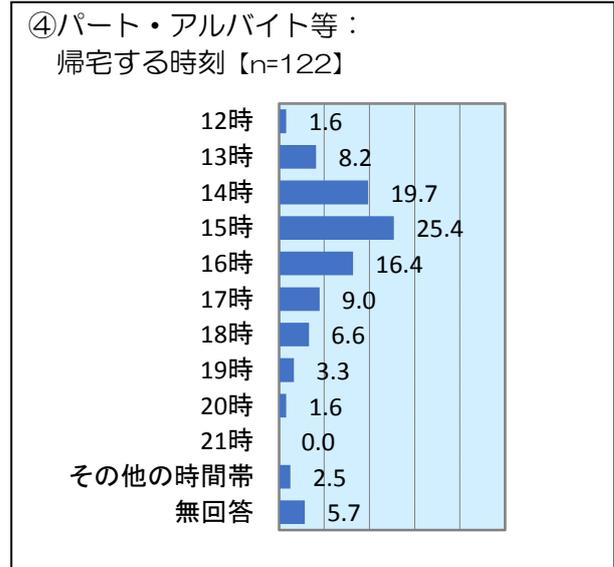
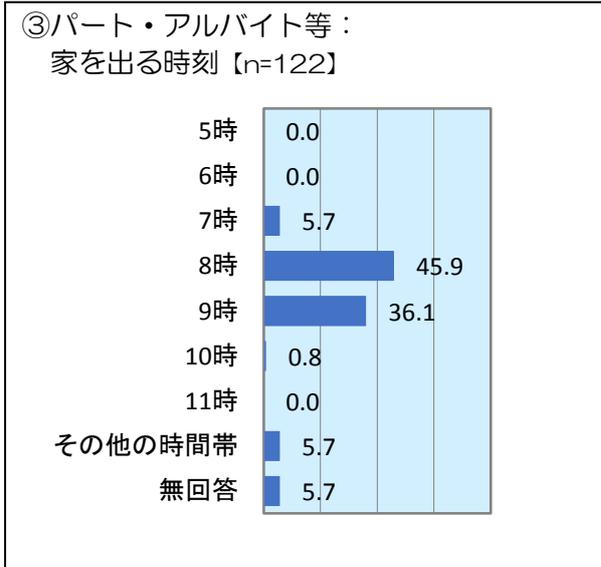
(単位：%)



○パート・アルバイト等で働く母親の1週間あたりの就労時間は、「4日」が37.7%と最も高く、次いで「5日」が35.2%などとなった。1日あたりの就労時間は「5～9時間」が73.0%と最も高く、次いで「1～4時間」が24.6%などとなった。

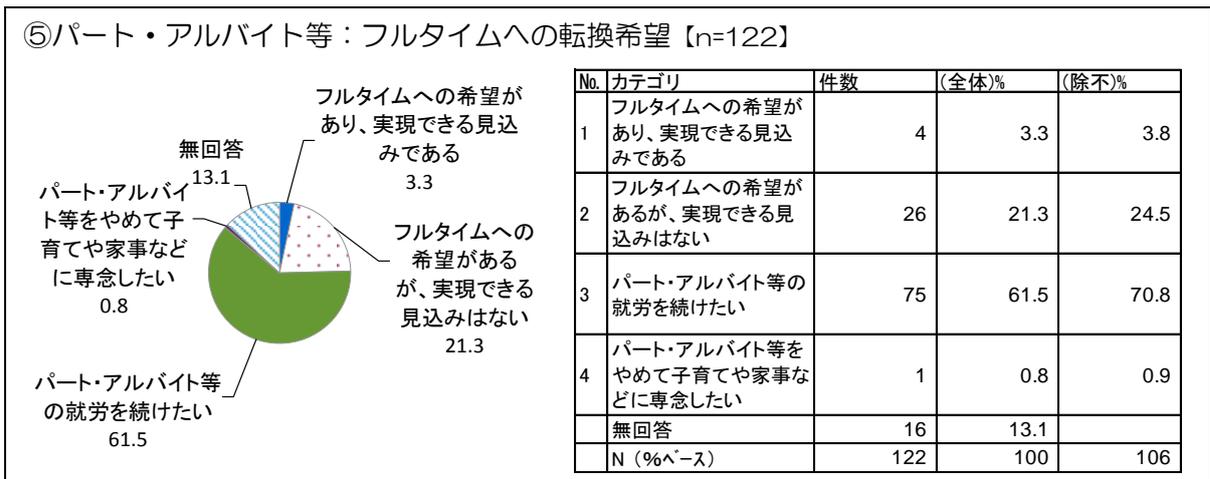
(単位：%)

(単位：%)



○パート・アルバイト等で働く母親の家を出る時刻は、「8時」が45.9%と最も高く、次いで「9時」が36.1%などとなった。帰宅する時間は「15時」が25.4%と最も高く、次いで「14時」が19.7%となり、フルタイムで働く母親に比べてばらつきがみられる。

(単位：%)

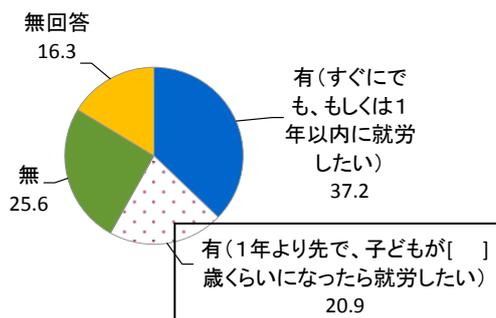


○パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望は、「希望はない（パート・アルバイト等の就労を続けたい）」が61.5%と最も高く、次いで「希望があるが、実現できる見込みはない」が21.3%となった。「希望があり、実現できる見込みである」は3.3%にとどまった。

## 【就労していない・就労したことがない】

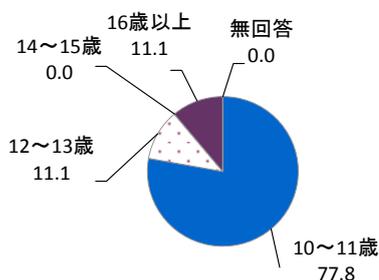
(単位：%)

### ①就労していない・就労したことがない：就労希望【n=43】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	有(すぐにも、もしくは1年以内に就労したい)	16	37.2	44.4
2	有(1年より先で、子どもが[ ]歳くらいになったら就労したい)	9	20.9	25.0
3	無	11	25.6	30.6
	無回答	7	16.3	
	N (%ベース)	43	100	36

### (子どもの年齢)【n=9】

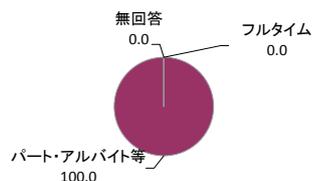


No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	10~11歳	7	77.8	77.8
2	12~13歳	1	11.1	11.1
3	14~15歳	0	0.0	0.0
4	16歳以上	1	11.1	11.1
	無回答	0	0.0	
	N (%ベース)	9	100.0	9.0

○現在就労していない母親において、今後の就労希望をうかがったところ、「有(すぐもしくは1年以内)」が37.2%と最も高く、次いで「有(1年より先で、子どもが大きくなってから)」が20.9%となった。就労希望のある母親が58.1%と6割弱を占めている。

○「有(1年より先で、子どもが大きくなってから)」と回答した母親の就労時期は、子どもが「10~11歳」が77.8%と最も高くなった。就学前児童調査では「4~5歳」(31.0%)が最も高くなったが、小学生児童では中学校入学頃で検討していることがうかがえる。

## ②就労していない・就労したことがない：希望する就労形態（1年以内に就労したい）【n=16】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	フルタイム	0	0.0	0.0
2	パート・アルバイト等	16	100.0	100.0
	無回答	0	0.0	
	N (%ベース)	16	100	16

## 【パート・アルバイト（希望）】

## (1週あたりの就労日数)



## (1日あたりの就労時間)

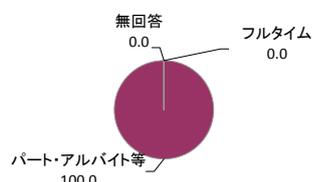


○就労希望（1年以内）のある母親において、希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」が100.0%となった。

○パート・アルバイト等による就労希望のある母親において、希望する1週あたりの就労日数は、「3日」が50.0%と最も高く、次いで「4日」が31.3%となった。希望する1日あたりの就労時間は、「5時間」が37.5%と最も高くなった。

(単位：%)

## ⑥就労していない・就労したことがない：希望する就労形態（1年より先）【n=9】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	フルタイム	0	0.0	0.0
2	パート・アルバイト等	9	100.0	100.0
	無回答	0	0.0	
	N (%ベース)	9	100	9

## 【パート・アルバイト（希望）】

## (1週あたりの就労日数)



## (1日あたりの就労時間)



○就労希望（1年より先）のある母親において、希望する就労形態は、「パート・アルバイト等」が100.0%となった。

○パート・アルバイト等による就労希望のある母親において、希望する1週あたりの就労日数は、「3日」と「4日」が44.4%と最も高くなった。希望する1日あたりの就労時間は、「5時間」が55.6%と最も高くなった。

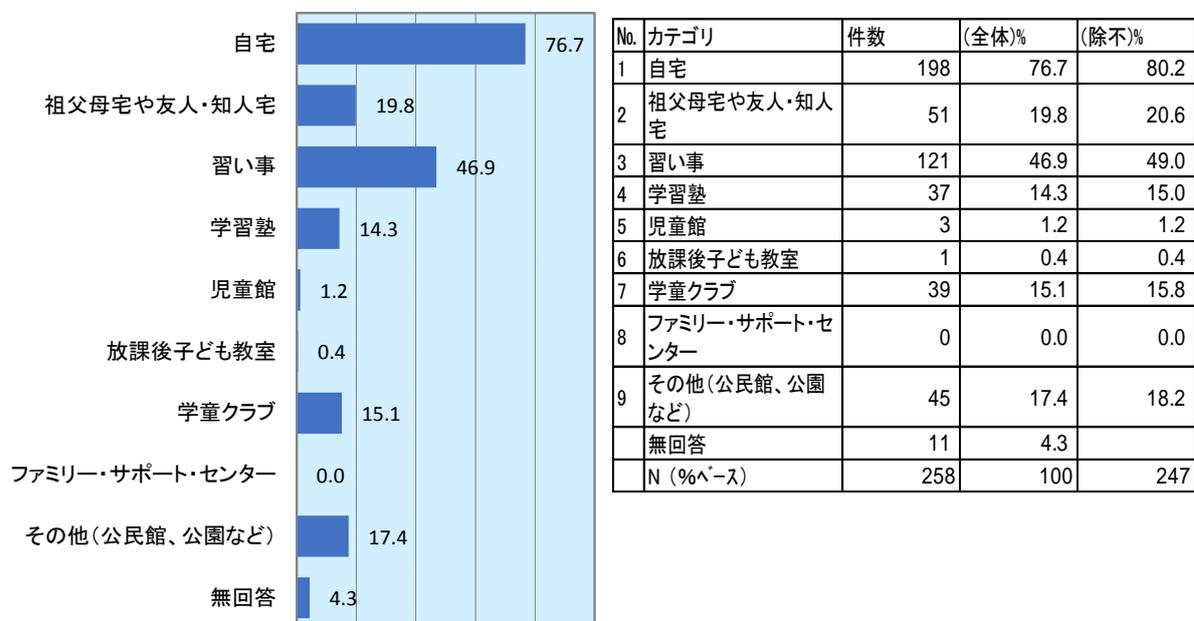
### 3. 放課後の過ごし方

#### (1) 放課後に過ごしている場所

(単位：%)

問14. あて名のお子さんは、放課後はどのように過していますか。(あてはまる番号すべてに○をつけ、[ ]内に数字でご記入ください。)【n=258】

##### ① 過ごしている場所



○「放課後に過ごしている場所」をうかがったところ、「自宅」が 76.7%と最も高く、次いで「習い事」が 46.9%、「祖父母宅や友人・知人宅」が 19.8%などとなった。「学童クラブ」は 15.1%と 2 割弱にとどまった。

○学童クラブをみると、1 週間あたりの利用日数は「5 日以上」(51.3%)、「下校時から 18 時まで」(35.9%) が最も高くなった。

②過ごしている場所別（週に何日程度）

（単位：％）

①自宅



②祖父母宅や友人・知人宅



③習い事



④学習塾



⑤児童館



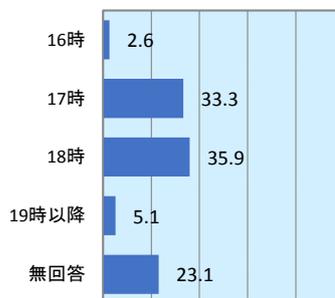
⑥放課後子ども教室



⑦学童クラブ



学童クラブ（何時から何時まで）



⑧その他（公民館、公園など）

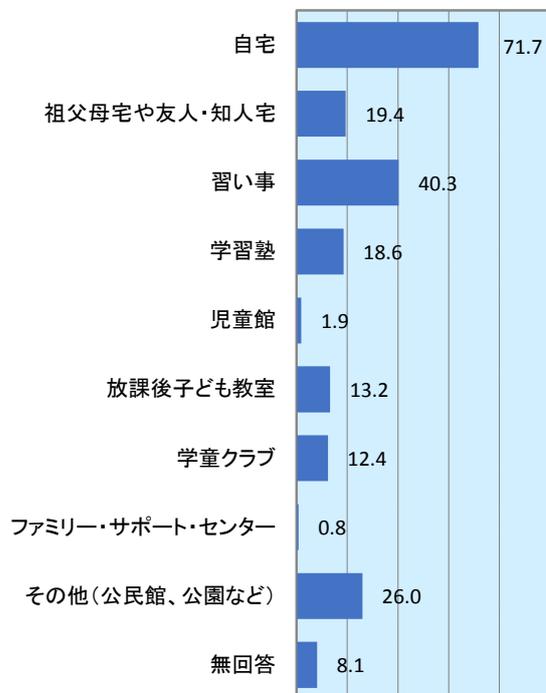


(2) 放課後に過ごさせたい場所（低学年）

（単位：％）

問15. あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○をつけ、[ ]内に数字でご記入ください。）【n=258】

① 過ごさせたい場所（低学年）



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	自宅	185	71.7	78.1
2	祖父母宅や友人・知人宅	50	19.4	21.1
3	習い事	104	40.3	43.9
4	学習塾	48	18.6	20.3
5	児童館	5	1.9	2.1
6	放課後子ども教室	34	13.2	14.3
7	学童クラブ	32	12.4	13.5
8	ファミリー・サポート・センター	2	0.8	0.8
9	その他(公民館、公園)	67	26.0	28.3
	無回答	21	8.1	
	N (%ベース)	258	100	237

○「放課後に過ごさせたい場所（低学年）」をうかがったところ、「自宅」が71.7%と最も高く、次いで「習い事」が40.3%、「祖父母宅や友人・知人宅」が19.4%などとなった。「学童クラブ」は12.4%と1割強にとどまった。

○学童クラブの利用希望をみると、1週間あたりの利用日数は「5日以上」(28.1%)、「下校時から18時まで」(31.3%)が最も高くなった。

## ②過ごさせたい場所別（週に何日程度）

### ①自宅



### ②祖父母宅や友人・知人宅



### ③習い事・学習塾



### ④学習塾



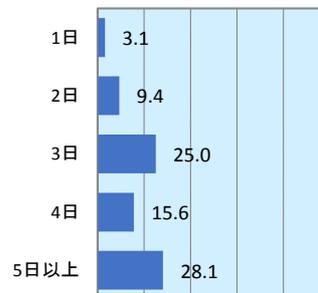
### ⑤児童館



### ⑥放課後子ども教室



### ⑦学童クラブ



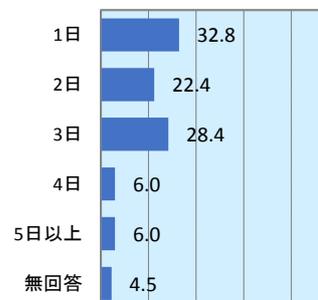
### 学童クラブ（何時から何時まで）



### ⑧ファミリー・ホール・センター



### ⑨その他（公民館、公園など）

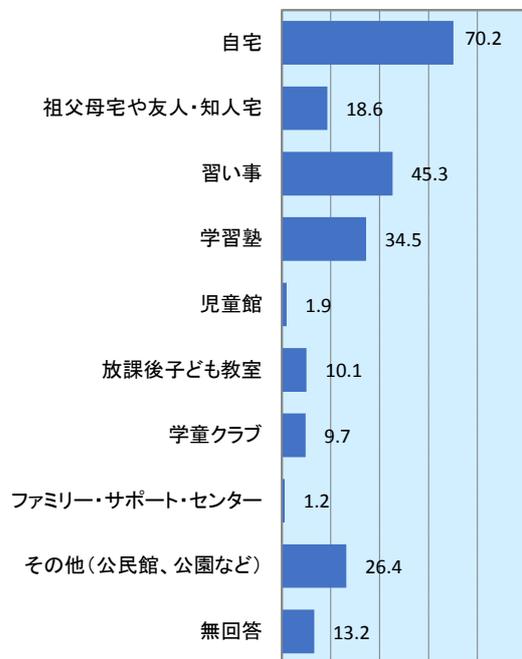


(3) 放課後に過ごさせたい場所（高学年）

（単位：％）

問16. あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○をつけ、[ ]内に数字でご記入ください。）【n=258】

① 過ごさせたい場所（高学年）



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	自宅	181	70.2	80.8
2	祖父母宅や友人・知人宅	48	18.6	21.4
3	習い事	117	45.3	52.2
4	学習塾	89	34.5	39.7
5	児童館	5	1.9	2.2
6	放課後子ども教室	26	10.1	11.6
7	学童クラブ	25	9.7	11.2
8	ファミリー・サポート・センター	3	1.2	1.3
9	その他(公民館、公園など)	68	26.4	30.4
	無回答	34	13.2	
	N (%ベース)	258	100	224

○「放課後に過ごさせたい場所（高学年）」をうかがったところ、「自宅」が70.2%と最も高く、次いで「習い事」が45.3%、「学習塾」が34.5%などとなった。「学童クラブ」は9.7%と1割弱にとどまった。

○学童クラブの利用希望をみると、1週間あたりの利用日数は「2日」(36.0%)、「下校時から18時まで」(28.0%)が最も高くなった。

## ②過ごさせたい場所別（週に何日程度）

### ①自宅



### ②祖父母宅や友人・知人宅



### ③習い事・学習塾



### ④学習塾



### ⑤児童館



### ⑥放課後子ども教室



### ⑦学童クラブ

### 学童クラブ（何時から何時まで）



### ⑧ファミリー・ホール・センター



### ⑨その他（公民館、公園など）

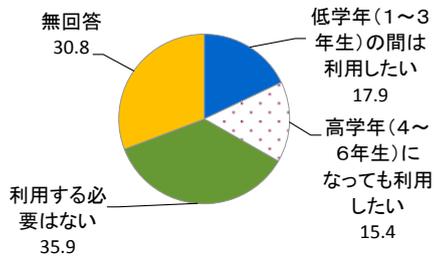


(4) 学童クラブ 土曜日の利用希望

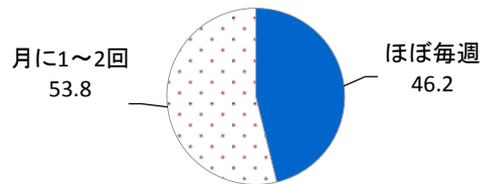
(単位：%)

問17. (問 15 または問 16 で「6. 学童クラブ」をお選びの方へ) あて名のお子さんについて、土曜日、日曜・祝日に、学童クラブ(学童保育所)の利用希望はありますか。(〇は1つ)  
 なお、事業の利用には、一定の利用料が発生します。

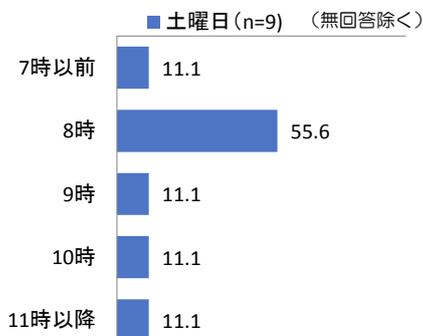
①利用意向【n=39】



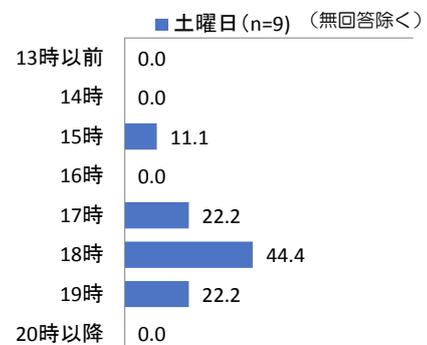
②利用頻度【n=13】



③利用希望[開始時間]



④利用希望[終了時間]

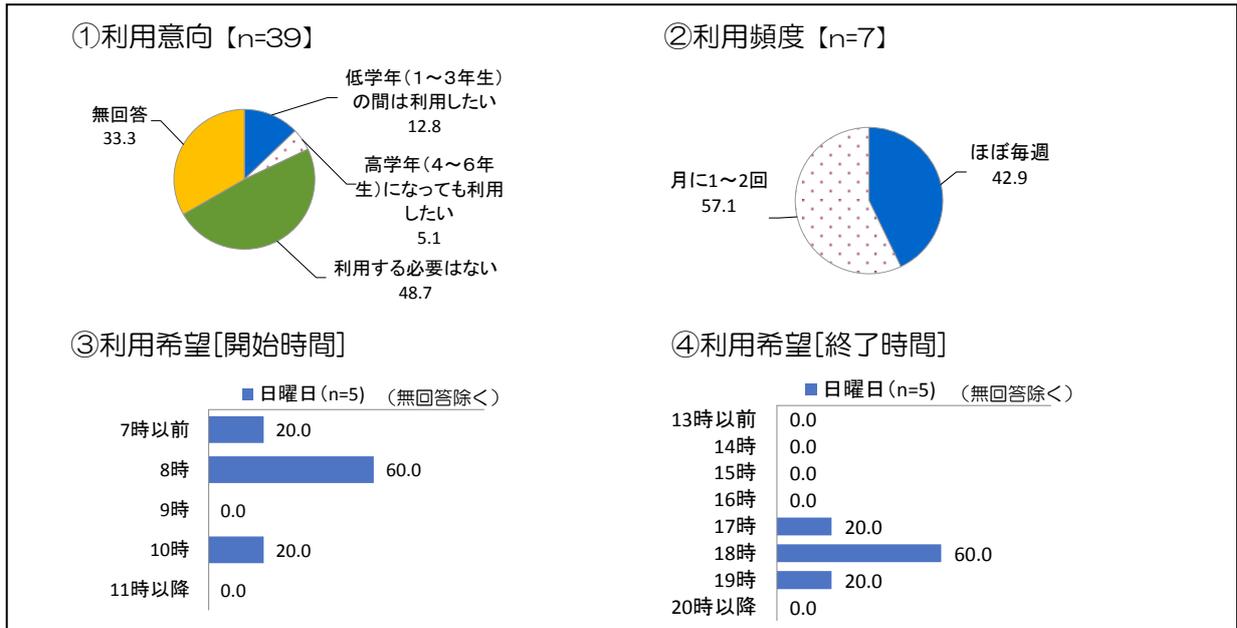


○放課後過ごさせたい場所で「学童クラブ」を選択した保護者において、土曜日の利用希望をみると、「利用する必要はない」が 35.9%と最も高くなった。利用したい年齢は「低学年」が 17.9%、「高学年」が 15.4%となった。

○利用頻度は「月に1~2回」、利用希望[開始時間]は8時、利用希望[終了時間]は18時で最も高くなっている。

### (5) 学童クラブ 日曜・祝日の利用希望

(単位：%)

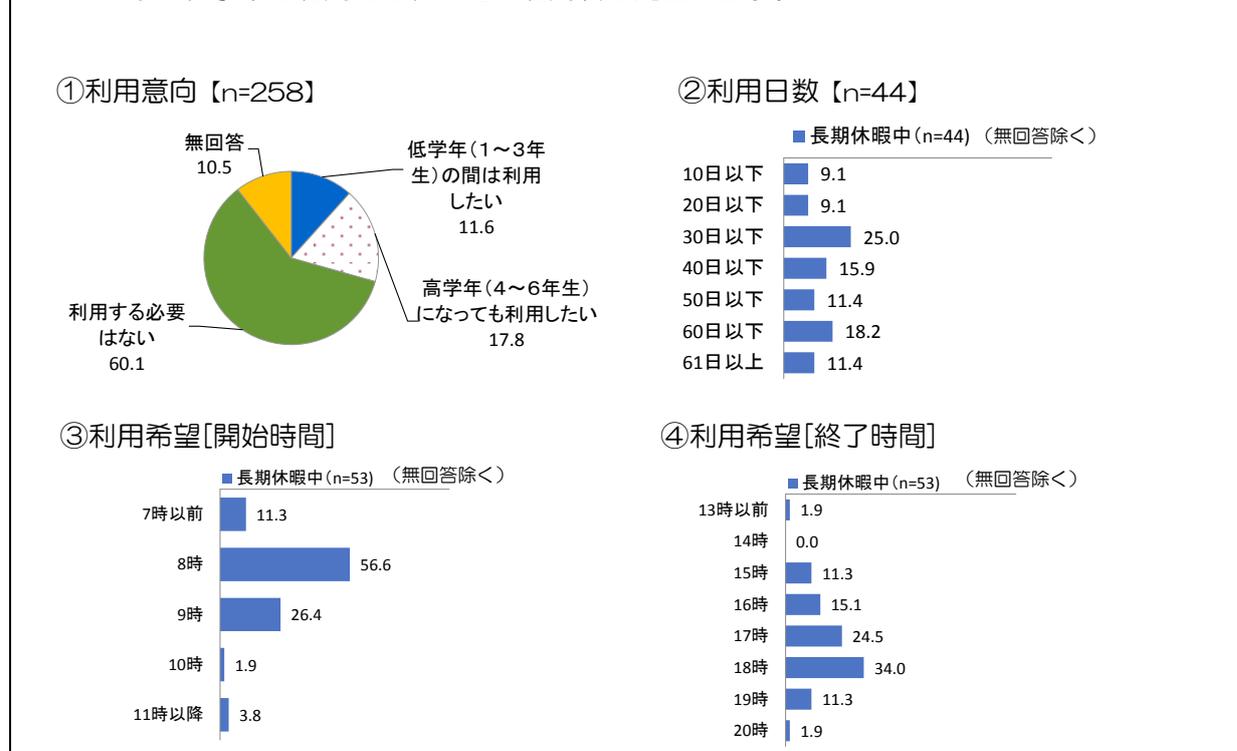


○放課後過ごさせたい場所で「学童クラブ」を選択した保護者において、日曜・祝日の利用希望をみると、「利用する必要はない」が48.7%と土曜日(35.9%)よりも高くなった。利用したい年齢は「低学年」が12.8%、「高学年」が5.1%と1割前後となった。

### (6) 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中

(単位：%)

問18. あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、学童クラブの利用希望はありますか。(○は1つ)  
なお、事業の利用には、一定の利用料が発生します。



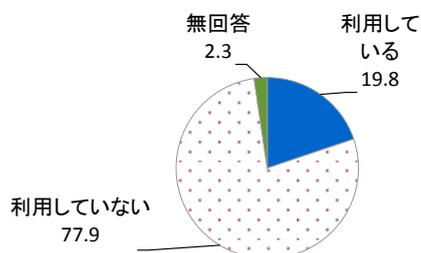
○放課後過ごさせたい場所で「学童クラブ」を選択した保護者において、長期休暇期間中の利用希望をみると、「利用する必要はない」が60.1%と最も高くなった。利用したい年齢は「低学年」が11.6%、「高学年」が17.8%となった。

## 4. 学童クラブの利用状況

### (1) 利用状況

(単位：%)

問19. あて名のお子さんは、定期的に「学童クラブ」を利用されていますか。(○は1つ)  
【n=258】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	利用している	51	19.8	20.2
2	利用していない	201	77.9	79.8
	無回答	6	2.3	
	N (%ベース)	258	100	252

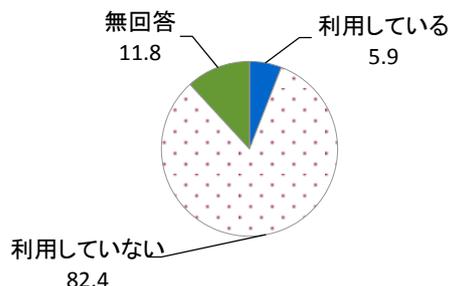
○学童クラブの利用状況を見ると、「利用している」は19.8%、「利用していない」は77.9%となった。

### (2) 学童クラブ 土曜日の利用状況

(単位：%)

問 19-1 (問 19 で「1」をお選びの方へ) 土曜日、長期休暇期間中の利用状況についてお伺いします。(それぞれについて○をつけ、利用時間を[ ]内に数字でご記入ください。)

#### ①土曜日の利用状況【n=51】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	利用している	3	5.9	6.7
2	利用していない	42	82.4	93.3
	無回答	6	11.8	
	N (%ベース)	51	100	45

#### ②利用している時間帯[開始時間]



#### ③利用している時間帯[終了時間]

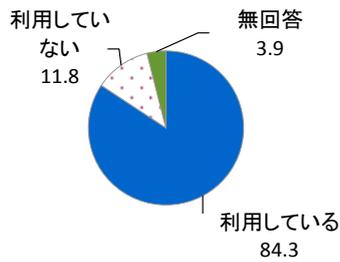


○学童クラブを「利用している」と回答した保護者において、土曜日の利用状況を見ると、「利用している」が5.9%となった。

### (3) 学童クラブ 長期休暇期間中の利用状況

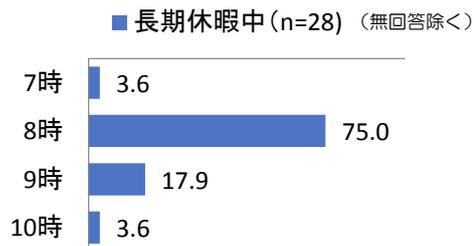
(単位：%)

#### ①長期休暇中の利用状況【n=51】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	利用している	43	84.3	87.8
2	利用していない	6	11.8	12.2
	無回答	2	3.9	
	N (%ベース)	51	100	49

#### ②利用している時間帯[開始時間]



#### ③利用している時間帯[終了時間]

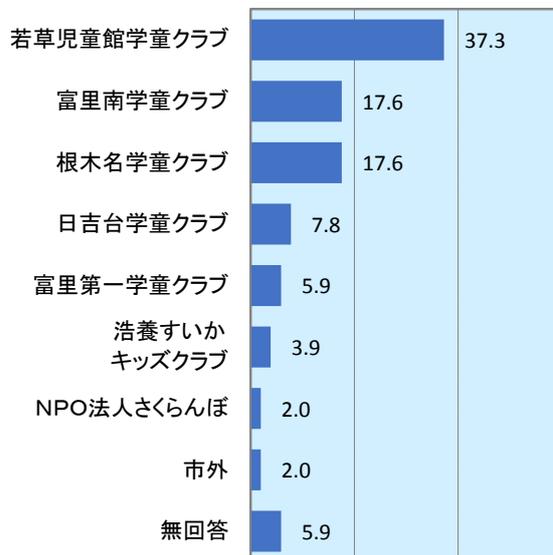


○学童クラブを「利用している」と回答した保護者において、長期休暇期間中の利用状況をみると、「利用している」が84.3%と8割強を占めた。

### (4) 学童クラブ 利用している場所

(単位：%)

問 19-2 (問 19 で「1. 利用している」をお選びの方へ)「学童クラブ(学童保育所)」はどちらで利用されていますか。(〇は1つ)【n=51】



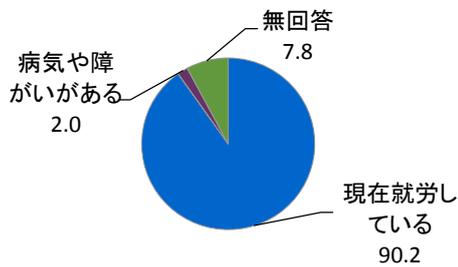
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
6	若草児童館学童クラブ	19	37.3	39.6
2	富里南学童クラブ	9	17.6	18.8
3	根木名学童クラブ	9	17.6	18.8
1	日吉台学童クラブ	4	7.8	8.3
4	富里第一学童クラブ	3	5.9	6.3
5	浩養すいかキッズクラブ	2	3.9	4.2
7	NPO法人さくらんぼ	1	2.0	2.1
8	市外	1	2.0	2.1
	無回答	3	5.9	
	N (%ベース)	51	100.0	48

○学童クラブを「利用している」と回答した保護者において、利用している場所をみると、「若草児童館学童クラブ」が37.3%と最も高く、次いで「富里南学童クラブ」と「根木名学童クラブ」が17.6%と同割合となった。

(5) 学童クラブ 利用している理由

(単位：%)

問 19-3 (問 19 で「1. 利用している」をお選びの方へ)「学童クラブ (学童保育所)」を利用されている理由についてお伺いします。(〇は 1 つ)【n=51】



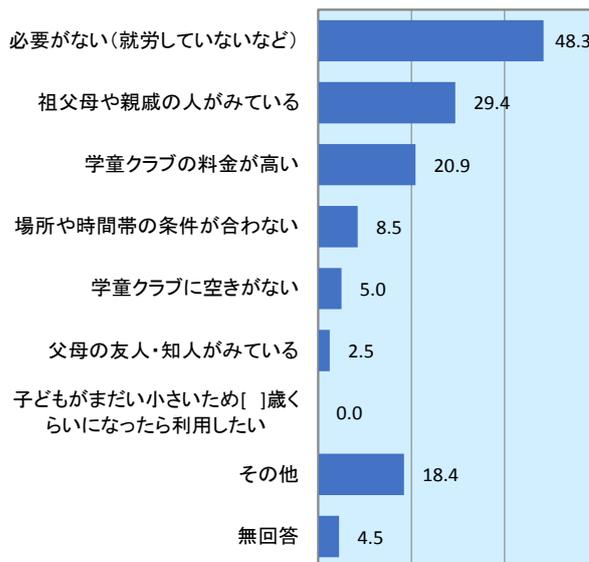
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	現在就労している	46	90.2	97.9
2	就労予定がある・求職中である	0	0.0	0.0
3	家族・親族等を介護している	0	0.0	0.0
4	病気や障がいがある	1	2.0	2.1
5	その他	0	0.0	0.0
	無回答	4	7.8	
	N (%ベース)	51	100.0	47

○学童クラブを「利用している」と回答した保護者において、利用している理由をみると、「現在就労している」が 90.2%と高い割合を占めた。

(6) 学童クラブ 利用していない理由

(単位：%)

問 19-4 (問 19 で「2. 利用していない」をお選びの方へ)「学童クラブ (学童保育所)」を利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)【n=201】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	必要がない(就労していないなど)	97	48.3	50.5
2	祖父母や親戚の人がみている	59	29.4	30.7
5	学童クラブの料金が高い	42	20.9	21.9
6	場所や時間帯の条件が合わない	17	8.5	8.9
4	学童クラブに空きがない	10	5.0	5.2
3	父母の友人・知人がみている	5	2.5	2.6
7	子どもがまだ小さいため[ ]歳くらいになったら利用したい	0	0.0	0.0
8	その他	37	18.4	19.3
	無回答	9	4.5	
	N (%ベース)	201	100	192

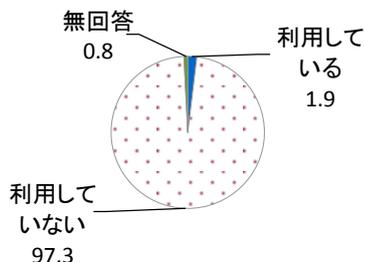
○学童クラブを「利用していない」と回答した保護者において、利用していない理由をみると、「必要がない」が 48.3%と最も高く、次いで「祖父母や親戚の人がみている」が 29.4%などとなった。

## 5. 地域子育て支援事業

### (1) 利用状況

問20. あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。（利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を[ ]内に数字でご記入ください。）

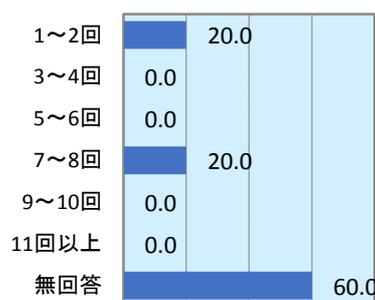
#### ①利用状況【n=258】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	利用している(地域の子育て支援事業)	5	1.9	2.0
2	利用していない	251	97.3	98.0
	無回答	2	0.8	
	N (%ベース)	258	100.0	256

#### ②地域の子育て支援事業

【1ヶ月あたりの利用回数】【n=5】



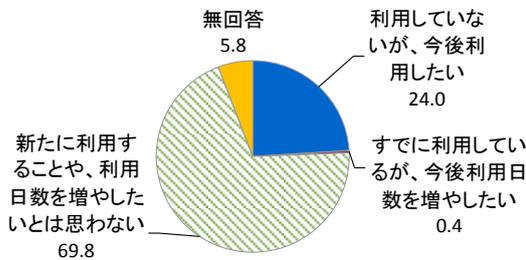
○地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「利用している」が1.9%、「利用していない」が97.3%となった。「利用している」と回答した保護者において、1ヶ月あたりの利用日数は、「1~2回」と「7~8回」が20.0%と同割合となった。

(2) 利用希望

(単位：%)

問21. 問20のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。(あてはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を[ ]内に数字でご記入ください。)

①利用意向【n=258】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	利用していないが、今後利用したい	62	24.0	25.5
2	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	1	0.4	0.4
3	新たに利用することや、利用日数を増やしたいとは思わない	180	69.8	74.1
	無回答	15	5.8	
	N (%ベース)	258	100	243

②利用していないが、今後利用したい  
【1ヶ月あたり何回程度】【n=62】



③利用日数を増やしたい  
【1ヶ月あたり何回程度】【n=1】



○地域子育て支援拠点事業について、今後の利用希望は、「利用していないが、今後利用したい」(24.0%)と「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」(0.4%)を合わせた『利用したい』が24.4%となった。

○1ヶ月あたりの利用回数は「利用していないが、今後利用したい」と回答した保護者は「1~2回」(61.3%)が最も高くなった。

### (3) 利用しやすくなる方法

(単位：%)

問22. 問 16 のような地域子育て支援拠点事業について、どのようにすれば利用しやすくなると思いますか。(あてはまる番号すべてに○)【n=258】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
7	講座やイベントが充実している	129	50.0	52.4
5	気軽に参加できる(申込不要など)	120	46.5	48.8
1	自宅の近くにある	104	40.3	42.3
8	スタッフの対応が良い	84	32.6	34.1
6	手続きが分かりやすい	66	25.6	26.8
4	駐車場がある	61	23.6	24.8
3	バスなどの送迎サービスがある	54	20.9	22.0
2	職場の近くにある	9	3.5	3.7
9	その他	19	7.4	7.7
10	特にない	29	11.2	11.8
	無回答	12	4.7	
	N (%ベース)	258	100	246

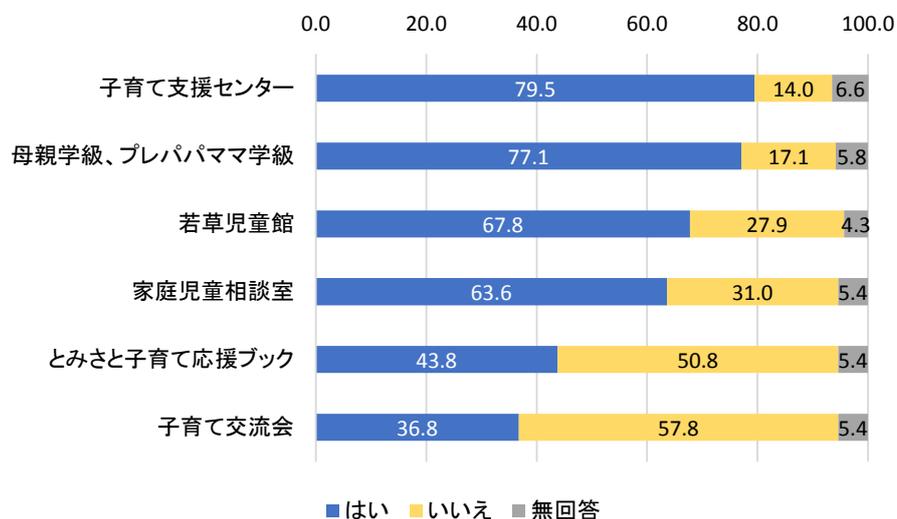
○子育て支援拠点事業について、どのようにすれば利用しやすくなるかをたずねたところ、「講座やイベントが充実している」が50.0%と最も高く、次いで「気軽に参加できる(申し込み不要など)」が46.5%、「自宅の近くにある」が40.3%などとなった。

## 6. 子育て支援サービスや事業

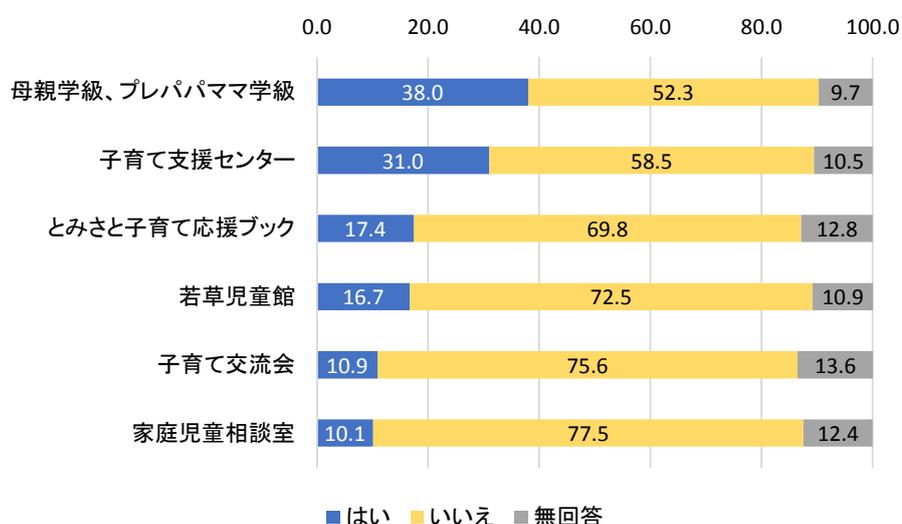
### (1) 認知度と利用状況

問23. 下記で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑥の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。【n=258】

#### 【知っている】



#### 【利用したことがある】

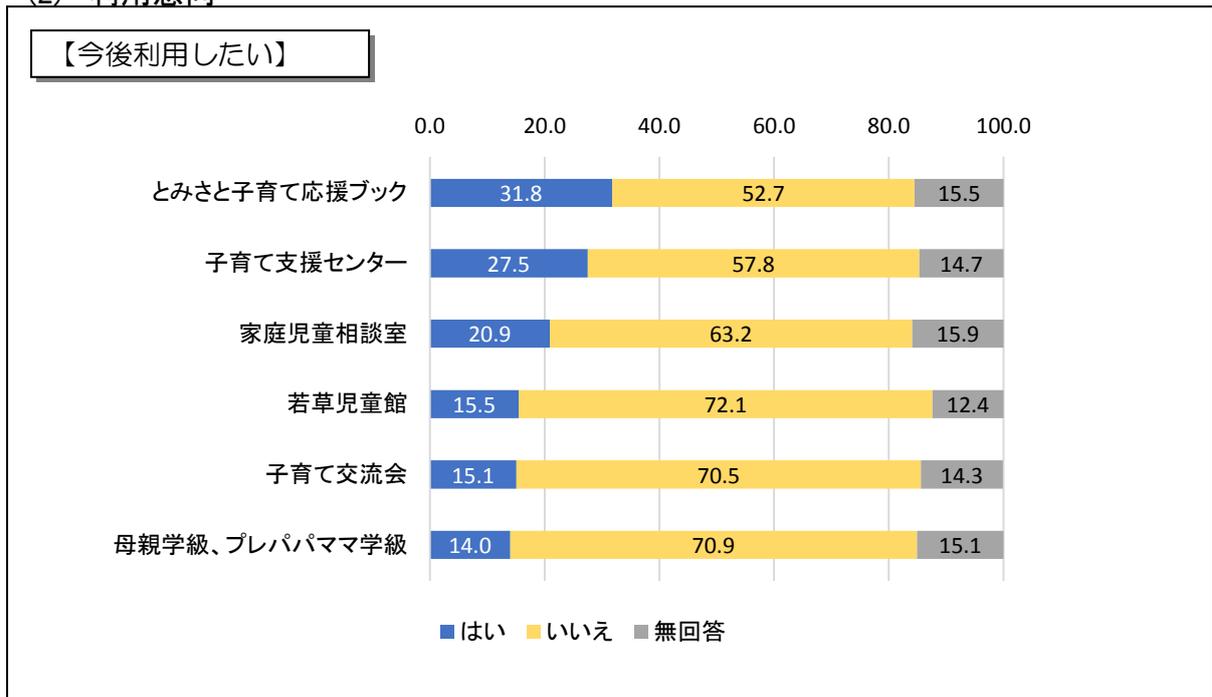


○子育て支援サービスや事業における認知度【知っている】は、「子育て支援センター」が79.5%と最も高く、次いで「母親学級、プレパパママ学級」が77.1%、「若草児童館」が67.8%などとなった。

○子育て支援サービスや事業における利用状況【利用したことがある】は、「母親学級、プレパパママ学級」が38.0%と最も高く、次いで「子育て支援センター」が31.0%、「とみさと子育て応援ブック」が17.4%などとなった。

## (2) 利用意向

(単位：%)



○子育て支援サービスや事業における利用意向【今後利用したい】は、「とみさと子育て応援ブック」が31.8%と最も高く、次いで「子育て支援センター」が27.5%、「家庭児童相談室」が20.9%などとなった。

## 7. 次世代育成支援行動計画重点施策の満足度と重要度

### (1) 重点施策に対する満足度

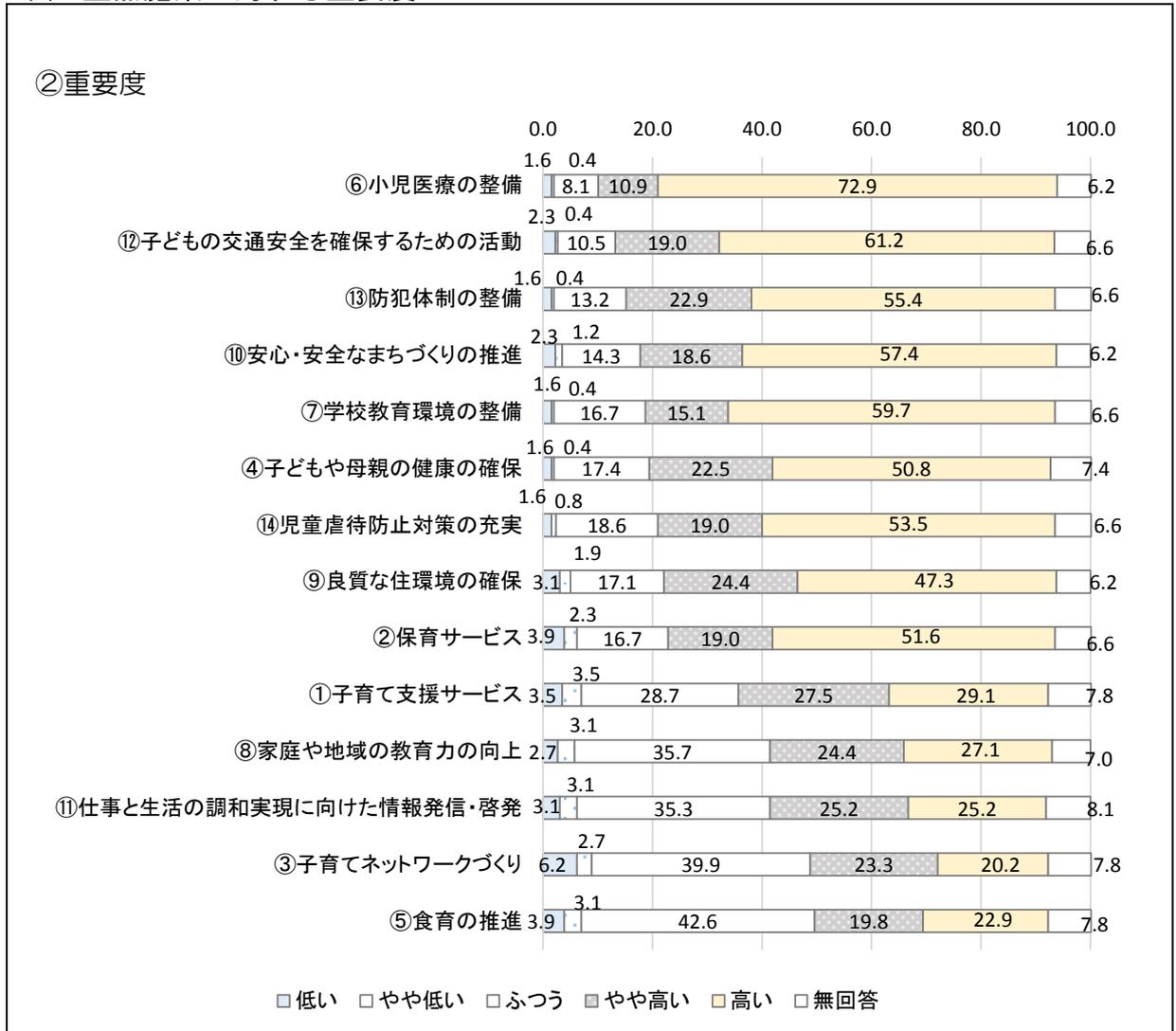
問24. 以下の項目について、日頃感じている満足度と重要度を5点満点で評価してください。（それぞれについて〇は1つ）【n=258】

#### ①満足度



○次世代育成支援行動計画重点施策の満足度をみると、満足度が「高い」と「やや高い」を合わせた『高い』は、「子どもや母親の健康の確保」が37.3%と最も高く、次いで「防犯体制の整備」が35.7%、「小児医療の整備」が31.8%などとなった。ただし、それぞれの項目において「ふつう」が4割から6割弱を占めた。

## (2) 重点施策に対する重要度



○次世代育成支援行動計画重点施策の重要度をみると、重要度が「高い」と「やや高い」を合わせた『高い』は、「小児医療の整備」が 83.8%と最も高く、次いで「子どもの交通安全を確保するための活動」が 80.2%、「防犯体制の整備」が 78.3%などとなった。

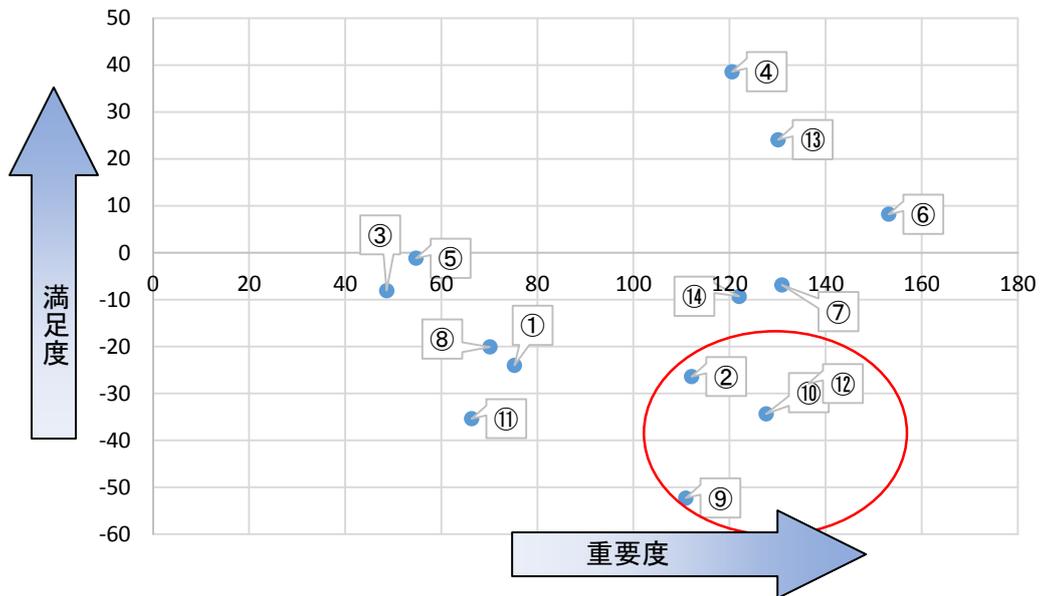
### (3) 満足度と重要度の相関

満足度と重要度について、各項目を指数化<sup>\*</sup>し、満足度と重要度の評価分布をみた。

※指数化

満足度：満足度が「高い」×(2) + 「やや高い」×(1) + 「やや低い」×(-1) + 「低い」×(-2)

重要度：重要度が「高い」×(2) + 「やや高い」×(1) + 「やや低い」×(-1) + 「低い」×(-2)



○次世代育成支援行動計画重点施策の満足度と重要度の相関関係をみると、「満足度が低く、重要度が高いもの」は「⑫子どもの交通安全を確保するための活動」、「⑩安心・安全なまちづくりの推進」、「⑨良質な住環境の確保」などとなった。これらは就学前児童調査と同様となった。

## 8. 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

### (1) 土曜日の利用希望

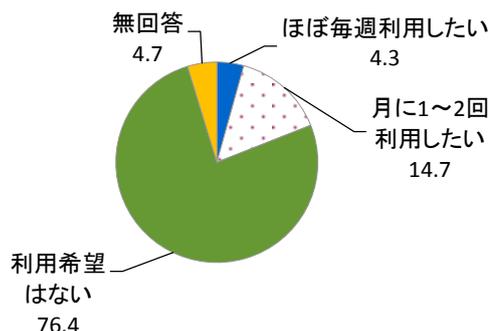
(単位：%)

問25. あて名のお子さんについて、土曜日、日曜・祝日に、学童クラブや教育・保育事業の利用希望はありますか。(○は1つ)

なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。

※教育・保育事業とは、小学生も利用できる事業所内保育施設や、ファミリー・サポート・センターなどの事業を指しますが、祖父母等の親族・知人による預かりは含みません。

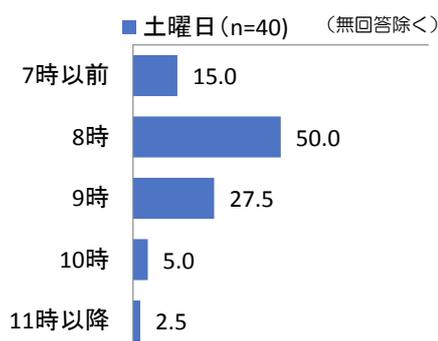
#### ①利用意向【n=258】



#### ②希望する年間日数【n=49】



#### ③利用したい時間帯[開始時間]



#### ④利用したい時間帯[終了時間]

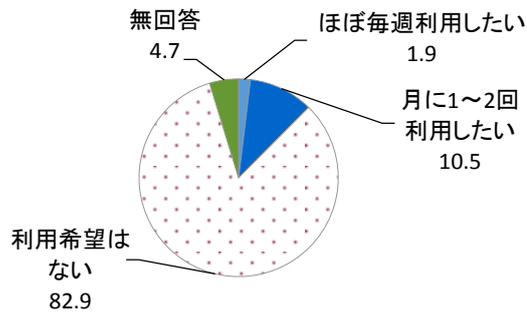


○教育・保育事業における土曜日の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1~2回は利用したい」を合わせた『利用したい』が19.0%と2割弱を占めている。

○土曜日に『利用したい』と回答した保護者において、利用したい時間帯（開始時間）は、「8時」が50.0%、利用したい時間帯（終了時間）は、「18時」が35.0%と最も高くなった。

## (2) 日曜・祝日の利用希望

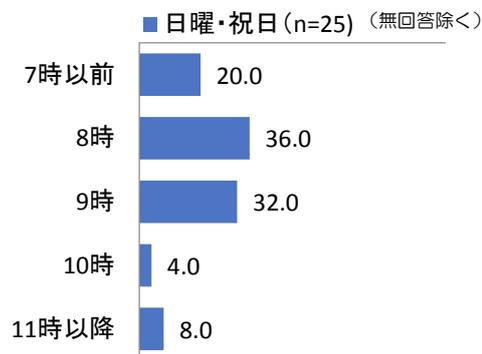
①利用意向【n=258】



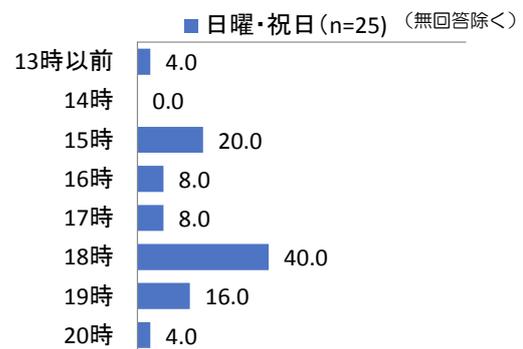
②希望する年間日数【n=32】



③利用したい時間帯【開始時間】



④利用したい時間帯【開始時間】



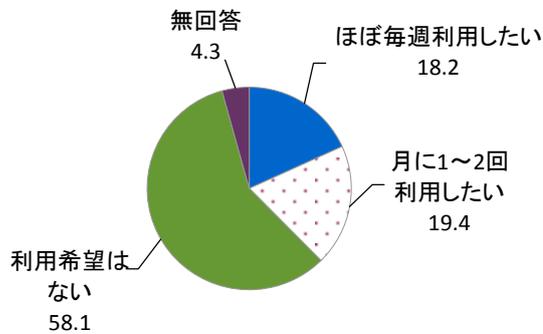
○教育・保育事業における日曜・祝日の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1~2回は利用したい」を合わせた『利用したい』が12.4%と1割強を占めた。

○日曜・祝日に『利用したい』と回答した保護者において、利用したい時間帯（開始時間）は、「8時」が36.0%、利用したい時間帯（終了時間）は、「18時」が40.0%と最も高くなった。

### (3) 長期休暇中の利用希望

問26. あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に、学童クラブや教育・保育事業の利用希望はありますか。(〇は1つ)  
 なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。

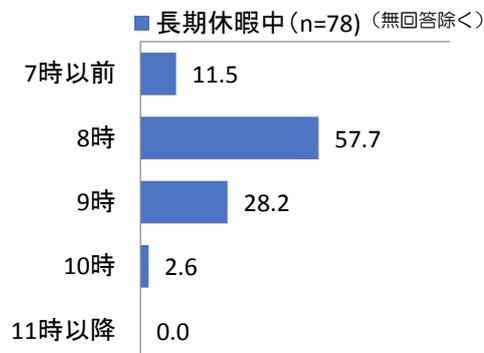
①利用意向【n=258】



②希望する年間日数【n=97】



③利用したい時間帯[開始時間]



④利用したい時間帯[開始時間]



○教育・保育事業における長期休暇期間中の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1~2回は利用したい」を合わせた『利用したい』が37.6%と4割弱を占めた。

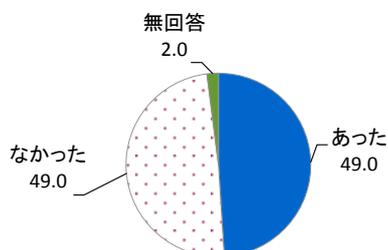
○長期休暇期間中に『利用したい』と回答した保護者において、利用したい時間帯（開始時間）は、「8時」が57.7%、利用したい時間帯（終了時間）は、「18時」が32.5%と最も高くなった。

## 9. お子さんの病気等の際の対応

### (1) 利用状況

(単位：%)

問27. (問19で「1. 利用している」をお選びの方へ) この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで「学童クラブ」が利用できなかったことはありましたか。(〇は1つ)【n=51】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	あった	25	49.0	50.0
2	なかった	25	49.0	50.0
	無回答	1	2.0	
	N (%ベース)	51	100	50

○この1年間に、病気やけがで学校や学童クラブ（学童保育所）を休まなければならなかったことが「あった」、「なかった」はそれぞれ49.0%と同割合となった。

### (2) 対処方法

(単位：%)

問27-1 (問27で「1. あった」をお選びの方へ)

この1年間、あて名のお子さんが病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかったときの対処方法についてお伺いします。また、それぞれの日数は概ね何日ですか。(あてはまる番号すべてに〇をつけ、それぞれの日数を[ ]内に数字でご記入ください。)【n=25】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
2	母親が休んだ	21	84.0	84.0
3	祖父母等の親族・知人にみてもらった	7	28.0	28.0
1	父親が休んだ	6	24.0	24.0
5	病児・病後児保育を利用した	1	4.0	4.0
4	就労していない父親・母親がみた	0	0.0	0.0
6	ベビーシッターを頼んだ	0	0.0	0.0
7	ファミリー・サポート・センターを利用した	0	0.0	0.0
8	仕方なく子どもだけで留守番させた	0	0.0	0.0
9	その他	0	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	
	N (%ベース)	25	100	25

○病気やけがで学校や学童クラブ（学童保育所）を休まなければならなかったことが「あった」と回答した保護者において、利用できなかったときの対処方法は、「母親が休んだ」が84.0%と最も高く、次いで「祖父母等の親族・知人にみてもらった」が28.0%、「父親が休んだ」が24.0%などとなった。「病児・病後児保育」を利用した保護者は少数であった。

## (対処方法別) それぞれの対応した日数

①父親が休んだ日数



②母親が休んだ日数

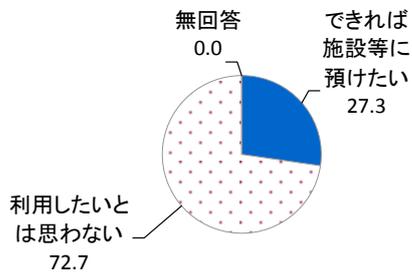
③祖父母等の親族・知人に  
みてもらった日数④病児・病後児保育を  
利用した日数

○病気やけがで学校や学童クラブ(学童保育所)を休まなければならなかったことが「あった」と回答した保護者において、その際の対処方法をみると、総じて「1～4日」が最も多くなった。「祖父母等の親族・知人にみてもらった」では「10日以上」と回答した保護者も28.6%と3割弱みられた。

### (3) 施設に預けたい日数

(単位：%)

問 27-2 (問 27-1で「1」または「2」をお選びの方へ) その際、できれば施設に預けたいと思われた日数はどのくらいありますか(〇は1つ)。また、枠内に日数をご記入ください。【n=22】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	できれば施設等に預けたい	6	27.3	27.3
2	利用したいとは思わない	16	72.7	72.7
	無回答	0	0.0	
	N (%ベース)	22	100	22

【施設等を利用したい日数】【n=6】



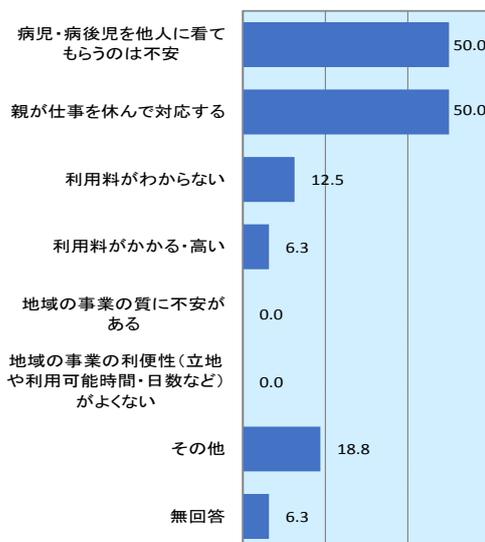
○学校や学童クラブ(学童保育所)を休まなければならなかったことが「あった」と回答した保護者のうち、「父親が休んだ」、「母親が休んだ」と回答した保護者において、施設の利用希望をみると、「できれば施設等に預けたい」が27.3%、「利用したいとは思わない」が72.7%となった。

○施設等を利用したい日数は、「1~4日」が50.0%と半数を占めた。

### (4) 施設を利用したいとは思わない理由

(単位：%)

問 27-3 (問 27-2で「2. 利用したいとは思わない」をお選びの方へ) 「利用したいとは思わない」を選んだ理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに〇) 【n=16】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安	8	50.0	53.3
6	親が仕事を休んで対応する	8	50.0	53.3
5	利用料がわからない	2	12.5	13.3
4	利用料がかかる・高い	1	6.3	6.7
2	地域の事業の質に不安がある	0	0.0	0.0
3	地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない	0	0.0	0.0
7	その他	2	18.8	20.0
	無回答	2	6.3	
	N (%ベース)	16	100	15

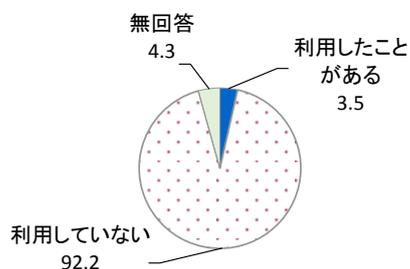
○「施設を利用したいとは思わない」と回答した理由は、「病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安」と「親が仕事を休んで対応する」が50.0%と同割合となった。

## 10. 一時預かり

### (1) 一時的に預けたことの有無

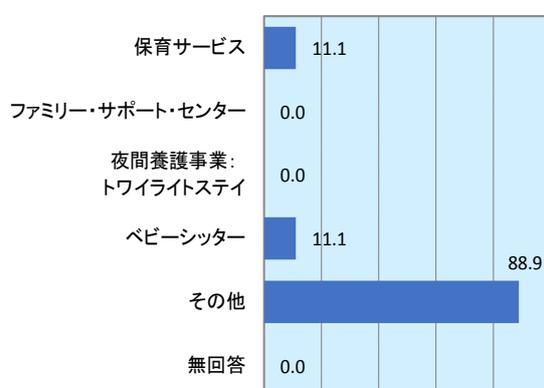
(単位: %)

問28. この1年間で、私用やリフレッシュ目的、保護者の通院や出産などのため、あて名のお子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。(あてはまるものすべてに○)【n=258】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	利用したことがある	9	3.5	3.6
2	利用していない	238	92.2	96.4
	無回答	11	4.3	
	N (%ベース)	258	100	247

#### 【利用した事業】【n=9】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	保育サービス	1	11.1	11.1
2	ファミリー・サポート・センター	0	0.0	0.0
3	夜間養護事業: トワイライトステイ	0	0.0	0.0
4	ベビーシッター	1	11.1	11.1
5	その他	8	88.9	88.9
	無回答	0	0.0	
	N (%ベース)	9	100.0	9.0

○この1年間で、私用やリフレッシュ目的などで一時的に家族以外の誰かに預けたことをうかがったところ、「利用した（預けた）ことがある」3.5%、「利用していない」が92.2%となった。

○利用した事業は、少数ではあるが、「保育サービス」、「ベビーシッター」などとなった。

(事業別) 一時預かりを利用した日数

①年間日数



②保育サービス



③ベビーシッター



④その他



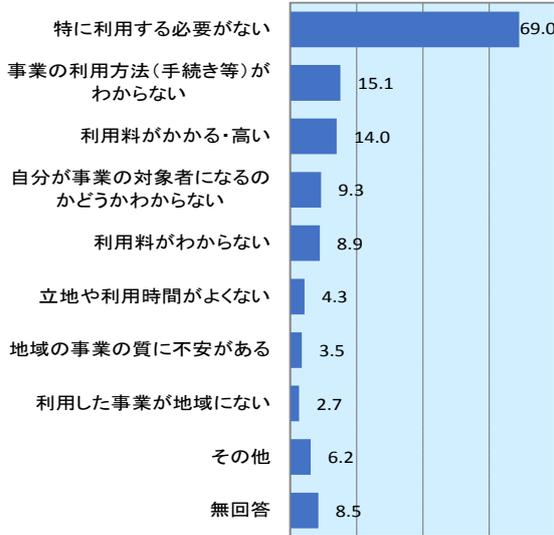
○一時預かりを「利用した（預けた）ことがある」と回答した保護者において、利用した日数をみると、年間日数では「1～4日」が44.4%と最も高く、次いで「10～14日」が22.2%などとなった。

○利用した事業別にみると、「保育サービス」、「ベビーシッター」とともに「20日以上」との回答がみられた。

(2) 一時預かりを利用していない理由

(単位：%)

問 28-1 (問 28 で「2」をお選びの方へ) 現在利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)【n=238】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	特に利用する必要がない	178	69.0	75.4
8	事業の利用方法(手続き等)がわからない	39	15.1	16.5
5	利用料がかかる・高い	36	14.0	15.3
7	自分が事業の対象者になるのかどうかわからない	24	9.3	10.2
6	利用料がわからない	23	8.9	9.7
4	立地や利用時間がよくない	11	4.3	4.7
3	地域の事業の質に不安がある	9	3.5	3.8
2	利用した事業が地域にない	7	2.7	3.0
9	その他	16	6.2	6.8
	無回答	2	0.8	
	N (%ベース)	238	100	236

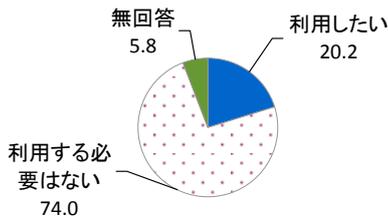
○「一時預かりを利用していない」と回答した保護者に「一時預かりを利用していない理由」をうかがったところ、「特に利用する必要がない」が 69.0%と最も高く、次いで「事業の利用方法等(手続き等)がわからない」が 15.1%などとなった。

(3) 一時預かりの利用希望

(単位：%)

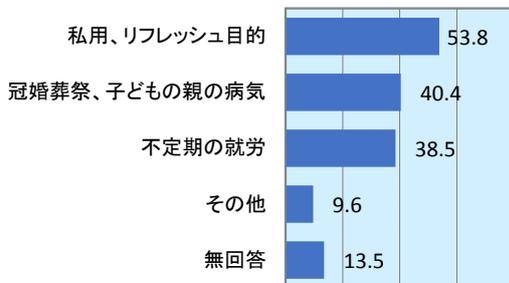
問29. あて名のお子さんについて、私用やリフレッシュ目的、保護者の通院や出産などのため、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。【n=258】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	利用したい	52	20.2	21.4
2	利用する必要はない	191	74.0	78.6
	無回答	15	5.8	
	N (%ベース)	258	100	243

【利用したい理由】【n=52】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	私用、リフレッシュ目的	28	53.8	62.2
2	冠婚葬祭、子どもの親の病気	21	40.4	46.7
3	不定期の就労	20	38.5	44.4
4	その他	5	9.6	11.1
	無回答	7	13.5	
	N (%ベース)	52	100	45

○今後の利用希望は「利用したい」が 20.2%、「利用する必要はない」が 74.0%となった。

○利用したい理由をみると、「私用、リフレッシュ目的」が 53.8%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、子どもの親の病気」が 40.4%などとなった。

## (理由別) 一時預かりを利用したい日数

①年間日数



②私用目的(買物、習い事等)



③冠婚葬祭、親の病気



④不定期の就労



⑤その他



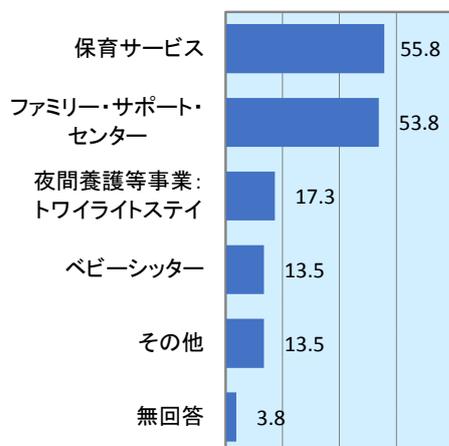
○一時預かりを利用したい年間日数は、「10～14日」が26.9%と最も高く、次いで「20日以上」が15.4%などとなった。

○理由別にみると、どの項目においても「1～4日」が最も高く、「冠婚葬祭、親の病気等」では52.4%と半数強を占めた。

## (4) 一時預かりで希望する事業形態

(単位：%)

問29-1 (問29で「1.利用したい」をお選びの方へ) 問29の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(あてはまるものすべてに○)【n=52】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	保育サービス	29	55.8	58.0
2	ファミリー・サポート・センター	28	53.8	56.0
3	夜間養護等事業: トワイライトステイ	9	17.3	18.0
4	ベビーシッター	7	13.5	14.0
5	その他	7	13.5	14.0
	無回答	2	3.8	
	N (%ベース)	52	100.0	50.0

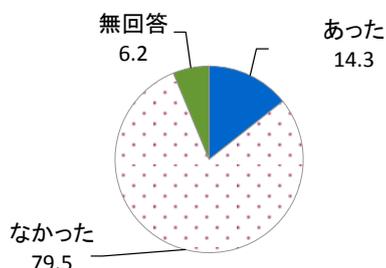
○「一時預かりを利用したい」と回答した保護者に「一時預かりで希望する事業形態」をうかがったところ、「保育サービス」が55.8%と最も高く、次いで「ファミリー・サポート・センター」が53.8%などとなった。

## 1 1. 宿泊を伴う一時預かり

### (1) 宿泊を伴う一時預かりについての有無

(単位：%)

問30. この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。（あてはまるものすべてに○）  
【n=258】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	あった	37	14.3	15.3
2	なかった	205	79.5	84.7
	無回答	16	6.2	
	N (%ベース)	258	100	242

### 【「あった」と回答した保護者の対処方法】【n=37】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	祖父母等の親族・知人にみてもらった	28	75.7	87.5
2	短期入所生活援助事業を利用した	0	0.0	0.0
3	②以外の保育事業を利用した	1	2.7	3.1
4	仕方なく子どもを同行させた	4	10.8	12.5
5	仕方なく子どもだけで留守番させた	2	5.4	6.3
	無回答	5	13.5	
	N (%ベース)	37	100.0	32

○この1年間に、保護者の用事などにより、子どもを泊まりがけで家族以外に預けたことの有無は、「あった」が14.3%、「なかった」が79.5%となった。

○「あった」と回答した保護者の対処方法は、「祖父母等の親族・知人にみてもらった」が75.7%と高い割合を占めた。「子どもを留守番させた」と回答した保護者は少数であった。

## (対処方法別) 子どもを泊まりがけで家族以外の誰かに預けた泊数

①年間泊数

②祖父母等の親族・知人に  
みてもらった泊数③認可外保育施設などを  
利用した泊数④仕方なく子どもを同行  
させた泊数⑤仕方なく子どもだけで  
留守番をさせた泊数

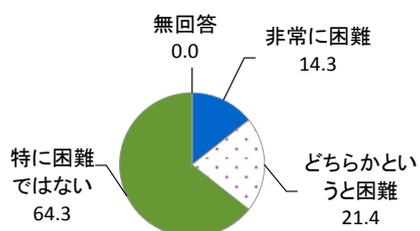
○子どもを泊まりがけで家族以外の誰かに預けたことが「ある」と回答した保護者において、預けた年間泊数は、「1～4泊」が40.5%と最も高くなった。「子どもを留守番させた泊数」は、「10泊未満」にとどまっている。

## (2) 困難度

(単位：%)

問 30-1 (問 30 で「1. あった①祖父母等の親族・知人にみてもらった」をお選びの方へ) その場合、保護者の方にとって困難度はどの程度でしたか。(○はひとつ)

【n=28】



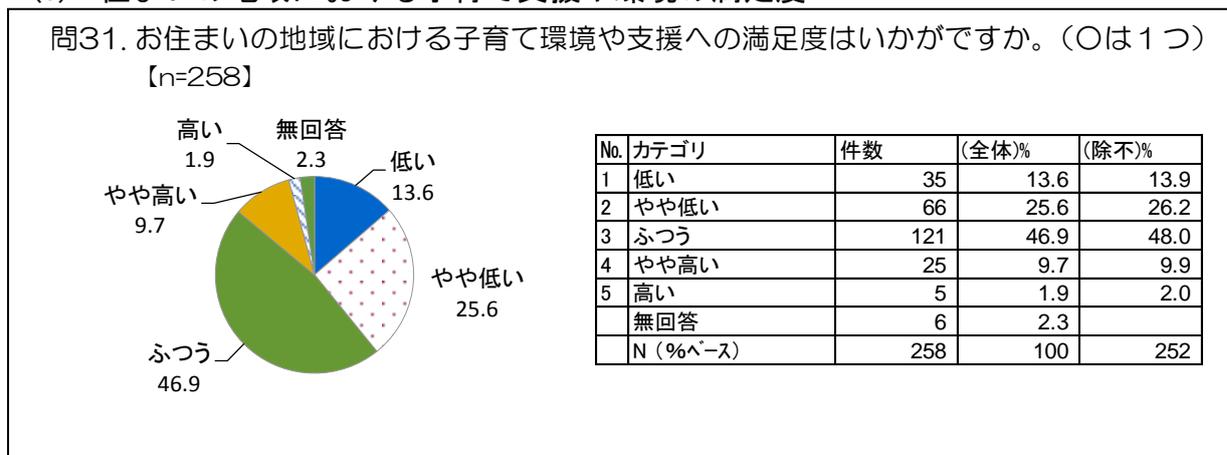
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	非常に困難	4	14.3	14.3
2	どちらかというと困難	6	21.4	21.4
3	特に困難ではない	18	64.3	64.3
	無回答	0	0.0	
	N (%ベース)	28	100	28

○子どもを泊まりがけで家族以外の誰かに預けたことが「あった」と回答した保護者のうち、「祖父母等の親族・知人にみてもらった」と回答した保護者において、預けた際の困難度は、「特に困難ではない」(64.3%)が6割強を占めた。「非常に困難」と「どちらかというと困難」を合わせた『困難である』は35.7%となった。

## 12. 行政サービス

### (1) 住まいの地域における子育て支援や環境の満足度

(単位：%)



○住まいの地域における子育て環境や支援への満足度をみると、「低い」(13.6%)と「やや低い」(25.6%)を合わせた『低い』(39.2%)が、満足度が「高い」(1.9%)と「やや高い」(9.7%)を合わせた『高い』(11.6%)を27.6ポイント上回った。

#### 【地域別】

(単位：%)

		件数	『低い』(低い+やや低い)	低い	やや低い	『高い』(やや高い+高い)	やや高い	高い	ふつう	無回答
<b>全体</b>		<b>258</b>	<b>39.2</b>	<b>13.6</b>	<b>25.6</b>	<b>11.6</b>	<b>9.7</b>	<b>1.9</b>	<b>46.9</b>	<b>2.3</b>
小学校区	富里小学校区	62	41.9	16.1	25.8	6.5	6.5	0.0	48.4	3.2
	富里第一小学校区	14	50.0	0.0	50.0	7.1	7.1	0.0	42.9	0.0
	富里南小学校区	45	28.9	13.3	15.6	13.3	13.3	0.0	55.6	2.2
	浩養小学校区	7	14.3	0.0	14.3	28.6	28.6	0.0	42.9	14.3
	洗心小学校区	6	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
	日吉台小学校区	60	46.7	16.7	30.0	8.3	5.0	3.3	43.3	1.7
	根木名小学校区	26	42.3	15.4	26.9	7.6	3.8	3.8	46.2	3.8
	七栄小学校区	35	31.4	11.4	20.0	22.8	17.1	5.7	45.7	0.0
小学校1年生	小学校1年生	97	44.3	16.5	27.8	13.4	11.3	2.1	40.2	2.1
	小学校2年生	67	43.2	11.9	31.3	9.0	6.0	3.0	44.8	3.0
	小学校3年生	93	30.1	11.8	18.3	11.9	10.8	1.1	55.9	2.2
(母就労形態)	フルタイム	76	40.8	15.8	25.0	10.5	10.5	0.0	44.7	3.9
	パート・アルバイト等	122	37.7	11.5	26.2	12.3	9.8	2.5	50.0	0.0
	就労していない	43	37.3	14.0	23.3	14.0	9.3	4.7	48.8	0.0

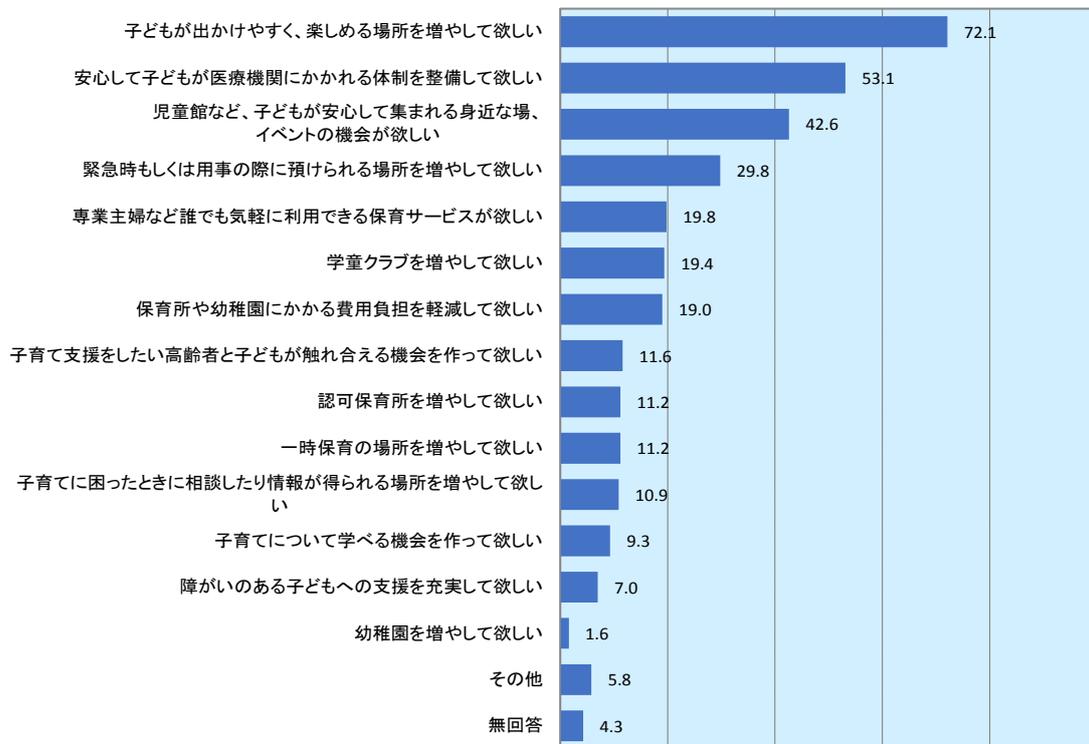
(注)シャドー部分:全体平均よりも高いもの(ただし、「洗心小学校区」と「浩養小学校区」は母数が少ないため、誤差率が高くなる可能性が考えられる。)

- 住まいの地域における子育て環境や支援への満足度を地域別にみると、満足度が『低い』は、富里第一小学校区や日吉台小学校区などで比率が高くなっている。
- 年齢別にみると、満足度が『低い』は小学校1～2年生で比率が高くなっている。
- 就労形態別にみると、満足度が『低い』はフルタイムなど就労している保護者で比率が高くなっている。

## (2) 充実を図ってほしい市のサービス

(単位：%)

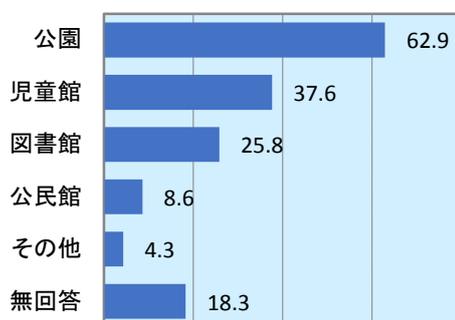
問32. 市に対して、どのような子育て支援の充実を図って欲しいと期待していますか。(あてはまるものすべてに○)【n=258】



○充実を図ってほしい市のサービスは、「子どもが出かけやすく、楽しめる場所を増やして欲しい」が72.1%と最も高く、次いで「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい」が53.1%、「児童館など、子どもが安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい」が42.6%などとなった。就学前児童調査と同様に、子どもが楽しめる場所の充実や医療機関の体制整備を希望する保護者が多い。

## (3) 「子どもが出かけやすく楽しめる場所」(具体的な場所)【n=186】

(単位：%)



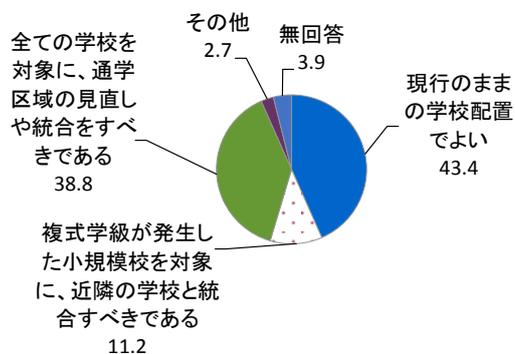
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	公園	117	62.9	77.0
2	児童館	70	37.6	46.1
4	図書館	48	25.8	31.6
3	公民館	16	8.6	10.5
5	その他	8	4.3	5.3
6	無回答	34	18.3	0.0
	N (%への入)	186	100.0	152

○前問で「子どもが出かけやすく、楽しめる場所を増やして欲しい」と回答した保護者において、具体的な場所をうかがったところ、「公園」が62.9%と最も高く、次いで「児童館」が37.6%、「図書館」が25.8%などとなった。

#### (4) 学級規模について

(単位：%)

問33. 市内の小学校では、児童数が減少し、学校の小規模化（1 学年 1 学級または複式学級）が進んでいます。今後の対応で、あなたのお考えに一番近いものはどれですか。（〇は 1 つ）【n=258】

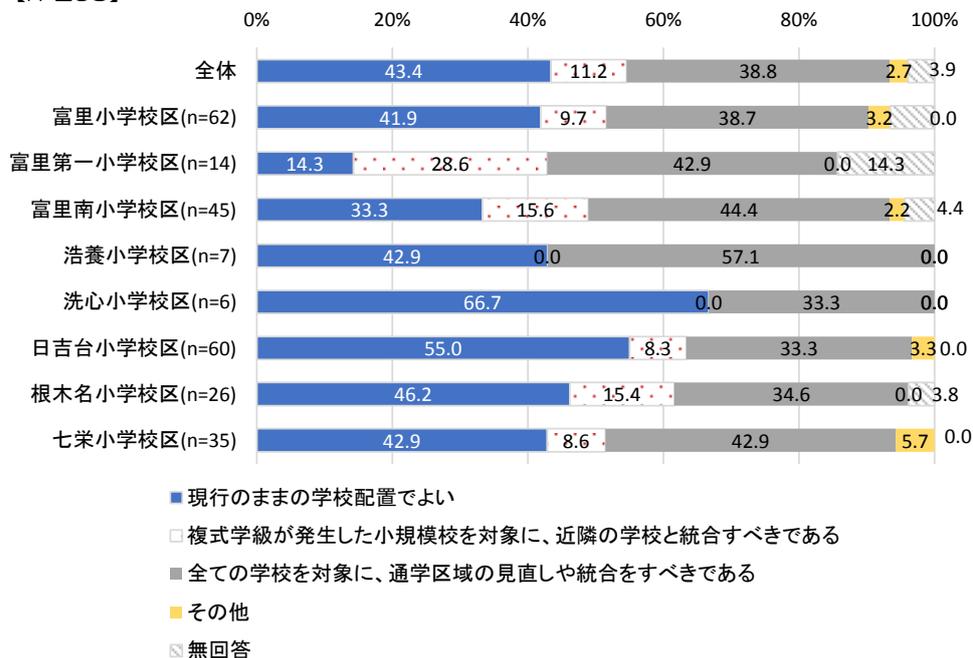


No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	現行のままの学校配置でよい	112	43.4	45.2
2	複式学級が発生した小規模校を対象に、近隣の学校と統合すべきである	29	11.2	11.7
3	全ての学校を対象に、通学区域の見直しや統合をすべきである	100	38.8	40.3
4	その他	7	2.7	2.8
	無回答	10	3.9	
	N (%ベース)	258	100	248

○小学校の学級規模についてたずねたところ、「現行のままの学校配置でよい（維持すべきである）」が 43.4%と最も高く、次いで「全ての学校を対象に、通学区域の見直しや統合をすべきである」が 38.8%などとなった。

#### 小学校の学級規模【小学校区別】

【小学生調査】【n=258】



○小学校区別に学級規模に対する考えをみると、「現行のままの学校配置でよい（維持すべきである）」で半数を上回ったのは、洗心小学校区（66.7%）、日吉台小学校区（55.0%）などとなった。一方、「全ての学校を対象に、通学区域の見直しや統合をすべきである」で半数を上回ったのは、浩養小学校区（57.1%）となった。小学校区別ではばらつきがみられる。

## IV. 調査結果の分析－3 市民ニーズ調査

### 1. 回答者のプロフィール

#### (1) 性別

(単位：%)

問1. あなたの性別をお知らせください。(○は1つ)【n=99】



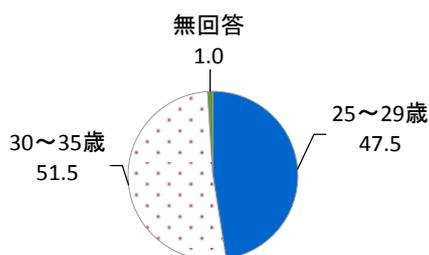
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	男性	35	35.4	35.7
2	女性	63	63.6	64.3
	無回答	1	1.0	
	N (%ベース)	99	100	98

○性別は、「男性」が35.4%、「女性」が63.6%となった。

#### (2) 年齢

(単位：%)

問2. あなたの年齢をおいくつですか。(○は1つ)【n=99】



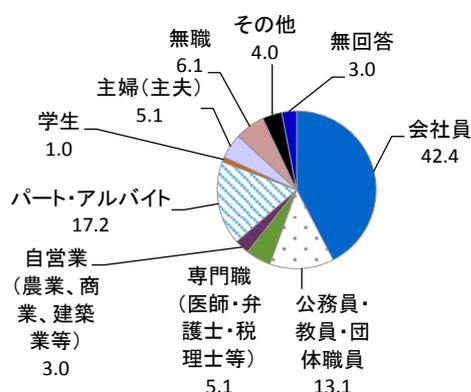
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	25～29歳	47	47.5	48.0
2	30～35歳	51	51.5	52.0
	無回答	1	1.0	
	N (%ベース)	99	100	98

○年齢は、「25～29歳」が47.5%、「30～35歳」が51.5%となった。

#### (3) 職業

(単位：%)

問3. あなたの職業は、次のうちどちらに当たりますか。(○は1つ)【n=99】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	会社員	42	42.4	43.8
2	公務員・教員・団体職員	13	13.1	13.5
3	専門職(医師・弁護士・税理士等)	5	5.1	5.2
4	自営業(農業、商業、建築業等)	3	3.0	3.1
5	パート・アルバイト	17	17.2	17.7
6	学生	1	1.0	1.0
7	主婦(主夫)	5	5.1	5.2
8	無職	6	6.1	6.3
9	その他	4	4.0	4.2
	無回答	3	3.0	
	N (%ベース)	99	100	96

○職業は、「会社員」が42.4%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」が17.2%、「公務員・教員・団体職員」が13.1%などとなった。

(4) 今後の就労希望

(単位：%)

問3-1 (問3で「7」または「8」をお選びの方へ) 今後の就労についての希望をお聞かせください。(〇は1つ)

①就労希望

【男性】【n=2】

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	有(1年以内)	0	0.0	0.0
2	有(1年より先)	0	0.0	0.0
3	無	1	50.0	100.0
	無回答	1	50.0	
	N (%ベース)	2	100	1

【女性】【n=9】

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	有(1年以内)	3	33.3	33.3
2	有(1年より先)	2	22.2	22.2
3	無	4	44.4	44.4
	無回答	0	0.0	
	N (%ベース)	9	100	9

②就労形態(1年以内に就職したい)

【男性】【n=0】

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	フルタイム	0	0.0	0.0
2	パート・アルバイト等	0	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0
	N (%ベース)	0	0	0

【女性】【n=3】

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	フルタイム	0	0.0	0.0
2	パート・アルバイト等	3	100.0	100.0
	無回答	0	0.0	
	N (%ベース)	3	100	3

③就労形態(1年より先で就職したい)

【男性】【n=0】

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	フルタイム	0	0.0	0.0
2	パート・アルバイト等	0	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0
	N (%ベース)	0	0	0

【女性】【n=2】

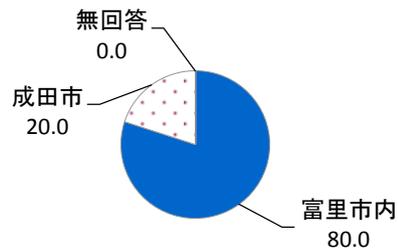
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	フルタイム	0	0.0	0.0
2	パート・アルバイト等	2	100.0	100.0
	無回答	0	0.0	
	N (%ベース)	2	100	2

○職業で「主婦(主夫)」、「無職」と回答した方において、今後の就労希望および就労形態をみると、女性は「パート・アルバイト等」を希望している比率が高くなっている。

(5) 働きたい場所

(単位：%)

問3-2 (問3-1で「1」または「2」をお選びの方へ) どちらで働きたいですか。(〇は1つ)【n=5】



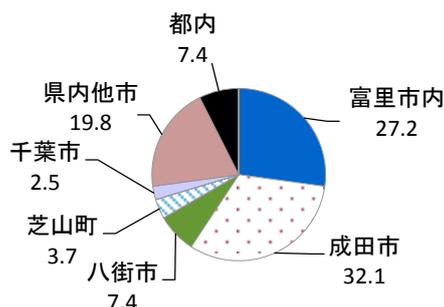
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	富里市内	4	80.0	80.0
2	成田市	1	20.0	20.0
3	八街市	0	0.0	0.0
4	山武市	0	0.0	0.0
5	芝山町	0	0.0	0.0
6	酒々井町	0	0.0	0.0
7	千葉市	0	0.0	0.0
8	県内他市	0	0.0	0.0
9	都内	0	0.0	0.0
10	その他	0	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0
	N (%ベース)	5	100	5

○職業で「主婦(主夫)」、「無職」と回答した方において、今後の働きたい場所をみると、「富里市内」が80.0%となった。

## (6) 通勤・通学先

(単位：%)

問 3-3 (問 3 で「1~6」をお選びの方へ) 通勤・通学先はどちらですか。(○は1つ)【n=81】



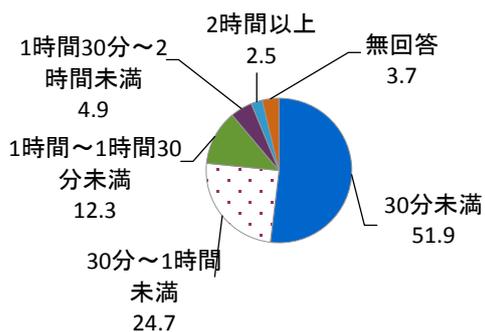
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	富里市内	22	27.2	27.2
2	成田市	26	32.1	32.1
3	八街市	6	7.4	7.4
4	山武市	0	0.0	0.0
5	芝山町	3	3.7	3.7
6	酒々井町	0	0.0	0.0
7	千葉市	2	2.5	2.5
8	県内他市	16	19.8	19.8
9	都内	6	7.4	7.4
10	その他	0	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	
	N (%ベース)	81	100	81

○現在就労・就学している方において、通勤・通学先をみると、「成田市」が 32.1%と最も高く、次いで「富里市内」が 27.2%、「八街市」が 7.4%などとなった。

## (7) 通勤・通学時間

(単位：%)

問 3-4 (問 3 で「1~6」をお選びの方へ) 通勤・通学時間はどのくらいですか。(○は1つ)【n=81】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	30分未満	42	51.9	53.8
2	30分~1時間未満	20	24.7	25.6
3	1時間~1時間30分未満	10	12.3	12.8
4	1時間30分~2時間未満	4	4.9	5.1
5	2時間以上	2	2.5	2.6
	無回答	3	3.7	
	N (%ベース)	81	100	78

○現在就労・就学している方において、通勤・通学時間をみると、「30分未満」が 51.9%と最も高く、次いで「30分~1時間未満」が 24.7%などとなった。

## (8) 居住地区

(単位：%)

問4. すべての方にかがいます。お住まいはどちらになりますか。(〇は1つ)【n=99】



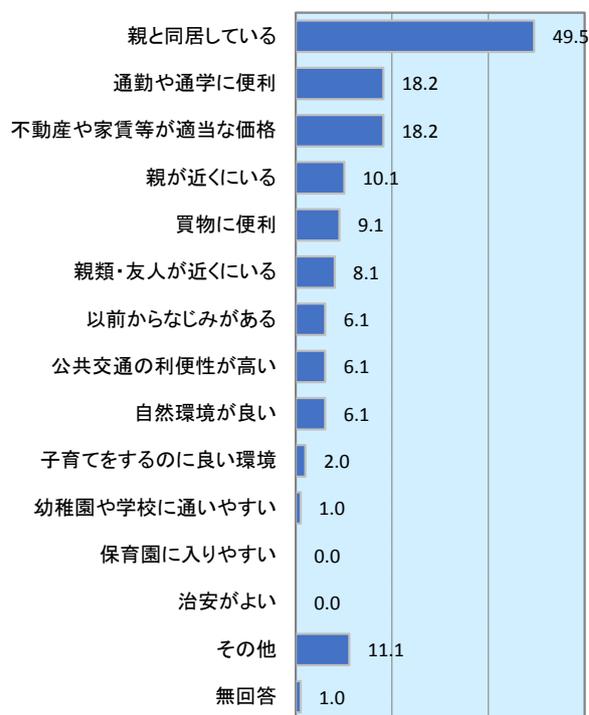
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	富里小学校区	24	24.2	25.3
2	富里第一小学校区	8	8.1	8.4
3	富里南小学校区	12	12.1	12.6
4	浩養小学校区	3	3.0	3.2
5	洗心小学校区	0	0.0	0.0
6	日吉台小学校区	29	29.3	30.5
7	根木名小学校区	6	6.1	6.3
8	七栄小学校区	13	13.1	13.7
	無回答	4	4.0	
	N (%ベース)	99	100	95

○居住地区は、「日吉台小学校区」が 29.3%と最も高く、次いで「富里小学校区」が 24.2%、「七栄小学校区」が 13.1%などとなった

## (9) 現在の住まいを選んだ理由

(単位：%)

問5. 現在のお住まいを選んだ理由をお聞かせください。(〇は3つまで)【n=99】



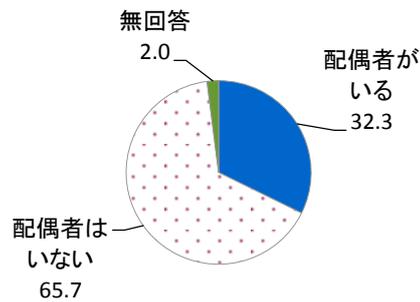
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
2	親と同居している	49	49.5	50.0
5	通勤や通学に便利	18	18.2	18.4
8	不動産や家賃等が適当な価格	18	18.2	18.4
3	親が近くにいる	10	10.1	10.2
9	買物に便利	9	9.1	9.2
4	親類・友人が近くにいる	8	8.1	8.2
1	以前からなじみがある	6	6.1	6.1
6	公共交通の利便性が高い	6	6.1	6.1
7	自然環境が良い	6	6.1	6.1
12	子育てをするのに良い環境	2	2.0	2.0
11	幼稚園や学校に通いやすい	1	1.0	1.0
10	保育園に入りやすい	0	0.0	0.0
13	治安がよい	0	0.0	0.0
14	その他	11	11.1	11.2
	無回答	1	1.0	
	N (%ベース)	99	100	98

○現在の住まいを選んだ理由をみると、「親と同居している」が 49.5%と最も高く、次いで「通勤や通学に便利」、「不動産や家賃等が適当な価格」が 18.2%と同割合となった。

### (10) 配偶者

(単位：%)

問6. 配偶者はいらっしゃいますか。(〇は1つ)【n=99】



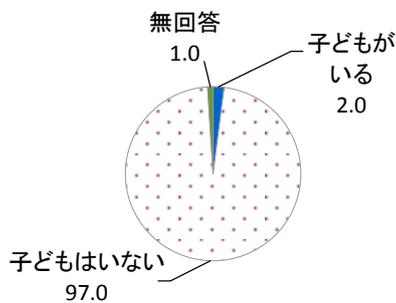
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	配偶者がいる	32	32.3	33.0
2	配偶者がいない	65	65.7	67.0
	無回答	2	2.0	
	N (%ベース)	99	100	97

○配偶関係は、「配偶者がいる」が32.3%、「配偶者がいない」が65.7%となった。

### (11) お子さんの有無

(単位：%)

問7. お子さんはいらっしゃいますか。(〇は1つ)【n=99】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	子どもがいる	2	2.0	2.0
2	子どもはいない	96	97.0	98.0
	無回答	1	1.0	
	N (%ベース)	99	100	98

#### 【子どもの数】

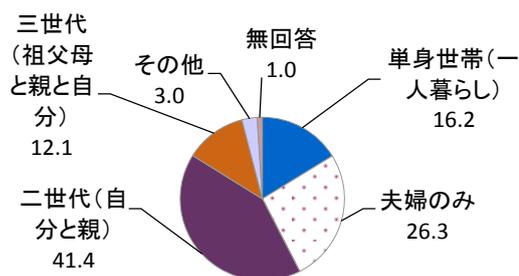
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	1人	2	100.0	0.0
	無回答	0	0.0	
	N (%ベース)	2	100	2

○子どもの有無をみると、「子どもがいる」が2.0%、「子どもはいない」が97.0%となった。

### (12) 世帯状況

(単位：%)

問8. あなたの世帯状況は、次のうちどちらに当たりますか。(〇は1つ)【n=99】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	単身世帯(一人暮らし)	16	16.2	16.3
2	夫婦のみ	26	26.3	26.5
3	二世帯(自分と子ども)	0	0.0	0.0
4	二世帯(自分と親)	41	41.4	41.8
5	三世帯(親と自分と子ども)	0	0.0	0.0
6	三世帯(祖父母と親と自分)	12	12.1	12.2
7	その他	3	3.0	3.1
	無回答	1	1.0	
	N (%ベース)	99	100	98

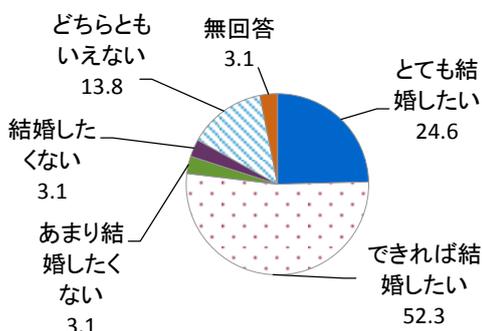
○世帯状況は、「二世帯(自分と親)」が41.4%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が26.3%、「単身世帯(一人暮らし)」が16.2%などとなった。

## 2. 結婚観（独身の方のみ回答）

### (1) 結婚に対するお考え

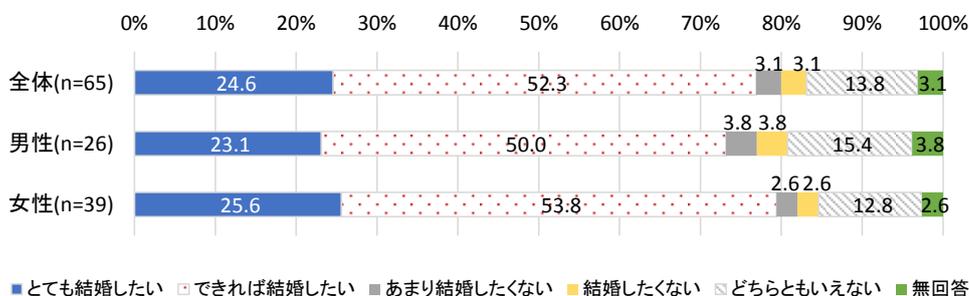
（単位：％）

問9. 結婚についてはどのようにお考えですか。（○は1つ）【n=65】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	とても結婚したい	16	24.6	25.4
2	できれば結婚したい	34	52.3	54.0
3	あまり結婚したくない	2	3.1	3.2
4	結婚したくない	2	3.1	3.2
5	どちらともいえない	9	13.8	14.3
	無回答	2	3.1	
	N (%ベース)	65	100	63

#### 【男女別】



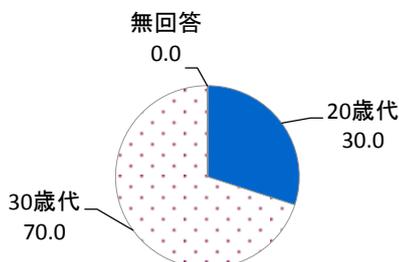
○結婚に対する考えをみると、「とても結婚したい」(24.6%)と「できれば結婚したい」(52.3%)を合わせた『結婚したい』は76.9%と8割弱を占めた。

○男女別にみると、『結婚したい』は男性が73.1%、女性が79.4%となり、女性の方がやや高くなった。

### (2) 結婚したい年齢

（単位：％）

問9-1（問9で「1」または「2」をお選びの方へ）何歳ぐらいで結婚したいと思いますか。（○は1つ）【n=50】



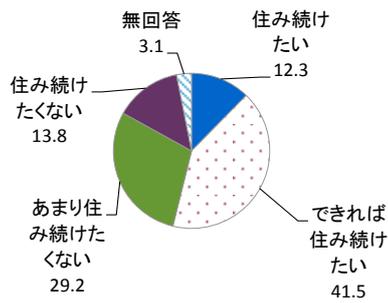
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	20歳代	15	30.0	30.0
2	30歳代	35	70.0	70.0
3	40歳以上	0	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	
	N (%ベース)	50	100	50

○『結婚したい』と回答した方において、結婚したい年齢をみると、「20歳代」が30.0%、「30歳代」が70.0%となった。「40歳以上」と回答した方はいなかった。

### (3) 富里市への居住意向

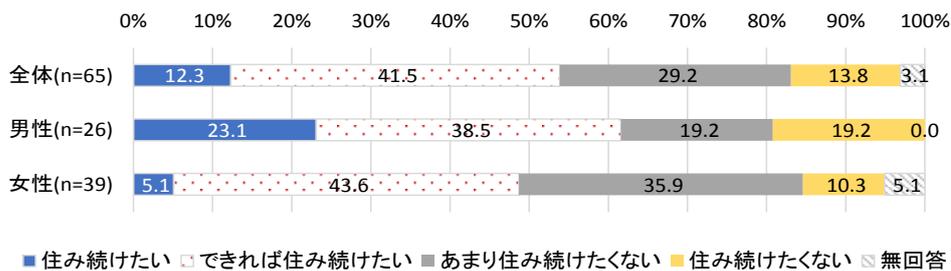
(単位：%)

問10. 結婚に関わらず富里市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)【n=65】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	住み続けたい	8	12.3	12.7
2	できれば住み続けたい	27	41.5	42.9
3	あまり住み続けたくない	19	29.2	30.2
4	住み続けたくない	9	13.8	14.3
	無回答	2	3.1	
	N (%ベース)	65	100	63

【男女別】



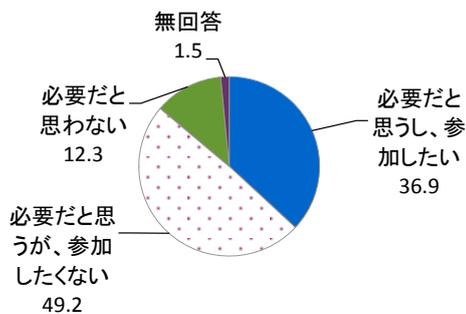
○富里市への居住意向をみると、「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」を合わせた『住み続けたい』は53.8%と半数強を占めた。

○男女別にみると、『住み続けたい』は男性が61.6%、女性が48.7%となり、男性は女性を12.9ポイント上回った。

### (4) 「出会いの場」についての考え

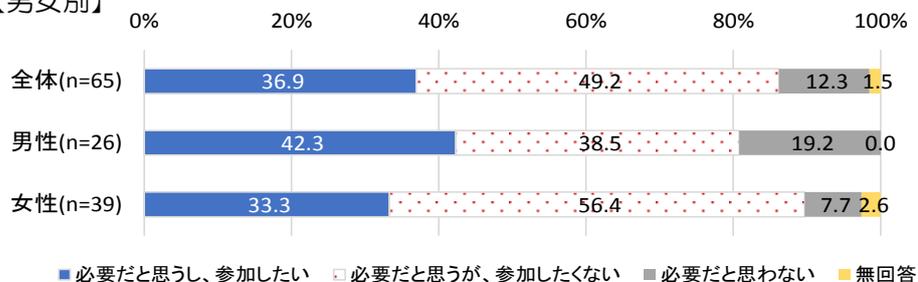
(単位：%)

問11. 独身男女の「出会いの場」について、どのようにお考えですか。(○は1つ)【n=65】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	必要だと思うし、参加したい	24	36.9	37.5
2	必要だと思うが、参加したくない	32	49.2	50.0
3	必要だと思わない	8	12.3	12.5
	無回答	1	1.5	
	N (%ベース)	65	100	64

【男女別】



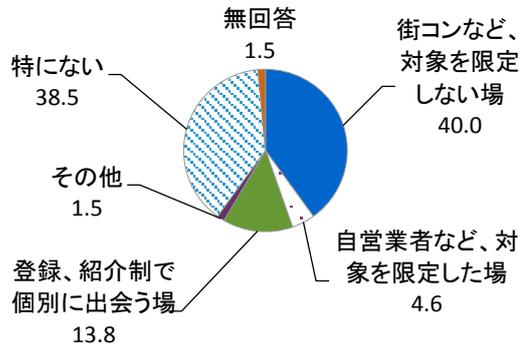
○出会いの場についての考えをみると、「必要だと思うが参加したくない」(49.2%)と「必要だと思うし、参加したい」(36.9%)を合わせると、出会いの場について「必要」と回答した方は86.1%と高い割合を占めた。

○男女別にみると、男性の方が「必要だと思うし、参加したい」が高くなった。

(5) 「出会いの場」の形態

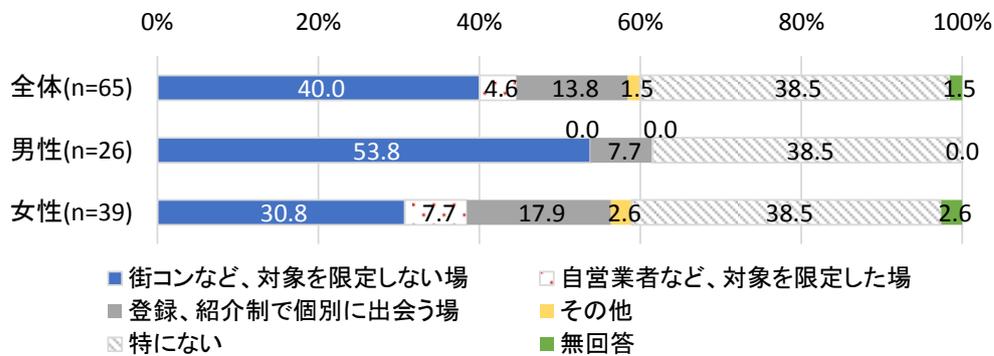
(単位：%)

問12. 独身男女の「出会いの場」について、どのような場があれば良いと思いますか。(○は1つ) [n=65]



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	街コンなど、対象を限定しない場	26	40.0	40.6
2	自営業者など、対象を限定した場	3	4.6	4.7
3	登録、紹介制で個別に出会う場	9	13.8	14.1
4	その他	1	1.5	1.6
5	特にない	25	38.5	39.1
	無回答	1	1.5	
	N (% <sup>^</sup> -入)	65	100	64

【男女別】



○出会いの場の形態をうかがったところ、「街コンなど、対象を限定しない場」が 40.0%と最も高く、次いで「登録、紹介制で個別に出会う場」が 13.8%などとなった。ただし、「特にない」は 38.5%と4割弱を占めた。

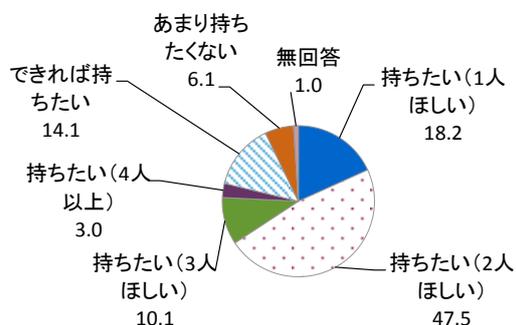
○男女別にみると、「街コンなど、対象を限定しない場」は男性が 53.8%、女性が 30.8%となり男性は半数を上回った。「登録、紹介制で個別に出会う場」は男性が 7.7%、女性が 17.9%と女性の方が高くなった。

### 3. 理想のライフコース

#### (1) 子どもを持ちたいと思うか

(単位：%)

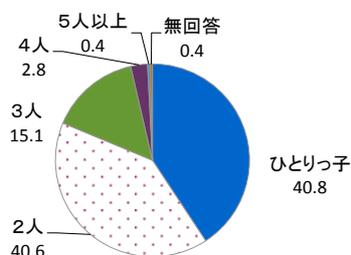
問13. 将来、子どもを持ちたいと思いますか。(すでにお子さまがいらっしゃる方は、何人持ちたいですか。)(〇は1つ)【n=99】



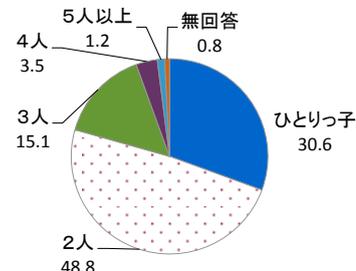
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	持ちたい(1人ほしい)	18	18.2	18.4
2	持ちたい(2人ほしい)	47	47.5	48.0
3	持ちたい(3人ほしい)	10	10.1	10.2
4	持ちたい(4人以上)	3	3.0	3.1
5	できれば持ちたい	14	14.1	14.3
6	あまり持ちたくない	6	6.1	6.1
7	持ちたくない	0	0.0	0.0
	無回答	1	1.0	
	N (%ベース)	99	100	98

#### ◆子どもの人数

【就学前児童調査】【n=1135】



【小学生児童調査】【n=258】



○子どもを持ちたいと思うかをたずねたところ、「持ちたい(2人ほしい)」が47.5%と最も高く、次いで「持ちたい(1人ほしい)」が18.2%などとなった。「子どもを持ちたい(できれば持ちたいを含む)」と回答した方は92.9%と高い割合を占めた。

○子どもを持つ世帯を対象に調査した「就学前児童調査」と「小学生児童調査」と比較すると、市民の希望では「1人(ひとりっ子)」(18.2%)は2割弱となったが、実際に子どもを持つ世帯では、「ひとりっ子」(就学前40.8%、小学生30.6%)の比率が高くなっている。

## (2) 子どもの人数を決めた理由

(単位：%)

問14. 子どもの人数を決めた理由をお聞かせください。(〇はすべて)【n=78】



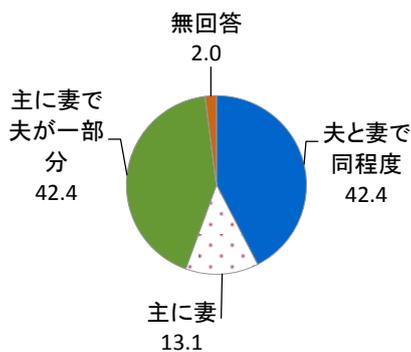
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	経済的なことをふまえて(子育てや教育に係る費用を考慮して)	47	60.3	61.0
2	年齢的なことをふまえて(出産・子育てを行うことを考慮して)	31	39.7	40.3
3	心理的なことをふまえて(育児へのストレスなどを想定して)	14	17.9	18.2
6	家庭環境をふまえて(配偶者の育児参加や祖父母等の協力をふまえて)	13	16.7	16.9
5	健康をふまえて(体力面を考慮して)	9	11.5	11.7
4	仕事とのかねあいで(職場復帰など仕事への影響を考慮して)	7	9.0	9.1
7	その他	12	15.4	15.6
	無回答	1	1.3	
	N (%ベース)	78	100	77

○子どもの人数を決めた理由は、「経済的なことをふまえて(子育てや教育に係る費用を考慮して)」が60.3%と最も高く、次いで「年齢的なことをふまえて(出産・子育てを行うことを考慮して)」が39.7%などとなった。

## (3) 家事の役割分担(理想)

(単位：%)

問15. 家事を主に行うのはどなたが理想ですか。(〇は1つ)【n=99】



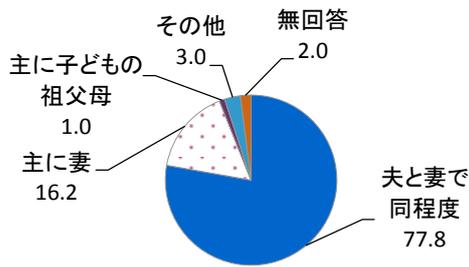
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	夫と妻で同程度	42	42.4	43.3
2	主に妻	13	13.1	13.4
3	主に妻で夫が一部分	42	42.4	43.3
4	主に夫で妻が一部分	0	0.0	0.0
5	主に夫	0	0.0	0.0
	無回答	2	2.0	
	N (%ベース)	99	100	97

○家事の役割分担(理想)をうかがったところ、「夫と妻で同程度」と「主に妻で夫が一部分」が42.4%と最も高くなった。

(4) 子育ての役割分担（理想）

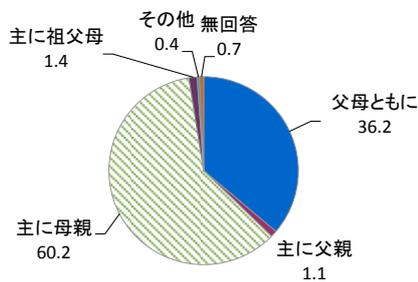
（単位：％）

問16. 子育てを主に行うのはどなたが理想ですか。（○は1つ）【n=99】

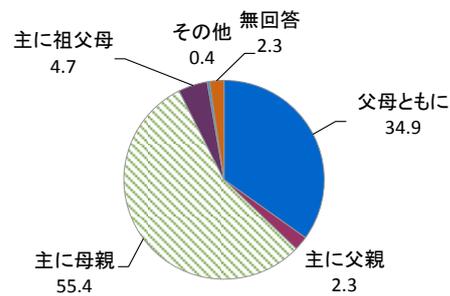


No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	夫と妻で同程度	77	77.8	79.4
2	主に妻	16	16.2	16.5
3	主に夫	0	0.0	0.0
4	主に子どもの祖父母	1	1.0	1.0
5	その他	3	3.0	3.1
	無回答	2	2.0	
	N (%ベース)	99	100	97

◆子育てを主に行っている方  
【就学前児童調査】【n=1135】



【小学生児童調査】【n=258】

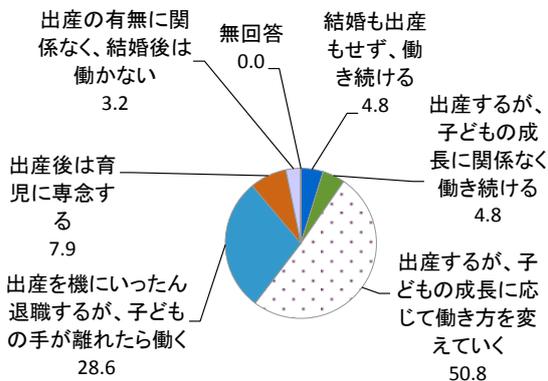


- 子育ての役割分担（理想）をうかがったところ、「夫と妻で同程度」が 77.8%と最も高く、次いで「主に妻」が 16.2%となった。
- 子どもを持つ世帯を対象に調査した「就学前児童調査」と「小学生児童調査」と比較すると、実際に子どもを持つ世帯では、「主に母親」の比率が最も高くなっている。

(5) 仕事と育児の両立（女性の方のみ回答）

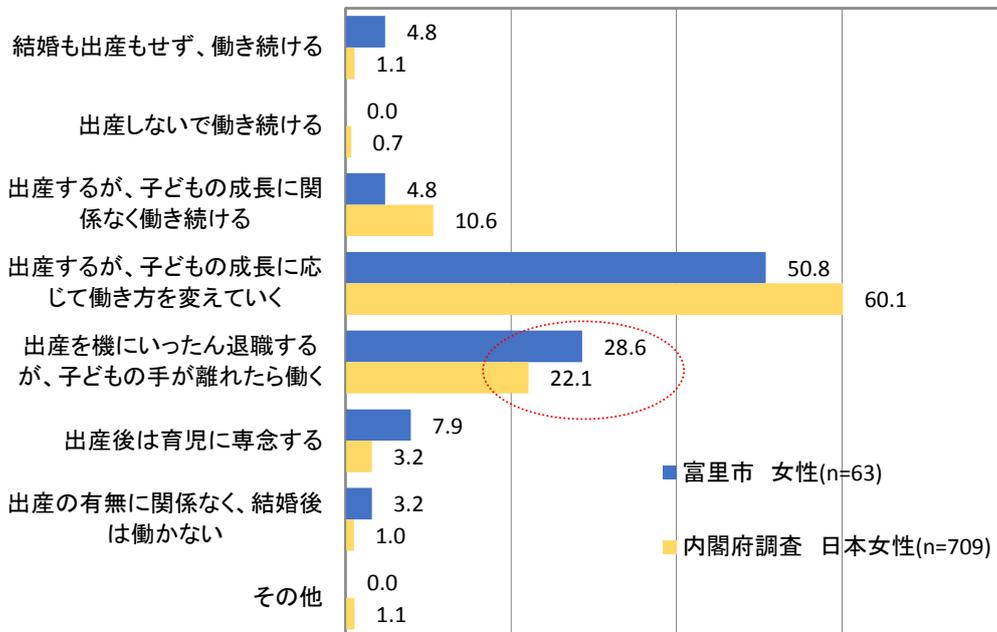
（単位：％）

問17.（女性の方へうかがいます）育児と仕事との関係で、あなたの理想の生き方は次のうちどちらですか。（○は1つ）【n=63】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	結婚も出産もせず、働き続ける	3	4.8	4.8
2	出産しないで働き続ける	0	0.0	0.0
3	出産するが、子どもの成長に関係なく働き続ける	3	4.8	4.8
4	出産するが、子どもの成長に応じて働き方を変えていく	32	50.8	50.8
5	出産を機にいったん退職するが、子どもの手が離れたら働く	18	28.6	28.6
6	出産後は育児に専念する	5	7.9	7.9
7	出産の有無に関係なく、結婚後は働かない	2	3.2	3.2
8	その他	0	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	
	N (%ベース)	63	100	63

【「少子化社会に関する国際意識調査」平成22年度実施（内閣府との比較）】



○女性の方へ「仕事と育児の両立」についてうかがったところ、「出産するが、子どもの成長に応じて働き方を変えていく」が50.8%と最も高く、次いで「出産を機にいったん退職するが、子どもの手が離れたら働く」が28.6%などとなった。

○内閣府が平成22年度に実施した調査と比較すると、富里市民は「出産を機にいったん退職するが、子どもの手が離れたら働く」と回答している比率がやや高くなっている。

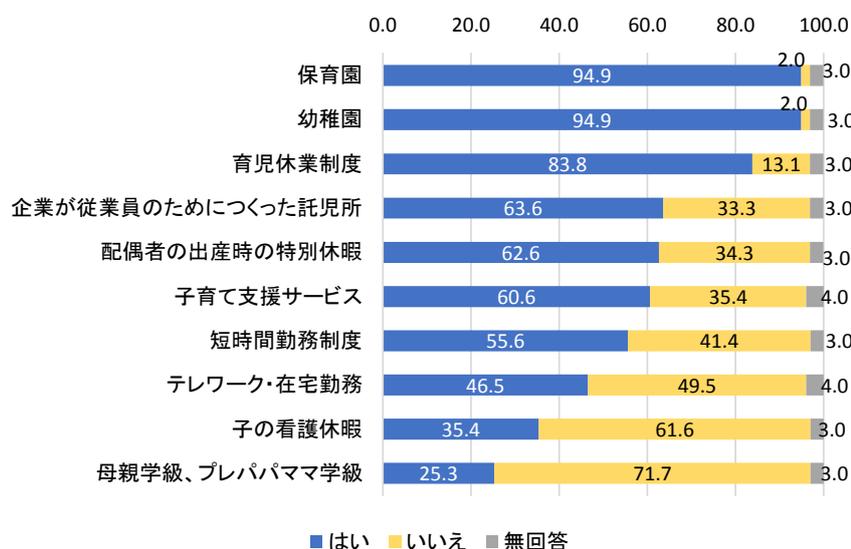
## 4. 仕事と生活の両立

### (1) 仕事と生活の両立支援制度の認知度と利用意向

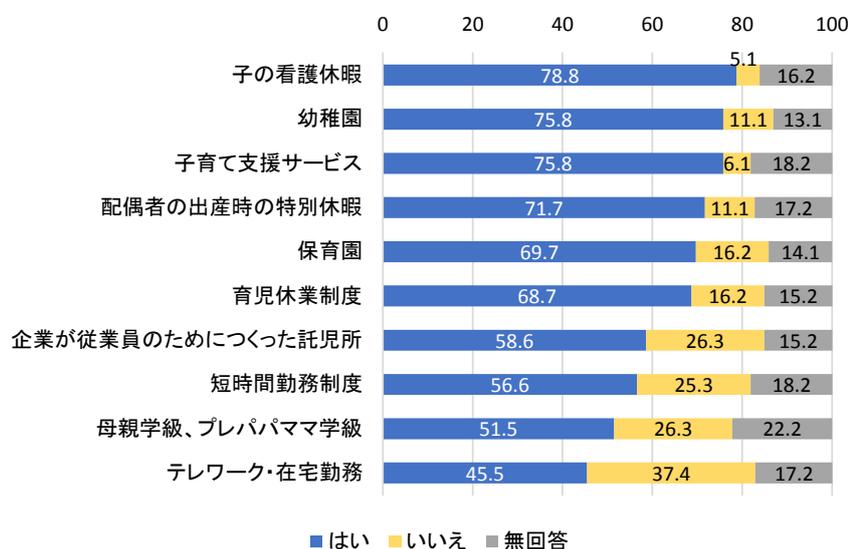
(単位：%)

問18. 以下について知っていますか。また、利用したいと思いますか。(すでにお子さまがいらっしゃる方は、利用経験もお答えください。)(それぞれについて○は1つ)[n=99]  
※利用経験については回答者が1名のため非表示

#### 【知っている】



#### 【利用したい】



○仕事と生活の両立支援制度の認知度【知っている】は、「保育園」および「幼稚園」が94.9%と最も高く、次いで「育児休業制度」が83.8%などとなった。市の「母親学級、プレパパママ学級」は25.3%と3割弱にとどまった。

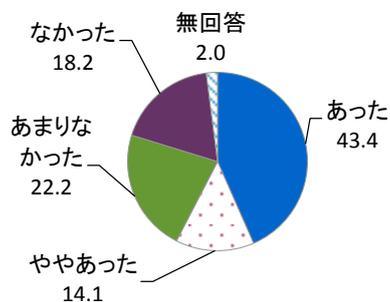
○今後の利用意向をみると、「テレワーク・在宅勤務」以外のすべての項目で半数を上回った。「子の看護休暇」が78.8%と最も高く、次いで「幼稚園」が75.8%、「子育て支援サービス(親子で遊べる場所など)」が75.8%と同割合となった。

## 5. 行政サービス

### (1) 子どもとの触れ合い

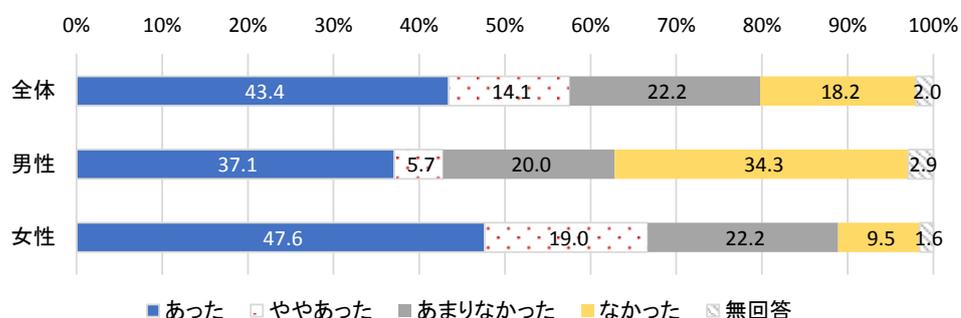
(単位：%)

問19. あなたは、これまでに子育てについて学ぶことや、赤ちゃんや乳幼児と触れ合う機会がありましたか。【n=99】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	あった	43	43.4	44.3
2	ややあった	14	14.1	14.4
3	あまりなかった	22	22.2	22.7
4	なかった	18	18.2	18.6
	無回答	2	2.0	
	N (%ベース)	99	100	97

#### 【男女別】



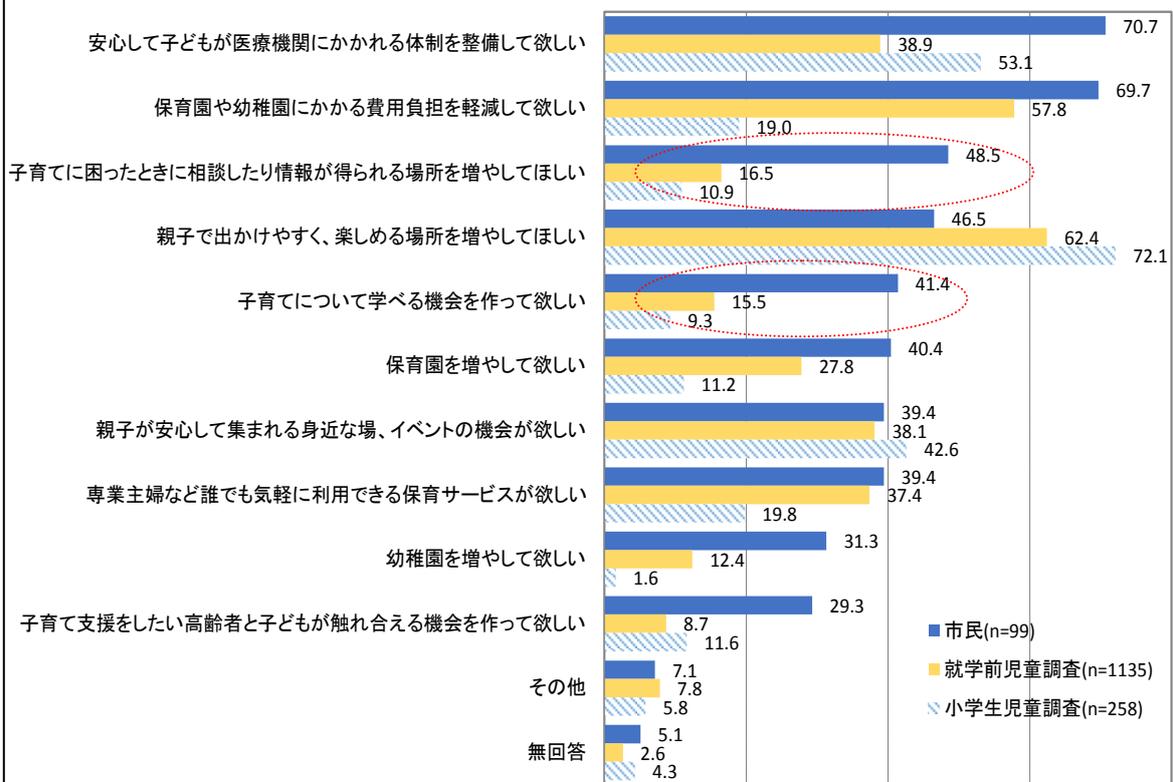
○これまでに子育てについて学んだことや子どもと触れ合った機会があったかをたずねたところ、「あった」(43.4%)と「ややあった(14.1%)」を合わせた『あった』は57.5%と6割弱を占めた。「なかった」(18.2%)は2割弱みられた。

○男女別にみると、『あった』は男性が42.8%、女性が66.6%となり、女性は男性を23.8ポイント上回った。「なかった」は男性が34.3%、女性が9.5%となり、男性は女性を24.8ポイント上回った。

## (2) 充実を図ってほしい市のサービス

(単位：%)

問20. 市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。(あてはまるすべてに○)【n=99】



○充実を図ってほしい市のサービスをみると、「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備して欲しい」が70.7%と最も高く、次いで「保育園や幼稚園にかかる費用負担を軽減して欲しい」が69.7%、「子育てに困ったときに相談したり情報が得られる場所を増やしてほしい」が48.5%などとなった。

○子どもを持つ世帯を対象に調査した「就学前児童調査」と「小学生児童調査」と比較すると、意向の差が大きい項目は、「情報提供」や「子育てについて学べる機会」となり、市民は実際に子どもを持つ世帯よりも希望している比率が高くなっている。

## (3) 「親子で出かけやすく楽しめる場所」(具体的な場所)【n=46】

(単位：%)



○前問で「親子で出かけやすく、楽しめる場所を増やして欲しい」と回答した保護者において、具体的な場所をうかがったところ、「公園」が67.4%と最も高く、次いで「児童館」が32.6%、「図書館」が30.4%などとなった。

富里市子育て支援に関するニーズ調査報告書

■平成 26 年 3 月発行

■発 行 富里市健康福祉部子育て支援課

〒286-0292

富里市七栄 652-1

電話 0476-93-1111 (代表)

0476-93-4497 (直通)

F A X 0476-93-2215